

せずんば又何の時に活動の期あらんやと。然れ共職業紹介を開始せんとするも求人無く、事務を執らんとするも筆紙什器無く、若し雨降り來らば避くべき家無く、今朝食すべき食物さへ無きなり。やがて所長指揮の下に各自はテント、筆紙、食糧其他を調達すべく四谷、牛込、巢鴨等焼け残りたる方面へ四散せり。

斯くして二日は準備に費し、三日に至り大手町の警察講習所の焼け残りたるを借受けて中央職業紹介所の假事務所を定む。

本據は定まりたるも多數吏員の宿泊に用ふべき寢具無し、當時は汽車電車其他一切の交通機關皆無なりしを以て、幸に自家の焼けざりし人々も遠隔の我家より通勤すること困難なり。加之紹介所員中には着のみ着のまゝにて焼出され宿無き者少からず。之れ事業開始に當り第一の難障なり。幸にして東京市職業輔導會の講習生用の毛布若干枚は、同所は焼失せるも之を持出あるの報に接したるを以て之を借用することとして寢具に付て患無きを得、次で食

糧の手配もつき、四谷方面よりテント一枚手に入りたるを以て、之を神用橋外の廣場に張り、取り敢へず此兩所に於て先づ人事相談事務を開始したり。

電話は勿論郵便電信の通信機關すら不通なる状態なりしを以て、市内に散在する市設の他の紹介所の状況は全く之を知るを得ず。給仕をして自轉車を走らしめんとすれば路上に焼釘、金屑等ありて途中十數丁ならざるにパンクして用をなさざる有様にして如何ともする能はず。又固より自動車は當時需要最も多く(官公署方面にて)供給尠く(焼失多數)して市役所の救護事務にも不足を訴へつゝある際とて之を得る能はず。全く當惑の狀にありしが、追々各紹介所より中央紹介所の焼跡に訪ね來り、焼跡より更に大手町の假事務所を訪ね來りて、日を経るに従ひ消息も分明し、各員の顔も追々揃ひて、九月十日前後には大に優勢に同所に於て紹介事務及人事相談事務に執掌し得たり。

震災直後吾等の生活は唯生命を維持するの程度にして、玄米飯の結飯一個に澤庵二切れ位のものなり。途上渴を覺

ゆれば接待に出しある水を飲み、脚絆草鞋にて駆け廻れるなり。假事務所に於て吏員は概ね泊り込みにして、起床は大抵午前四時又は四時半、就寢は午後十時乃至十二時なりき。而して眠るも脚絆を解かざる者多かりき。

市内に於ける労働事情、罹災者の窮迫困憊の事實は更に項を更めて之を説かん。

三、臨時應急施設の經過

市設職業紹介所は震災前常設のもの九箇所(中央、淺草、淺草公園、上野、本所、芝園橋、小石川、四谷、厩橋)なりしが六箇所は焼失し、芝園橋、小石川、四谷の三箇所のみ災後に残存したり。

然るに罹災者にして失職せるもの夥しき實情に鑑み前に述べたる如く取敢へず丸の内市吏員講習所(警察講習所)内に中央職業紹介所假事務所を開設し、尙神田橋外にテント張を以て同出張所を設けたり。而して焼け残りたる芝園橋、四谷の二紹介所へは使者を以て紹介事務の外人事相談をも開設すべき旨を申送り。(小石川紹介所は場所偏在して利

用不便の關係ありたる爲め一時休止し其の吏員は多忙なる中央紹介所の事務を應援せしめたり)

紹介事務を開始するに方り最も困難なる事情は屋舎并に什器なきことなり。依て先づ軍隊使用のテントに着眼し數次陸軍省に交渉したる結果テント二十張の便宜貸出を得たるを以て、取敢へず之を市内樞要の地點に配置して臨時職業紹介所の應急設置を行へり。而して其の當時は殆ど悉く自由労働紹介にして、未明に聚合し黄昏を過ぐるも尙ほ取扱ひを止むる能はざる程の狀況にあり。適當の場所と認めて配置したるは上野公園、淺草橋、芝園橋畔(これは幾許もなく撤廢し芝園橋紹介所内に引揚げたり)、淺草玉姬町、市役所前なり。而して市役所前が純労働紹介なる外は悉く紹介事務の外人事相談事務をも併せ行ふこととなせり。

市役所前は一時丸の内紹介所とも呼び中央紹介所の出張所として活動せり。(その後之れを數寄屋橋畔に移轉し主として一般紹介を取扱ふこととなれり)

開始以來日を重ぬるに従ひ求職者激増したるも一方求人数の増加は之れに伴はず需給著しく均衡を失して供給過剰の状を現呈したり。

九月三日より九月二十四、五日頃までの東京府下に於ける職業紹介の總取扱数を調査したる所に依れば左の數字を示せり

求人数	七〇、一四四
求職数	一五二、四二七
紹介数	五八、六四八

(註)表中約九割は労働紹介なり

次に東京市設職業紹介所に於て取扱ひたる九月三日より九月三十日に至る間の職業紹介及人事相談を表出すれば左の如し

求人数	七七、七六六
求職数	八五、七四一
就職数	六四、〇八三
人事相談	四、六一一

(註) 職業紹介の約八割五分は労働紹介なり右表中求職者数は登録したる者のみを挙げたるも單に來訪するも職を得ずして去るもの毎日約二千人に上れりと思料す

交通通信機關の杜絶は著しく職業紹介を不便ならしめ、從て紹介の施設は市内の隨所に之れを設けざるべからざるの事情に逢著し、屢々内務省とも折衝を重ねたる後、左の箇所に於て國費を以て臨時バラック建築を爲し紹介所施設を設くべきことに決し之が經營は市に於て當ることとなり。

中央	(神田橋際元中央紹介所跡)
市役所前	(市役所前、新設)
淺草橋	(淺草橋際、新設)
淺草公園	(元淺草公園燒跡附近)
玉姫町	(元淺草紹介所跡)
上野	(元上野紹介所跡)
飯田橋	(飯田橋際、新設)
六本木	(麻布六本木、新設)

高輪 (泉岳寺前、新設)
上富士前 (本郷上富士前町、新設)

業平橋 (業平橋際、新設)

櫻田本郷 (櫻田本郷町、新設)後に水道橋に移轉

深川公園 (深川公園内、新設)

江東橋 (元本所紹介所跡)

大塚 (小石川紹介所移轉及改稱)

紹介所名に位置的關係を明示し得る方法の必要を痛感したるを以て、斯かゝる變革の場合に紹介所名を變更するは機宜を得たるものなるを信じ、左の如く夫々日を異にして紹介所名を改稱せり

(改稱)	(舊稱)
大塚	小石川
玉姫町	淺草
新宿	四谷
江東橋	本所

斯く紹介所増設と共に、各紹介所間の聯絡の要は益々切

なるものあるを感じ、毎日自轉車及自動車を用いて、中央紹介所に於て求人及求職の配付交換を行へり。

紹介所施設の増加と共に人員の増加も之を行はざるべからず。依て上司の決裁を経て、取敢へず臨時の傭人名義を以て漸時四十餘名の紹介従事員を増員し、當時最も枯涸を訴へたる求人方面の開拓に全力を挙げ、約二十名を三隊とし勤務を交替として脚絆、草鞋の輕装を以て主として自轉車、自動車に據りて官公署、大會社、通信交通機關等の方面を歴訪せり。

九月中旬のこと、覺ゆ、中央職業紹介事務局、東京地方職業紹介事務局より諸般の交渉あり。求人開拓に就ても其同の開拓班を組織して之れに當るべきを協議し、東京市よりも毎日三名乃至四名の職員を之れに参加せしめて、自動車に依りて求人申込宣傳の事務に當れり。

四、政府當局の英斷と紹介所の努力

空前の大變革に會したる罹災地民の心理の緊張云ふ迄もなきことにして、從來の華美淫蕩は一夜にして一掃され、

最も人間生存に切實なる事項の外一切は閑却され、何事も迂路を避けて最短なる近道を選びて進まんとするの風を生ぜり。身に絹を纏ひ顔に白粉を塗るもの殆んどなく、偶々之れを發見するときには異端の如く指彈さるゝ状態なり。地方人にして職を求め來るものあるときは他の求職者より抗議出て、汝は地方人ならずや今東京は慘禍の中心に立ち市民最も困惑せる秋に方り、地方より入りて東京人の職を奪はんとするは不人情極まれり速かに去れと一喝さるゝ状況にして、何人も之れを怪まざる程に人心は眞劍味を帯び、各自の心は鋭敏となり居たり。

畏くも詔勅に「凡ソ非常ノ秋ニ際シ非常ノ果斷ナカルヘカラス」と示されたるに副ひて、當時政府が機敏に諸般の措置を果斷し、理論よりも實行を先にしたるは世の認むる所にして、吾人も常に力強きものあるを感じたり。職業紹介の臨時施設及臨時木工講習會の施設の如き又其の一にして、職業紹介實務者の努力をも能く諒解し、意見を聴き建言を容れて、突差の際我國の職業紹介事業をして最善の途

を認らしめざりしは、斯業關係者の最も感謝して措かざる所なりとす。

又紹介所員の努力も異常のものありしを認めざるを得ざるべし。變時とは云ひながら朝は未明より夜は深更に及ぶ迄、寸暇なき奮闘を續け、食事は玄米飯に香の物のみを繰返し、交通機關の杜絶せる途上を脚絆草鞋を以て奔走し、連日四、五千人の失業者に當面して之れを措置すること、常時如何に勉むるも之れを學ぶを得ざるべしと思料す、震災直後の某日夜、内務大臣官邸に於て失業者救済方法に關する會議あり、池田社會局長官、田子中央職業紹介事務局長、後藤警保局長、吉田東京市助役等出席し、富田職業課長、福原事務官の顔も見ゆ、市の安田中央職業紹介所長も參席したるが、席上警保局長は痛心に堪えざる面持にて、刻下の失業事情の悲痛なるを云ひ、此の儘にして過ぎんか如何なる危険状態を醸成せんも圖り難しとて頻りに苦慮せられ居たり。そは警保局長の官舎が中央職業紹介所の假事務所に近接し、連日連夜雲集する労働者の職に憧れ

て騒ぐ有様を目のあたり見せらるゝのみならず、紹介所前

の舗通に毎日未明より押掛け來りて労働市場の開始を待つ人々數百人あり、中には道路上にアンペラを敷きて徹宵する者も尠からず、三更の頃ともならば彼等は鬨の聲を擧げて氣勢を附け、夜の明け放るゝ頃よりは假事務所の門扉を割るゝが如く打叩くを常とす。かゝる悽慘の状況を見たる警保局長の憂慮は決して無理ならず。百聞は一見に如かず、安田所長の百の説明よりも此の場面の記憶は一層適切に失業措置に關する方策の進捗を促すに效ありしなるべく、當時の眼前に暴露さるゝ幾多の悲痛事實が政府當局をして機宜の英斷を振はしめたる最も有力なるものたらずんばあらず。

當時の状況を髣髴する爲め、幾多行はれたる新聞記事中最も誤りなき一を左に摘録して、紹介所努力の實情を偲ぶの資と爲すことは必ずしも徒爾にあらざるべし。

(大正十二年九月十七日東京朝日新聞記事抜萃)

△徹宵行列を作つて殺到する求職者の群れ紹介所當

關東大震災に於ける職業紹介成績

局が狂奔的な努力、市内に求人開拓班

帝都復興と失業防止、これは大災害の後を受けた焦眉の問題中での大問題である。東京市社會局は臨機處置として大手町警察講習所内に中央職業紹介所を設け、深川糧秣本廠跡(當時の豫定場所)、淺草玉姬町、淺草橋際、下谷上野博物館前、神田橋外、小石川春日町角(當時の豫定場所)、日本橋水天宮角(これは後に坂本公園に変更)等に臨時出張所を急設、市内に焼け残つた四谷、芝園橋兩紹介所と協力、全力を擧げて罹災者の失職を防がんとしてゐる。

十五日の状況を見ると拂曉二時頃から、所謂働き度い人は各紹介所に殺到した中央の如きは六時頃には二列の人並二丁餘に達し驟雨の中に押すな押すな混雑が續いて悲惨と不安は觀る人の胸を突く、斯くて市役所の各課用藏前陸軍食糧配給、芝浦糧食運搬、海軍經理課等に雇ひ入れたる者約三千、市中個人家屋片付け用約五百人に過ぎず尙數百人は遂に取残されて了つた、この調子で行け

ば求職者は益々増加するばかりで真劍の對策が要求されて來るわけである、其第一着手として市の職業輔導會は市内跡片付けの仕事を受け出来るだけ多くの求職者を救ふ計畫を立て愈々十五日百人の素人夫を率ゐて京橋方面に出動したのを始め、もう直に需要の激増する大工養成の爲に既に千人分の大工道具を調達して到着次第二ヶ月の講習で最も實際的な新大工を市中に配給することになつて居る、此際緊急を要する求人勧誘のために新しく求人開拓班を組織して十五名の班員は八方に手分け毎日市中に活動を續けてゐる、因に現在市當局の雇傭賃金は一般夫朝七時から夕五時まで晝食附二圓二十錢(十六日から實施)死骸片付人夫同上四圓、大工同上四圓である、今後市街建築の激増と共に大工賃金が暴騰せん形勢に對して内務省に於いて公定賃金を設け地方よりも多數呼寄せ以て賃銀の暴騰を防がん計畫がある。(大正十二年十月十七日)

第二章 震災直後の各種施設と其の實況

一、第一期 (九月、十月) 二四
震災直後の數日は紹介所に取りては獅子の子の谷間に投げ入れられたる如きものなり。何者の頼るべき指導者、後援者及び物資もなく、市役所と雖も其の設備、物資に關し供給すべき可能な狀にあらず、紹介所自身跳ね起きて適當に、專斷に、懸命に其の前途を切り拓くの外はなかりしなり。
第二句に入り物資、設備等に關して一道の曙光を得て勇氣を倍加し、職員の安否も追々明瞭になれり。
前章の如き事情なりしを以て市職業紹介所としては最も初めに指を染めたる事務は人事相談なり。以下順を逐うて各種施設に就て説く所あらん。
A、人事相談
九月一日紹介事務開始準備に着手するや路傍を往來する人々立寄りて諸種の相談を持ち掛け、職業を求むるよりも相談相手を求むるの情狀歴然たるものあり。當時の狀態に於ては人事相談事務の最も緊要なるを認めたるを以て紹介事務と併せて相談事務をも行ふこととなせり。

九月三日より臨時事務所を開始したるが人事相談事項の内容概要左の如し。

- 一、火災保險に關する事項
- 一、生命保險に關する事項
- 一、交通機關に關する事項
- 一、家屋に關する事項
- 一、歸國の可否及其他身上に關する事項
- 一、尋ね人の搜索
- 一、迷兒の搜索及貰受の相談
- 一、其他の事項

等にして九月中に於て取扱ひたる件數四千六百十一に及べり。

人事相談には其の基礎資料として各種の知識を有せざるべからず、依て調査員を各方面に派して之れが調査を爲して之れを各方面に配付せり

B、安否通知及立退先の知らせ
人事相談に依り立退先の知らせの要を感じ、人を派して

關東大震災に於ける職業紹介成績

隨所に張紙又は書付けある立退先を寫し集めしめ及び來所者の宿所を聞き置きて、人を尋ねる人々に其の帳簿を一覽せしむるの方法を開始せり、然れども之れは大海の一粟にして左して效果あらざりしならん。
次に避難所を訪れて葉書を代書して地方の親戚知己等に差出すことを開始せり。
當時避難者は交通不便の爲め郵便局へ行くことすら容易ならず、又葉書を購入機会さへなかりしを以て是等の人々の集團的避難場を訪問して安否通知の依頼を受け葉書(切手を貼るもの)を代書して通信を發する事務をも一時行へり。此の方法は避難者に至大の歓迎を受け、數萬枚は一兩日にして發信し盡せり。

(表) 雛形 (裏)

氏名	無事
大正十二年 月 日	
東京市社會局 東京市職業輔導會	

(表) 雛形 (裏)

何縣何郡何村	宛名

C、労働紹介

當時職業紹介所に表はるゝ求職数は毎日五、六千に上り紹介数は三千七、八百なり、震災直後努力の需要は主として臨時應急の貨物の集散に所要のものに限らるゝの觀ありしが、漸く焼跡整理の着手せらるゝに及び個人、會社、官省方面の焼跡片付勞務及び小屋掛人夫雜役等徐々に増加を見、労働市場に職を得ざる所謂「アブレ」も連日二千人内外に及べるものと認められたり。

純粹労働以外の一般職業の需要は一時絶對閉塞の觀ありしが、徐々緩和され十月に入り木工、電工、指物職、守衛理髮助手、藥局生、外務員等の如きものゝ申込現はれ來れり。

十月一日より同十日に至る一句の職業紹介取扱成績左の如し。

	普通紹介	自由労働	計
(求)	男 六、三〇七	四四、〇九一	五〇、三九八
女	一、四〇四	一、四〇四	一、四〇四
計	七、七一一	四四、〇九一	五一、八〇二

D、労働用具貸與

労働人夫の求人申込を受くるも、常に逢着する難件は焼跡整理に使用すべき用具たる鶴嘴、シャベル、モッコ、唐鍬等の用意なきこと是れなり。依て此の點を中央職業紹介事務局に交渉したるに、同局の斡旋にて陸軍より多數の労働用具を貸付さるゝこととなり、東京市役所に交付ありたるを以て、爾後道路局に於て使用する人夫等は悉く之れを利用して就業するの便を得たり。

E、労働賃金の代位拂

需要家に代りて労働賃金の立替拂を爲すことは從來も之れを行ひ來りたるが、今次の變災後の如きは特に日々の賃

	普通紹介	自由労働	計
(職求)	男 六、〇一〇	四九、四四三	五五、四五三
女	三三〇	六	三三六
計	六、三四〇	四九、四四九	五五、七八九
(職就)	男 三、九四八	四二、三三二	四六、二八〇
女	二五〇	五	二五五
計	四、一九八	四二、三三七	四六、五三五

金の支拂を要すること切なりしを以て、東京市職業紹介所は紹介したる労働人夫の賃金を需要家に代りて、賃金支拂の勞を取り彼等の生計の窮迫の緩和を圖れり。

此の支拂事務は毎日午後五時頃より使用證明書なる傳票引換に交付するものなるが、定刻に及ぶと労働者殺到して其の交付及整理に多忙を極め、吏員は連日午後九時頃迄かかりて此の事務を終了するが例なりき。

當時の勤務方法は全員を三組に類ち、各組は三日目に一日の休養を爲し得る組織とし、勤務は中央紹介所内に宿泊して早朝より事務に従ひ交代は正午とせり。

F、罹災地職業紹介所聯合協議會開催

震災後の各地は相互に交通機關不便の爲め事情相通するを得ず、然るに當面の問題として筋肉労働者の處理の外知識階級者、工業労働者、職業婦人の失業者を如何にすべきかの大問題相踵で存し、相互に事務打合の必要を感ずるのみならず此際政府當局の方針を聞き、政府に注文すべきは注文し、自ら努力すべきは努力せんことの必要あるを以て

「罹災地職業紹介所協議會」を開催することに決し、安田東

京市中央職業紹介所長の名を以て東京府下は勿論、横濱、神奈川、横須賀、小田原等の隣縣市町に存在する職業紹介所及府縣社會課其他關係筋に通知勧誘して、十月八日午後一時より大手町警察講習所内東京市中央職業紹介所假事務所に會議を開きたるに會するもの六十三名の多數に及び當日内務省社會局よりは富田職業課長、福原事務官、遊佐東京地方職業紹介事務局長、久田大阪地方職業紹介事務局長及兩局員其他關係者臨席、安田所長推されて座長となり、左記討議事項に就き最も緊張したる論議を交換したり。

I、議題

- 一、此際努力を使用する者は社會奉仕の精神を以て能率にのみ重きを置かず成可失業者多數に互り雇傭の均霑する様心掛けられたき旨宣傳の件（東京市中央職業紹介所提出）
- 二、冬寒の期に於て季節的に失業者を増加するを常とする屋外労働者の爲に冬季間従事せしむべき授産方法

如何(同上)

三、知識的階級失業者の生計援助方法に關し政府當局へ
参考案提出の件(同上)

四、地方よりの需給申込にして往々罹災地失職者に適切
ならざるものあるは遺憾につき罹災地失業者の希望
に恰當する實情を具したる詳報を地方へ發送するの
件(同上)

一、失職せる熟練職工の救治方法如何(東京府職業紹介
所提出)

二、青少年女又は職業婦人の救治方法如何(同上)

三、時難に對する職業紹介は須く政府の努力に俟たざる
べからず求人開拓に於ける最善の援助を求むるの件
(同上)

一、被害地に於ける職業紹介所を國營にせんことを其筋
に建議すること(横濱中央職業紹介所提出)

二、被害地に授産場を設置せむことを其筋に建議するこ
と(同上)

一、罹災地職業紹介所に對する國庫補助金を増額せられ
たきこと(川崎職業紹介所提出)

二、罹災求職者にして適當の就職口なき者の歸郷者には
本年十二月末日迄の鐵道乗車賃を五割引とせられた
きこと(同上)

三、國營土木工事及全國府縣營諸工事を速に著手せらた
たきことを其筋に建議すること(同上)

一、目下の狀態に對し一層の活動を繼續するの要あり公
私立を問はず各職業紹介所に對し臨時補助金を下附
せられたきこと(北豊島工業組合職業紹介所提出)

二、此際各職業紹介所電話を至急架設し事務の聯絡を圖
り一層救活に處理することに努められたきこと(同
上)

三、職業紹介所を増設せむとする場合は最も適當なる位
置を選定すること(同上)

四、職業紹介所の位置を明示し求人及求職者の便を圖る
こと(同上)

ロ、失業救済に關する政府當局へ参考案提出

東京市中央職業紹介所提出協議事項の「三」政府當局へ參
考事項提出の件は満場一致を以て可決、政府當局へ協議會
の名を以て参考案を提出することとなり、安田中央職業紹
介所長代表者と成りて左の如く進達したり。

大正十二年十月 日

京濱罹災地職業紹介所長協議會

代表者東京市中央職業紹介所長

安田龜一

内務大臣子爵後藤新平殿

一、失業救済ニ關スル參考事項 壹通

右罹災地職業紹介所長協議會決議ニ依テ進言

(別冊壹通添)

別冊

失業者救済ニ關スル參考事項

刻下急迫セル罹災地失業者救済ニ關シテハ朝野各腦漿ヲ
絞リツ、アルモ窮極スル解案ハ直接之ヲ救助スルノ外ハ地

關東大震災に於ける職業紹介成績

方的移動ト新ナル職業需要ヲ振興スルノ外ナシト認ム

別紙ニ舉クル事項ハ主トシテ就中至難事項タル俸給生活
失業者ニ對スル處置並ニ一般失業者ノ生計援助方法ニ關シ
政府施設ノ參考資料タラシメントスルモノナリ

一、智識階級失業者救済ノ一法トシテ左記諸項ヲ速ニ實行
シ職業需要ノ振興ヲ策スルコト

イ、焼失シタル戸籍原簿及寄留簿等ヲ速ニ復興スルタメ
副本ノ謄寫及届出書類ノ登錄加除ヲ行フコト

註 戸籍原簿ノ焼失紙數約四十萬枚ニシテ之ヲ完
成スルニハ明治三十一年以降ノ副本及書類ノ
數量約一百万枚ノ謄寫ヲ要スルモノトセハ五
百人一年間ノ仕事ニ當ル推算ナリ

ロ、遞信事務ニシテ緊急復興ヲ要スルモノハ速ニ之ヲ處
理スルコト

註 緊急急處理ヲ要スルモノ大要次ノ如シ
一、郵便貯金ノ原簿通牒等作製

一五、〇〇〇、〇〇〇冊

二、證券保管證及原簿等作製

一、二七〇、〇〇〇冊

三、振替貯金原簿發行整理

六〇、〇〇〇冊

四、恩給カード作製

四〇〇、〇〇〇冊

五、中央集計臨時事務

五〇%増

右事業ハ一萬人一年間ノ仕事ニ相當スル推算ナ

リ

ハ、動員通知ノ資料タルヘキ兵役名簿ノ急速再製

ニ、土地臺帳ノ復興ノタメ登記所ニ就キ調製スヘキ緊急

事務

註 二五〇人一年間ノ仕事ニ相當スル推算ナリ

ホ、徵稅事務ニ要スル基礎書類調製

註 一、二〇〇人一年間ノ仕事ニ相當スル推算ナ

リ

ハ、復興好資料タル左記緊急調査ヲ實行スルコト

一、現狀戸口調査

二、現狀營業狀態調査

(説明)前提ノ諸事項ハ各實際方面ニ就キ調査セル正確ナリト信スル種目數量ニシテ各當局者ハ何レモ緊急復興ノ焦眉ノ急ナルヲ認メツ、豫算關係、特殊技能ノ必要ナル理由等ニ依リ急速ニ實施スル事ヲ躊躇シツ、アルモノノ如シ、而シテ其事務ノ内容ハ筆蹟、計算、監査及特種知識ヲ要スヘキハ勿論ナルモ各種ノ方面ヨリ失職者ヲ出シツ、アル今日人選及訓練宜シキヲ得ハ之ニ充當シ得ルハ見易キコトナリト思考ス

二、職業輔導ノ計ヲ立テテ次ノ事項ヲ實行スルコト

イ、罹災失業者ノ企畫セル生業事情ヲ審査シ必要アリト

認ムル者ニ少額ノ資金ヲ貸與スルコト

ロ、大授産場ヲ設ケ諸般ノ簡易ナル手工其他ヲ實習セシ

メ其收入ニ依リテ生計ヲ扶助スルコト

ハ、復興ニ際シ最モ需要アリト認メラル、木工、塗工、

鍍力工、鐵筋工等ヲ速成ニ養成シ罹災失業者ニ職

業ヲ授クルト同時ニ復興事業ニ貢獻セシムルコト

(説明)刻下群起シツ、アル失業者ノ實情ヲ觀察スルニ

イ、獨立營業ヲ企圖スルモノモ生業資金ヲ得ルノ途無ク

勢ヒ就職ノ難關ニ趨ラサルヲ得サルモノ多キコト

ロ、一家ヲ舉ケテ失業ノ悲運ニ遭遇スルモノ多ク從前ヨ

リ營ミ居タル内職等生計扶助ノ道杜絶シ悲惨ヲ極メ

居ルモノ多キコト

ハ、復興事業ノ進捗ニ伴ヒ土木建築ノ如キ需要殷盛ナル

方面アルモ技術ナキタメ之ニ向フヲ得サルモノ多キ

コト

以上ノ狀況ニ鑑ミ下層階級者ノタメニ金融ノ道ヲ拓キ生

計扶助ノ方法ヲ立テ無技術者ノタメニ簡易ニ修得シ得ル

技術ヲ授ケテ職業轉換ヲ容易ナラシムル等職業輔導事

業ノ實施ハ刻下ノ急務ナリト認ム

三、内地ニ於ケル勞働需給ノ實情ニ鑑ミ此際積極的ノ移民

政策ヲ實施シ失業問題緩和ノ一策トナスコト

(説明)從來我移民事業ハ

イ、一般ニ移民地ノ實情ニ通セサルコト

關東大震災に於ける職業紹介成績

ロ、渡航費ニ比較的巨額ヲ要スルコト

ハ、家族帯同ヲ必要條件トスル等ノ制限アリシコト

ニ、營利會社ノ奸手段ヲ弄シタル實例アリシコト

ホ、移民手續等ニ通セサルコト

等主ナル障害トシテ數ヘラル、モ我國ニ積極的ノ移民計

畫ナカリシ事及我國民性トシテ郷土ニ對スル愛着心強キ

等ヲ根本的ノ障害ナリト思料セラル

今回ノ大變災ハ一般ニ海外渡航ノ決心ヲ促進セシムルニ

相當ノ效果アリ現ニ移民志願者増加ノ現象ヲ認メラル、

ヲ以テ此機ニ於テ當局ハ罹災者救済ノ趣意ニ合致スル如

ク出來得ル限り移民上ノ制令ヲ撤廢シ渡航費補助等方法

ノ實現ニ努メラレ且ツ移民ノ手續、經費、實情ヲ一般ニ容

易ニ周知シ得ル如ク公示シテ普ク移民ヲ奨励セハ其實績

ハ相當顯ハル、モノト認ム

ハ、第二回及第三回

罹災地職業紹介所協議會ハ十二月八日第二回ヲ大正十三

年一月十九日第三回ヲ芝區兼房町十一東京職業輔導會樓上

ニテ開催セリ。同ヲ重ムル毎ニ來會者多數ニシテ、第三回ハ恰モ豊原東京府職業紹介所長歸朝シタル際ナリシヲ以テ、新任三矢中央職業紹介事務局長並ニ豊原所長歡迎ノ意味ヲ以テ會議終了後丸ノ内中央亭ニ於テ晚餐會ヲ催セリ
第二回及第三回ニ於ケル議題左ノ如シ

一、復興事業に最も緊要なる業種にして供給寡少なるもの多し之が需給調節の方法如何(東京市中央職業紹介所提出)

一、職業紹介所に移民部を設置し實行機關として積極的に内外移民を奨励すると同時に政府に對し一層徹底したる移民政策を要望するの要なきや(同上)

一、全國的失業調査の實施方法に關する件(同上)

一、職業紹介事業の周知を目的として全國主要都市に職業紹介巡回講演會開催希望の件(同上)

一、燒跡整理に付東京市並に横濱市當局に建議の件(東京市職業紹介所提出)

一、大多數の求職者に直而して紹介能率を増進せしむる

爲最善の事務簡捷方法如何(同上)

一、罹災地に於ける紹介機關の實現を臨時議會參席の代議士諸君の視察方案内するの件(同上)

一、失職せる熟練職工の救治方法如何(同上)

一、今年に入り日傭労働者の需要は激減の觀あり之が措置方法如何(同上)

一、罹災地に設置したる各紹介所に對する需要者及求職者の意需並に態度如何(同上)

一、罹災地に於ける各紹介所機關の活動を實査印刷配布せられたきことを本協議に依り當局に申請するの件(同上)

一、婦人小供の失職者に對する適當なる救済方法如何(横濱市中央職業紹介所提出)

一、新任中央職業紹介事務局長歡迎會開催の件(同上)

一、募集人の取締を一層嚴重にする様其筋に注意を促すこと(同上)

一、震災地に於ける主なる會社工場等の事業開始豫定期

日及勞務需給關係の調査を當局に依頼の件(東京市

淺草公園職業紹介所提出)

一、市町村内に公益職業紹介所三ヶ所以上を有する場合當分知識階級者と熟練工のみを取扱ふ専門紹介所を特定するの必要なきか(東京市上野職業紹介所提出)

一、職業紹介所附設として労働者宿泊所を設置し半常住的に之を宿泊せしむるの可否如何(東京市芝園橋職業紹介所提出)

一、日傭労働者を定備化する最善の具體的方法如何(東京市業平橋職業紹介所提出)

一、交換部特設の件(北豊島工員職業紹介所提出)

一、職業紹介事業協會速成の件(同上)

一、内務省助成金下附の件(同上)

一、職業紹介法の改正すべき要點を調査し帝國議會に提出方を運動するの可否如何(同上)

一、職業紹介法第四條を改正し中央事務局所管に移すことを其筋に建議すること(龜戸職業紹介所提出)

一、就職者汽車汽船賃の割引を私設に及ぼすこと(同上)
一、職業紹介所員に對し全國汽車汽船無賃乗車券交付を社會局長官より鐵道當局へ交渉を稟請すること(平塚町職業紹介所提出)

二、第二期 (十一月十二月)

震災後職業紹介の數字が如何に激増したるか及其職業別の消長は次章に掲げたる情報中に於て詳細に之を述べ。唯茲には震災を境界として如何に急激の變化ありたるかを左に一顧せん。

災前(八月)及災後(九月以降)の取扱數比較表

	求人數	求職數	就職數
八月	四〇、三四六	三七、四五四	三九、二二九
九月	七九、九五八	七八、九〇八	六九、〇四〇
十月	一六八、四〇八	一八〇、二二二	一五〇、六一六

(註)右數字の約八割五分は自由労働なり

人事相談は約一ヶ月半にして廢止したるが、前表に示す如く職業紹介數の激増に加へて、労働賃金支拂事務をも行

ひたるを以て、紹介従事員も四十餘名を増加し舊従事員を併せ百餘名を以て應急事務に當れり。

一、職業紹介事務講習會

職業紹介に關する基礎知識を授け且實務上の要點及呼吸を會得せしむる目的を以て十一月二十一日より同二十八日に至る八日間午後六時より中央職業紹介所内に於て新入者の講習會を開催せり。

講習科目左の如し。

一、失業問題一斑及職業紹介事業

一、職業紹介法制及一般服務

一、紹介實務上の注意

一、紹介實務上の呼吸

一、自由労働紹介

一、労働者の取扱

一、統計

吉田東京市社會局長、遊佐東京地方職業紹介事務局長の談話あり。

二、「求人開拓デー」の實施

年末に押迫り求人激減したるのみならず、災後の紹介事業の繁忙状態も第二期に入り自然世人の斯業に對する注目漸く弛緩せんとするの狀を呈せるを以て、此際更に世上に一大刺戟を與ふるの要を感じ、十二月三、四日の兩日に互り「求人開拓デー」を實施せり。此催は本市としては初めての行に非ず、例年の行事なるが今回は意外に世人の注目を惹き、其効果も僅少なからざるものありたり

イ、組織編制

十五區を十班に分ち各班に班長を置く總指揮は安田所長之に當れり

本部 總長

總務課 三名

求人綜合課 三名

紹介部 七名

聯絡課 二名

自動車班 六名

宣傳ビラ配布係

第一班 麴町區

第二班 京橋區 日本橋區

第三班 神田區

第四班 本郷區 下谷區

第五班 四谷區 牛込區

第六班 小石川區

第七班 麻布區 赤坂區

第八班 芝區及品川方面

第九班 淺草區 本所區 深川區

第十班 官公廳

宣傳ビラ配布場所

一、上野電車乗降口

一、上野廣小路停留場

一、須田町停留場

一、日比谷公園停留場

一、東京驛乗車口

二〇名

五名

六名

四名

六名

五名

四名

五名

七名

九名

五名

一、吾妻橋際

一、品川驛

一、四谷見附

一、大塚終點

一、兩國驛

ロ、開拓整理に關する件

一、需要申込中特に紹介急速を要するものは最寄の紹介所に交附する事

一、需要申込にして特に急を要せざるものは中央本部に於て開拓日報を以て各紹介所に通報する事

一、開拓班は第三日中に其成績を纏め報告する事

ハ、求人開拓上の注意事項

一、今回は宣傳を主とするを以て求人數多きより寧ろ訪問件數の多きを望む

一、職業市場の需給の實狀を知らしむる爲左記の事項を了知する事
A、職業紹介所に來る求職者は眞面目にして有爲の

東大震災に於ける職業紹介成績

人物鮮からざるを以て、従来の先入主たる「職業紹介所」を利用せざる陋習を一掃せられたる旨を雇主に説き猶ほ労働紹介を行へる紹介所も一般紹介を取扱ひ居る旨注意の事

B、需給状況（自明治四十四年十一月至大正十二年十月）の印刷を配布すること

二、開拓後の注意

一、報告すべき事項

- 求人申込書に依り求人数其他の要項記載の上報告の事各班長は之を取纏め、綜合係に提出のこと
- 一、開拓道順、主なる訪問先、訪問町名、訪問件数
- 一、有益又は特記すべき先方の談話は其面會者氏名と共に要領を報告する事
- 一、各班長は各自の情報を適宜取捨して中央本部に報告の事

ホ、情報要項

一、受持區域

職業紹介所を御利用なさいますか？

新宿	職業紹介所	四谷區花園町一〇三（新宿一丁目下車元北裏通）（電話牛込四六四八）
飯田橋	職業紹介所	麴町區飯田町、飯田橋際小石川町大塚辻町、養育院正門際
大塚	職業紹介所	日本橋茅場町、坂本公園内
坂本公園	職業紹介所	日本橋區馬喰町一丁目、淺草橋電車乗換場角
淺草橋	職業紹介所	淺草區淺草公園内、傳法院前
淺草公園	職業紹介所	淺草區淺草公園内、傳法院前
數寄屋橋	職業紹介所	京橋區數寄屋橋公園内（最近開所）
業平橋	職業紹介所	本所區中ノ郷業平町、業平橋際
江東橋	職業紹介所	本所區入江町江東橋際、元燒跡（電車込四六四九）
深川公園	職業紹介所	深川區深川公園、八幡境内
高輪	職業紹介所	芝區高輪車町、泉岳寺電車停留場附近
上富士前	職業紹介所	本郷區駒込上富士前町、電車乗換場角
六本木	職業紹介所	麻布區六本木、電車乗換場角
櫻田本郷	職業紹介所	芝區櫻田本郷町、電車乗換場附近

● 人を求む方はどしどしお申込下さい

東大震災に於ける職業紹介成績

職業紹介所はあなたの爲めに熱心に努力

- 一、区域内に於ける震災後の事業概況
 - A、事業と人との需給關係
 - B、將來の見込
- 一、先方の職業紹介所に對する理解程度
- 一、先方の職業紹介所に對する希望
- 一、震災に起因する職業轉換の實情
- 一、其他特筆すべき談話

ハ、服装

豫て準備せる「求人デー」及紹介所名を赤書せる腕章を附し婦人及宣傳びら配布係は同様の布を以て袴を纏ふ。

職を求むる方は御遠慮なくお出下さい

東京市立職業紹介所	
中央	職業紹介所 神田區神田橋際、元燒跡 （電話牛込四六四七）
玉姫	職業紹介所 淺草區玉姫町一二六、元燒跡（山谷下車） （電話小石川六四二二）
芝園橋	職業紹介所 芝園橋新堀町三〇、芝園橋附近 （電話高輪三七三〇）
上野	職業紹介所 下谷區上野三橋町一三、元燒跡（上野驛前） （電話小石川六四八三）

して居ます

東京市職業紹介所求人開拓デー成績表

大正12年12月1日

職業名	求人		同		上口	
	男	女	男	女	計	計
1. 製糖	3	2	1	1	2	1
2. 染織	12	25	12	2	14	2
3. 染織	48	60	108	18	126	20
4. 機織	104	40	104	29	133	26
5. 機織	40	40	40	4	44	4
6. 船舶	133	22	155	19	174	21
7. 電機	260	11	271	2	273	29
8. 金業	17	21	38	3	41	6
9. 製薬	13	6	19	5	24	7
10. 製紙	67	13	80	2	82	7
11. 印刷	46	67	113	17	130	23
12. 製材	131	2	133	6	139	7
13. 製材	98	2	100	1	101	5
14. 製材	134	36	170	33	203	37
15. 探査	905	253	1,158	161	1,319	187
16. 探査	167	1	168	17	185	17
17. 探査	2	2	4	1	5	1
18. 大工	2	2	4	1	5	1
19. 左工	5	5	10	1	11	1
20. 石工	85	5	90	5	95	8
21. 土工	259	24	283	24	307	24
22. 其他	82	82	164	37	201	37
23. 小工	56	66	122	30	152	30
24. 商店	63	63	126	26	152	26
25. 商店	49	22	71	13	84	15
26. 飲食	3	1	4	2	6	2
27. 行商	3	1	4	2	6	2

關東大震災に於ける職業紹介成績

業	28. 其	他	253	22	275	108	2	110
小	計							
四、農林業	29. 農作園藝	2						
	30. 養蠶							
	31. 林業							
	32. 其							
五、水産業	33. 漁撈	2						
	34. 製鹽							
	35. 其							
六、通信運輸	36. 船							
	37. 鐵道從事員	4						
	38. 電氣鐵道從事員	234						
	39. 自動車從事員	26						
	40. 通信從事員	26						
	41. 運送馬丁	3						
	42. 車夫	2						
	43. 其							
七、戸内使用人	44. 養母	297						
	45. 乳母	5						
	46. 番生	25						
	47. 番人	14						
	48. 其							
八、雜	49. 官公定	39						
	50. 教務員	20						
	51. 事務員	58						
	52. 看護人	1						
	53. 看護員	39						
	54. 醫局衛生人	1						
	55. 集電局金遣	116						
	56. 集電局金遣	117						
	57. 理髮場	147						
	58. 理髮場	147						
	59. 其							
	60. 其							
計			321	3	324	8	1	334

小	計	326	5	331	72	8	78
計		2,051	307	2,357	411	49	460

三、衆議院議員及貴族院議員に對する案内状

罹災地職業紹介所協議會第二回に於て東京府職業紹介所より提出したる協議事項可決され、帝國議會の議員に刻下労働市場の状況を視察せしむるの目的にて鄭重なる左記の案内状を發送せり。

(案内状の文面)

時下初冬の候愈々御清安に涉らせられ候段爲邦家奉慶賀候

扱て今回未曾有の大震災に因る失業者は頗る多數にして罹災地職業紹介所を通して一日一萬五六千を越ゆるの状況に有之「我に職を與へよ」の切實なる要望は轉た同情に値ひすべくと存候國事御多忙の折柄には候得共一度職業紹介機關の繁忙なる實況御視察に預り度此段及御案内候

敬具

追而御視察の節は一月十四日より十六日迄の間に於て
神田橋際東京市中央職業紹介所に御托駕下され候はゞ
御案内可致候

罹災地職業紹介所協議會代表

- 東京市中央職業紹介所長 安田 龜一
- 東京府職業紹介所長 鶴澤幸三郎
- 横濱市中央職業紹介所長 佐藤 力太

四、無料宿泊状況

從來芝園橋職業紹介所及新宿職業紹介所に於て附帯事業として簡易宿泊所を其建物内に經營し來れり。右兩所共幸ひ焼失を免かれたるを以て、震災後無料宿泊を許可し、全能力を擧げて困窮者を收容せり宿泊件數左の如し。

一月	二、二〇四	四月	一、九六五
二月	一、九二二	五月	一、七二二
三月	二、〇九八	六月	一、五三八

關東大震災に於ける職業紹介成績

第三章 整理及内容充實時期

一、諸調査の開始

A、職業紹介事務に關する參考資料

職業紹介事業は職業紹介事業の爲に存するにあらず、社會の實情に順應し産業の要素たる勞力の需給及移動を仔細に考察し、失業量の消長緩急に深甚の注意を拂ふと同時に最も迅速且適切に職業に就かしむることを念とするの要あるは論を俟たず、然るに紹介事業の従事者は平常繁忙なる事務に追はるゝ爲、社會各方面に表はるゝ出來事に對して眼を放つの餘裕存せざるは最遺憾なることゝす、中央職業紹介所は特に此點に鑑み、調査係を置き百般世事の耳目に當らしむると共に事業上の參考資料として最主要なる勞力の需給、移動、各種業務の消長に關する世間の諸調査及紹

介事業に關聯せる統計の如きものは遺憾なく之を網羅して編輯し、「職業紹介事業に關する參考資料」として隨時之を發行して斯業従事者又は希望の向に頒たんとす、第一號を大正十二年十二月に發行し不日第二號を發表するの時機に達し居れり。

尤も本資料は別に新に發行せる職業紹介法施行令に基く「東京市職業紹介情報」の姉妹篇と見るべく、其内容の如き漸を追うて完全の域に達せしめんとす之に依りて繁忙なる吾人が單に眼前の失業者に當面するに止まらず、況く社會の事情に接觸するの資料たるを得ば、資料發行の目的は達したるものと云はざる可らず。

B、求職者失業事情調査

求職者の失業状態を知悉することは、紹介業務上必要なるを以て豫て計畫中なりしが、震災後約四ヶ月以上を経過し紹介業務も漸次常態に回復せんとするを考慮し、大正十三年一月十七日より同二月十五日に至る期間に於て求職者一萬五千名を目標とし各紹介所に來る求職者につき豫て分

配し置ける別表の調査表に一々所要の記入をなさしめ、日之日を中央職業紹介所調査係に纏め現今に於ける求職者の失業事情其他の事項を調査中なるを以て不日其結果を發表し得るの時機に達する豫定なり。

事業上の參考に致したいのですから、御手数で恐入りますが左に有のまゝを書入れ下さい。

(氏名は書くに及びません)

御 過 去		現 在
是迄の御職業は(前職) 其職業をどうして離れましたか(失業原因) 職を離れてから幾月になりましたか(失業期間) 今迄一番永く勤めた年數と其職業は(其職業) 今迄何回職業を變へましたか(回數)		將來は何職をお望みですか(將來の方針) 今は何んな仕事を求めますか(希望職業第一希望) (希望職業第二希望)

二、情報の發行

職業紹介法施行規則に定められたる情報交換の試みは重要な事項たるに拘らず、勞務事情複雑にして調査の困難なると表明方法の容易ならざるとの爲各地とも未だ發行を見たることを聞かざりしが、大震災に依り變化を來せる罹災地の事情は何人も知らんとする所なるを想ひ、各地に於ける事情と交換を欲するの目的を以て大正十二年十二月之れが脱稿を見、一月之れを發行し全國の主要都市及職業紹介所其他關係方面へ發送せり。

一、震災直後の勞務状況

震災直後は一般需要閉塞し單に臨時救護品の荷上、積卸、運搬等の勞役人夫の仕事のみ存するに過ぎずして多數罹災者は當面の糊口に窮迫し勞働の無経験者も一時之に従事するの餘儀なき事情にありて不適なる勞務の状態は傍觀するに忍びざるものあるを認めたり。其後十月上旬より總跡片付作業市直營を以て開始と共に勞務の需要増加し一方小商工業の人員需要も漸増し來り、十一月以降復興氣分の濃明と正比例して勞力の需要漸く災前に近き迄に復活し來れり。然れども一般に大工業は未だ復活

紹介所名

御 上 京	お 身 分 の 所 在 地	御 家 庭	其 他
最近いつ上京なさいましたか 御上京の目的は何でしたか	御年齢は 御出生地は(何縣) 教育程度は 今の御住所は(町名)	御両親は 御兄弟は(何人) 御配偶は 御子さんは	あなたの毎月の生活費は平均どの位でありますか あなたの最も不平に思ふてゐることは あなたの最も感謝してゐることは あなたは罹災者ですか

關東大震災に於ける職業紹介成績

の曙光を認めず、小工業の一部及商業のみ比較的活潑なる復舊を見、殊に食料品飲食店等の如きは災前に勝れる需要状況にあり。小店員女中の需要は依然として多く之に對し求職鮮きは震前の事情と大差なし。需要も供給も最多きものは商店雜役得意廻り等とす。

二、震災以後職業紹介施設の状況

東京市設職業紹介所は既設九箇所中大火災に因りて其六箇所を焼失し、殘かに芝園橋、大塚、新宿の三箇所のみ災後に殘存するに過ぎず、而かも災禍の影響は失業者を續出せしめたるを以て東京市は震災の翌日直に應急施設を準備し九月三日より取敢ずテント張を以て三箇所を臨時職業紹介所の施設を爲し(神田橋、丸の内、上野)徐々増加して十二月初迄に内務省社會局の手配を受けバラツク建を以て十五箇所を實施し、現に合計十八箇所を以て毎日四千人乃至七千人の求職者に當面しつゝあり。

三、現在概況及將來の観測

震災前後に於ける職業紹介取扱数字は左表記載の如く災前災後著しき運底あるは世情の變化に對比し興味深きこととす其災後に於ける膨脹數字の大部分は自由労働に存したるは一の項に説きたる如き状況に職由す。而して職業別の消長に關し簡單なる考察を下せば左の如し。

A、頭腦労働者。俸給によりて衣食する所謂知識的階級に屬するものの就職は刻下極めて困難の状況に在り其求職者は自由労働以外の全求職数の約三〇%を占むるに關はらず需要は約〇・五%弱にして殆ど云ふに足らず、加ふるに其寡少なる需要も多きは筆耕、通信従事員、調査員等の一時的需要にして恒久的適職方面は其需要極めて寥々たるを遺憾とす。

るを遺憾とす。

年度末を控へたる眼前或は更に一層の失業者増加を見るべく其需要方面に至りては寒心に堪へざる状況にあり一般景氣の復活を待つにあらざれば差當り左の覺悟又は處置を必要と思料す。

一、此際體面及舊慣を捨て體力の許す限り労働仕事をも厭はざる決心を起すこと

二、環境及勤務條件の不利を忍びて地方に移出すること

三、臨時的需要に應じ隠忍して將來生ずべき恰當の職業地位を持つこと

四、職業轉換を容易ならしむる方策の爲に社會が特殊施設を設くること

B、工業労働者

熟練労働者にして職業市場に求職するもの、比較的少きは從來の常態なり。震災後工場焼失し失業者續出せる際にして猶此の事實の變化せざるは職業紹介所に對する彼等の理解の徹底せざるに依るべきも、我國に於ける熟練工の需要は寧ろ争奪的状況にあるを以て失業手當に依る餘裕其等種々の事情の爲職位移動の困難と相俟つて此状態にあるものなるべし。然れども近時は過去一二年以前に比しては其利用率漸進し來れるは著明なる事實なり。震災以後は小工場より先づ稍復活を見護謨、印刷、硝子、裝身具、機械方面に於て需要漸く増加し來れり。然れども復興計畫の遅延と相俟つて産業の振興容易の業にあらず、其勢力股盛を見るは未だ遠慮なりと思料す。

C、復興關係勞務者

震災直後バラツクの建設の爲に一時大工職、下りキ職、ペンキ職の需要股盛を呈し賃金の昂騰を喚起し地方勞力著しく市中に入込たるも一圓行渡りたる今日に及び賃金の制限、住居の不便等と相俟つて地方勞力は却つて四散せんとする近況にして技術優秀ならざるもの淘汰は歴然として表現しつゝあり。

近き將來に於て復興計畫の確立實施に従ひ此種需要は頗る増加する時期あるは必然にして、其際に於ける需要の股盛は此等技術工を筆頭とし設計技術、製圖手、測量手等に及ぶべく豫想せらるるを以て東京市中央職業紹介所に於ては先頃來復興業務部を設け特に専門に此種業務に關し取扱をなせり。

D、自由労働者

自由労働者需要に關しては目下季節的閑散の時期にあ

り、復興關係勞務者 震災直後バラツクの建設の爲に一時大工職、下りキ職、ペンキ職の需要股盛を呈し賃金の昂騰を喚起し地方勞力著しく市中に入込たるも一圓行渡りたる今日に及び賃金の制限、住居の不便等と相俟つて地方勞力は却つて四散せんとする近況にして技術優秀ならざるもの淘汰は歴然として表現しつゝあり。

るも其失業状況は例年程深刻なるものなきが如く、猶邊跡片付、交通運輸の雜役、建築手傳等に従事しつつ將來來るべき復興事業に關聯せる土木關係の勞力需要の股盛を待ちつつあるもの如し。復興事業にして緒に就かば他業務の繁盛と共に此種勞力は著しく不足を告ぐるに至るべしと思料す。

E、婦人職業者 震災直後は多數の商業關係婦人の失業を見たるも當時夫々家庭に入り又は地方に出でて安住に就き止むを得ざるもののみ、女中又は内職方面へ求職したる事實あるも我國は元來女子の需要多く眞に働を欲する婦人にして糊口し得ざる事情全く存せず、唯事務的方面を希望する者は一時需要枯涸したるも昨今漸く此方面も需要を加へ、尙刻下は季節的内職方面の需要稍股盛なり。

前	災								求	職	就	職
	八	七	六	五	四	三	二	一				
月	月	月	月	月	月	月	月	月	一九、六八四	二四、〇八七	一五、五八〇	
次	月	月	月	月	月	月	月	月	二四、九九二	二五、九〇九	一八、二三三	
求	月	月	月	月	月	月	月	月	三五、三〇九	三二、五九三	二四、九二三	
人	月	月	月	月	月	月	月	月	二九、四八二	二八、七七五	一九、六一二	
	月	月	月	月	月	月	月	月	三三、一一一	三〇、五五〇	二一、九五七	
	月	月	月	月	月	月	月	月	三二、五六六	二九、八七五	二二、八一九	
	月	月	月	月	月	月	月	月	三四、二〇七	三三、一一八	二五、一五二	
	月	月	月	月	月	月	月	月	四〇、三四六	三七、四五四	三九、二二九	

關東大震災に於ける職業紹介成績

關東大震災に於ける職業紹介成績

後	災	後	災
十	十	十	九
二	一	月	月
月	月	月	月
七九、九五八	一六八、四〇八	七八、九〇八	六九、〇四〇
一一七、八八四	一一七、八八四	一八〇、二二二	一五〇、六一六
九五、九四一	九五、九四一	一二七、五四八	九五、六二八
		九五、一五四	七四、八五二

B、災前後各三箇月に於ける業種別勞力需給の實數及百分比

業種別	前 (自六月至八月)		後 (自九月至十一月)		増減
	需	供	需	供	
土木職人(大工等)	一、五四〇	一、〇二七	八、八六一	六、八六四	七、三二一
其他工業	九、一八九	一〇、二八五	一四、二六七	一一、五一六	五、〇七八
探鑛冶金	一	五	四五	一八	四四
食料及嗜好品	一、四三四	一、〇三八	一、八四六	七六六	四一二
製紙印刷及	一、〇六五	九八二	七八四	一一、二一八	二八一
製絲業	三二六	一五三	三二七	一一〇	一二九
化學工業	二八〇	一四四	一五一	九五	一二九
金屬工業	一、〇四九	七二三	九九〇	八四八	一五九
電氣瓦斯	三一四	六五七	一、六六七	一、三九五	一、三五三
機械器具	九〇二	九七二	一、七九六	一、六五三	八九四
被服及裝身具	一、三六三	九二三	一、一三七	六八四	二二六
織造工業	七八六	五〇二	四一二	二三五	三七四
合計	六〇、七六九	五九、七四二	三〇二、六〇七	一八五、二四一	一八三、八三八
計	六二、三〇九	六〇、七六九	三一一、四六八	二〇四、四九二	一五九、一五九
業	四、一五八	三、二四一	一四、八三七	八、六八九	六
商	一九、〇〇一	一一、五〇四	一七、八八三	一一、四三一	一一、一八
農林業及水産業	五〇	六二	二七	四一	二二
通	一、〇八四	一、〇〇五	二、五〇〇	二、六〇七	一、四一六
人用使内戸	一、七三八	四、五八三	二、〇二五	四、一六〇	二八七
計	三、五五六	一、二七一	五、九六二	一、九〇五	二、四〇六
女	五、二九四	五、八五四	七、九八七	六、〇六五	二、六九三
中	一、〇二八	六、二七五	一、二四二	四、四八一	二二四
等	三四一	三〇八	六三六	三二六	二九五
吏員、事務員	三、九二五	七四二	四、五五四	一、〇五二	六二九
醫務員	四、八九八	三、六四三	五、六八六	五、〇一八	七七八
外勤員	一〇、一九二	一〇、九六八	一一、一一八	一〇、八七七	一、九二六
筆耕、配達人等	一〇七、一一九	一〇〇、四四七	三六六、二五〇	三八六、五八六	二五九、一三一
合計	一〇七、一一九	一〇〇、四四七	三六六、二五〇	三八六、五八六	二五九、一三一

C、需要増減に關する考察

イ、工業及鑛業

一、織造工業 震災により工場は大損害を被り未だ復舊せず、従業員は主として婦人なるが故歸國其他のため求職自然減少せり

關東大震災に於ける職業紹介成績

一、機械器具 復興に直接關係多く工場も小規模のもの多くして復舊比較的早かりしのみならず機械修理等の必要のため需要多かりしものなり

一、電氣瓦斯 焼失モーターの修理に繁忙を極め主として捲線工の需要あり。次で架線工も需要多し

關東大震災に於ける職業紹介成績

- 一、金屬工業 此事業は工場の大々甚しく、大工場は概ね職工の多数を解雇し其職工は多く小工場に職を求めたり。
- 一、化學工業 肥料、薬品の工場に打撃多く従業員は技術を要すること少きを以て多くは轉業せり。
- 一、製紙業 此種の工場は比較的熟練工を要すること少く震災直後解雇職工は人夫等の収入多き労働に走りたるものなるべし。
- 一、製版印刷及製本 力業に非らざる特殊技術なるを以て轉業困難の事實を認むるを得。
- 一、食料及嗜好品 菓子工場は被災少く被災せしものも事業の復興早かりしも工賃低く求職者少し。
- 一、其他工業 特殊の小工業多く復興も早く事業振興せり、ゴム、紙器等の工業特に需要多し。

要するに規模の大小により復興の状態に列然たる差異を觀取するを得、而して大體としては機械業電氣業等繁忙のため活況を呈せりと云ふを得べし。

ロ、土木建築

直接復興に大影響あり、貨物運搬、積卸、焼跡片付、バラック建造等のため勞力需要多く一方被災者にして之を望むもの多かりしを以て供給増加せり。

ハ、商業

- 一、店員行商及雜 商店被災のため雇入は激減し解雇により供給増加を來せりと雖、災後復興迅速にして特に小店員の需要多く依然需要超過を示せり
- 一、飲食店雇人 此營業は災後一時市内職業の大部分を占めたるも大規模の

ものなく、雇人は皆無なりしを以て需要の増加を見ず雇人の轉業或は歸國に依り供給も減少せり。

今一般の商業状態より見るに店舗の復舊せられざるため需要減少せりも漸次著しく復活し來り十二月以後の統計には此の傾向充分に表はるるものと認む。

ニ、通信運輸

此事業は直接復興に關係ありしを以て繁忙を極めたり、地方よりの求職者多くして供給の増加率多し。

ホ、戸内使用人

一、僕、書生等 震災に依る雇人の歸國により一時需要の増加を示せるものなるべし。

一、女中 女中の需要は依然多く半も愈々増加す求職は災後一時激減せしも追々増加を示せり。

ハ、雜

一、吏員事務員 一般に需要極めて少く供給過多なるを常態とするも、災後區役所其他官廳の復興に關する人員の増加ありて需要多く、求職は條件不利轉業又は歸國に依り一時減少を示せり。

一、醫務員 醫務員中には看護人、薬局生をも含むものにして諸種救護事業多忙のため供給増加せり

一、外勤員 外交員大部分を占む、商業復興に從ひ其需要多く且つ収入は概ね歩合制にして雇主は殆ど無制限に雇傭するを得、供給側も事務員等の此方面に轉業する者多し。

業態別勞力需給狀況 (百分比例表)

業 態 別	災前(自六月)		災後(自九月)		需 要 比 較	計 (災前)	計 (災後)	前年(自六月)	同 期 (自十一月)	年 分 (自一月)
	需要供給	計	需要供給	計						
業 應 別	需要供給	計	需要供給	計	災前災後	計	計	計	計	計
工 業	6.0	100	6.0	100	100	6.0	6.0	100	6.0	100
織 維 工 業	3.0	100	3.0	100	100	3.0	3.0	100	3.0	100
被 服 及 裝 身 具	3.0	100	3.0	100	100	3.0	3.0	100	3.0	100
機 械 器 具	3.0	100	3.0	100	100	3.0	3.0	100	3.0	100
電 氣 瓦 斯	3.0	100	3.0	100	100	3.0	3.0	100	3.0	100
金 屬 工 業	3.0	100	3.0	100	100	3.0	3.0	100	3.0	100
化 學 工 業	3.0	100	3.0	100	100	3.0	3.0	100	3.0	100
製 紙 業	3.0	100	3.0	100	100	3.0	3.0	100	3.0	100
製 版 印 刷 及 製 本 業	3.0	100	3.0	100	100	3.0	3.0	100	3.0	100
食 料 及 嗜 好 品	3.0	100	3.0	100	100	3.0	3.0	100	3.0	100
採 掘 冶 金	3.0	100	3.0	100	100	3.0	3.0	100	3.0	100
其 他 工 業	3.0	100	3.0	100	100	3.0	3.0	100	3.0	100
計	7.0	100	7.0	100	100	7.0	7.0	100	7.0	100
土 木 建 築	3.0	100	3.0	100	100	3.0	3.0	100	3.0	100
職 人 (大工左)	3.0	100	3.0	100	100	3.0	3.0	100	3.0	100
土 方 人 夫	3.0	100	3.0	100	100	3.0	3.0	100	3.0	100
計	6.0	100	6.0	100	100	6.0	6.0	100	6.0	100

京	橋	一〇	府下寺島	一
---	---	----	------	---

四、職業紹介の専門化

A、復興業務部の開設

從來各業務別に紹介し來れるも震災により荒廢に歸せる帝都復興の第一線に立ちて必要なる専門的職工の大口、需要、供給の申込を豫約し供給の圓滑を期し以て復興業務の促進を期する目的の許に今回更に中央職業紹介所内に大正十二年十一月十七日より之が取扱部を新設せり。

(1) 技術労働者宿泊所の新設

爾來日々々々求人、求職の申込増加し、地方より大口の申込を受くることも尠からず、而して此等地方大口に對し市内に適當なる宿泊所なきを以て、之が紹介上頗る困難を嘗めたる結果小石川砲兵工廠内燒跡地の一部を借用し、主として復興業務に必要な大工左官其他専門的職工の一時の宿泊の便に供する目的を以て「バラック」宿泊所三棟を建築せり(近々宿泊の開始をなす豫定)以上の設備にて大口的の取扱をな

し、一方社會の裏面に横はる暴利業者の自然的撲滅を期する上に頗る有利なるのみならず、需要供給の途を圓滑ならしめ、從て復興業務の進行上に關し、將來の發展を期せんとす。

(2) 技術的労働者紹介成績

復興業務部に於て技術的労働者紹介を開始せし以來本年二月に至る期間に於ける紹介成績を示せば左の如し。

自大正十二年十一月十七日業務成績
至同十三年二月盡

區別	求人數	求職數	就職數	備	要
大工	六七〇	四三六	三九六	西洋家具職工半數を含む、十三年の分には舟大工五〇を含む	
左官	六四	一〇四	六四		
屋根	九	一五	九		
煉瓦工	四	三三	四		
計畫者	三	五	三		
石工	二	四	二		
製材工	一五	七	五		
總計	七	一〇	七		

市會の可決事項及賃金立替並に就職旅費貸付規定左の如し。

第九號

起債及償還方法に關する件

- 一、起債金額 參拾萬圓
- 二、起債の目的 東京市労働賃金立替及就職旅費貸付資金に充當
- 三、借入の利率 無利子
- 四、借入の方法 内務省より借入
- 五、借入の時期 大正十二年度
- 六、償還の期間及方法 政府の都合に依り隨時一部又は全部を償還す
- 七、償還財源 東京市労働賃金立替及就職旅費貸付資金を以て之に充つ

説明

本市職業紹介所労働賃金立替及就職旅費貸付資金とし參拾萬圓貸付方政府より内示ありたるに依り之を借入るも

ハンキ強工		四四	
高工	一〇	五	五
アキエ	三七	一〇	一〇
計	八二一	六七三	五〇五

B、婦人職業紹介所の新設

從來婦人職業紹介は中央職業紹介所内にて男子部と同一處にて取扱ひ來れるも斯くては色々の障害を生ずるの虞れあるを以て婦人部は獨立せしむるの必要を認め先づ試みに大正十三年三月十七日より水道橋松平家燒跡の一部に新設せる紹介所にて業務を開始せり將來は婦人職業の分類並に職業指導の方面にまで及ぼさんとす。

五、賃金立替基金の設定

労働紹介の實驗上大規模に賃金立替を爲すの必要を認め、震災直後内務省社會局へ資金として相當の金額融通方申出で置きたる所、大正十三年二月に至り貸與可能なる旨の内示ありしを以て其の金額三十萬圓を市債を以て借入することに決し、市會の決議を待て特別會計を設定せり。

のとし本案を提出す。

第十號

東京市労働賃金立替及就職旅費貸付資金規程設定の件

東京市労働賃金立替及就職旅費貸付資金規程左の通設定するものとする

東京市労働賃金立替及就職旅費貸付資金規程

第一條 本市職業紹介所ニ於テ職業ヲ紹介シタル者ノ労働賃金立替拂及就職旅費貸付ノ資ニ充ツル爲労働賃金立替及就職旅費貸付資金特別會計ヲ設ク

第二條 本會計ニ要スル資金ハ參拾萬圓ヲ限度トシ借入金ヲ以テ之ニ充ツ

第三條 本會計ニ不足ヲ生ジタル場合ニ於テハ市經濟ヨリ之ヲ補充ス

第四條 本會計ノ歳入出豫算ハ市參事會ノ決議ヲ經テ之ヲ定ム

説明

本規程ハ第九號議案ニ件ヒ設定ノ必要ヲ認メ之ヲ提出ス

附録

一、東京市職業輔導會の活動

東京市職業輔導會(芝區兼房町一一番地)は大震災の爲類焼の厄に遭遇し、其建築物は烏有に歸したるも、書類什器等の殆んど全部は職員並に宿泊講習生の奮闘に依り避難所に搬出するを得たり。然れども實習場、宿泊所並に依託實習工場たる市内印刷、電気、護謨工場の大半を焼失したるを以て従來の事業遂行上一頓挫を來たしたり、よつて取敢へず内幸町東洋拓植株式會社建築工場の一部を借受け「テント」張の假事務所を設け震災直後混亂せる市情に順應せる次の事業を行へり。

一、震災應急事業

A、焼跡片附(労働用具の貸與、賃金立替)

當時官民共に焼跡の片附を行はんとするも労働用具並に適當なる労働管理者に乏しく一面群起せる罹災失業者は空手を以て労働を求めつゝある實情に徴し此需要供給を結合

するの一策として労働用具を準備し職員は東京市中央職業

紹介所の紹介に依る労働者を指揮して諸方の焼跡片付作業を引受けたり。而して銀行の金融未だ恢復せざる爲之等の需要家に代りて日々賃金の立替を行へり。

B、バラック建築並に材木加工引請

震災前より收容中の建築木工講習生約三十名残留しあり之等の講習生を利用し附近バラック建築を實費にて引請けたり、當時此種職人の供給不足の爲めバラック建築遷延に困惑するの向多かりしを以てなり、此他建築用材の削り、穿孔等を實費にて引請け巷間の便利を圖れり。

C、安否通信

東京市社會局と聯合し係員街頭を巡回して當時肉親知己に己が安否を通信せんとするも其術なかりし多くの罹災者に「特製ハガキ」を與へ之が郵送方を取計らへり。

之等當時の情況に鑑み必要なりと認むる應急事業を實施し何れも相當実績を擧げ得たるも、漸次世情の恢復に伴ひ之を中止し更に職業輔導事業の復興を圖らんが爲め先づ兼

房町焼跡に二階建バラックを建築せり。

二、職業輔導講習

前述建築の外内幸町東洋協會焼跡を借受け該所に陸軍より借用せる天幕十二張を展張し以て従前より實施し來れる木工講習を擴張實施し百五十名の講習生を收容せり。之れ大震災後東京地方に於ては建築方面の労働需要頗る殷盛にして之れが供給の不足顯著なるものありしを以てなり。

此需給懸隔に對する調節は帝都復興上頗る緊要とする所にして之れが解決は地方より労働の移入又其一策なるも職業輔導機關の活用は此目的を達成するに力ある外閣下に群起しつゝある失業者救済の策たり得る利點を併有するを以て之れが宣傳並に實施に努力しつゝありしが偶々内務省社會局に於て吾人の主張と合致する木工養成の計畫あり。双方協議の結果従來東京市職業輔導會の實施し來る木工講習部を國營を以て實施することに決定し、十月下旬より急速準備を進めて兼房町の外櫻田本郷町、越中島に講習所を建設し、社會局木工講習會の名稱を以て十二月一日より講習

關東大震災に於ける職業紹介成績

職業別	る營業者數	
	十一月	十二月
第一號營業者とは藝妓、娼妓、酌婦	八四	一〇五
第二號 とは事業員、技術員、船舶乗組員、店員、商店雜役、僕、婢、等	二八	三九
第三號 とは職工、徒弟、労働者	五	三
第四號 とは米搗、湯屋男、廻類職、妓夫(婦)、料理人、紺屋職、理髮職、菓子職、馬丁、モデル等	五四	七七
第五號營業者とは第二、第三號營業者を兼業せる者	一九	二七
計	一九〇	二五一

(甲)

職業別	求職者數		就職者數		未就職者數	
	男	女	男	女	男	女
工業及鑛業	三	〇	三	〇	〇	〇
九月	三	〇	三	〇	〇	〇
十月	二	〇	二	〇	〇	〇
十一月	三	〇	三	〇	〇	〇
十二月	三	〇	三	〇	〇	〇
計	一〇	〇	一〇	〇	〇	〇

(2) 營利職業紹介成績

自大正十二年九月
至大正十二年十二月

戸内使用人	商業			通信運輸			土木建築		
	九月	十月	十一月	九月	十月	十一月	九月	十月	十一月
計	九	三	二	〇	〇	〇	〇	〇	〇
九月	九	三	二	〇	〇	〇	〇	〇	〇
十月	三	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
十一月	二	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
計	一四	三	二	〇	〇	〇	〇	〇	〇

關東大震災に於ける職業紹介成績

計	業				業			
	十二月	十一月	十月	九月	十二月	十一月	十月	九月
十二月	六,三五六	四,一三三	六,〇三三	三,七二七	一,四九〇	一,一三三	三,〇〇〇	三,〇〇〇
十一月	五,九九五	五,二六六	一,七七二	五,九七九	一,三二九	四,五五三	二,九七二	二,九七二
十月	一,三三三	九,三九九	二,三三〇	七,七三三	二,〇七九	五,六六二	三,〇〇〇	三,〇〇〇
九月	四,九三九	三,九六六	四,四四一	一,二六二	一,三二八	九,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇
十二月	三,二二九	二,六三三	一,一五三	三,七二七	六,九二一	二,九六八	三,二六二	三,二六二
十一月	八,〇六六	六,五五〇	一,六〇四	五,八二一	一,九九九	三,七二七	二,六六一	二,六六一
十月	二,九九二	一,四七三	二,二二二	六,〇〇〇	九,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇
九月	二,九九二	一,三〇〇	七,七二二	二,三三二	四,五五三	一,二六二	一,二六二	一,二六二
十二月	五,〇三三	二,七九九	九,七二二	二,九九九	一,五五三	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇
十一月	二,〇二八	二,三三三	二,〇〇〇	一,〇〇〇	四,五五三	四,五五三	〇	〇
十月	一,三三八	一,三六〇	三,五五三	一,三六二	一,三六二	一,三六二	一,三六二	一,三六二
九月	三,〇五六	三,八二二	五,三三三	三,三三三	五,三三三	五,三三三	五,三三三	五,三三三

営利業は商業、戸内使用人、雑業を主とせることは、本表が明に之を證明せる處にして、本表の職業別内譯は之を省略せるも、要するに営利業従來の習慣に従ひ戸内使用人が大部分を占め居ることは次に示す内譯の一部にて明なりとす。

(乙)

職業別内譯の一部

區別	求人				求職				未就職			
	九月	十月	十一月	十二月	九月	十月	十一月	十二月	九月	十月	十一月	十二月
店員(小共店)	三三	四〇	一,〇九九	一,一三三	二	一〇	四六	一〇	一	三	七	三
商店雜役	三	三	三六	一,一七	四	五	一,一〇	八七	四	三	七	一
傭	三	三	七六	一,五九	三	六	八二	一,二二	六	六	一〇	一〇
傭	三	三	七六	一,五九	三	六	八二	一,二二	六	六	一〇	一〇
其他雇員	六	五	一,二八	三,八〇	一〇	一六	一八	二〇	一〇	一〇	一〇	一〇
計	六六	八〇	一,〇九九	一,一三三	二	一〇	四六	一〇	一	三	七	三

(甲)(乙)兩表の十二月の計を見るに、求人數に於て(甲)表にては一萬三千二百五十三人(乙)表にては九千四百六十二人にて約七十一%を示し、求職數に於ては(甲)表にては八千六十八人、(乙)表にては五千三百八十九人にて約六十七%を示し、就職數にては約六十一%、未就職數にては約七十六%を示せり。之に依りて考ふる時は營利紹介の主なる者は(乙)表に示すが如き職業なることを察するに足る。故に將來公益紹介所に婦人の専門紹介及少年専門紹介の發展を企圖する時は營利紹介の主要なる婢及店員の大部分は公益紹介所に吸収さるゝものと思惟す。

東京市玉姫職業紹介所

一、活動状況

震災後四日焼跡に假事務所を設け、震前より災後當初に於ける淺草區役所、下水課淺草出張所へ供給労働者の賃金立替及元宿泊者の預金拂戻等をなす、當初一般紹介は取扱件數極めて少數なれば取敢へず一般紹介の傍ら人事相談所を九月中旬開始、十月より災前と同様紹介事務に復舊す

の便を與ふ
其の取扱件數を擧ぐれば左の如し
イ、罹災者證明書交付件數
ロ、其他雜件

一三〇

二〇

三、附帶事業の状況

災後當初は焼跡片付の爲め人を雇ひ入るゝも用具なき爲め困難せるものあるによりスコップ二十、十字鏟二、三本爪四、金鋤籠二、鍬二、モッコ二十組等の用具を借入れ、用具付人夫の紹介をなし、焼跡取片附求人者の依頼に應じ一方労働者の便に供す

二、人事相談の状況

災後當初は罹災者の糧食の缺乏に著しく困難せるもの多きを以て、取敢へず警察署及臨時配給所と連絡を取り、糧食の相談に来るものに對しては罹災者證明書を發行し給與米の便を與ふ、其後町會事務所の開設せらるゝを待つて之れと連絡をなし配給上に付き援助をなす
尙歸郷を望むものに對しては罹災證明書を與へ、歸郷

其の取扱件數左の如し
イ、求人數
ロ、紹介件數
整理の都合上區役所及下水課等へ供給したる労働者の立替賃金を中止し十月十日より道路局人夫の供給を開始し、之れが賃金の立替をなす

三、一五〇人

三、一五〇人

其の取扱件數左の如し

月次	求人數	求職者數	紹介件數
十月	三、三三九	一〇、七〇九	三、三三九
十一月	三、四三五	一一、五三九	三、四三五
十二月	八六七	六、四五六	八六七
一月	九三六	三、四九八	九三六
二月	一、五二九	四、六三四	一、五二九

備考 求職者の過剩を生ずるも之等は大部分立替せざる方面に紹介せり

計

一七

災前と災後とを比較するときは、災後は災前の約半數にして其の取扱たるものは藝妓、娼妓、酌婦のみにして他の職業に紹介したるもの一人もなし、之を以て見るときは營利職業紹介業者は單に公益職業紹介所に於て取扱はるる一部分の紹介に従事しつゝあるものゝ如し

四、營利職業紹介業者の消長

災前に於ける數

三五

災後復活せるもの

九月開始せるもの

なし

十月同

なし

十一月同

二

十二月同

九

一月同

三

二月同

三

關東大震災に於ける職業紹介成績

六三

五、震災後に於ける求人、求職、就職者に顯れたる著しき傾向

一般紹介

自由労働紹介

月次	求人	求職	就職者	求人	求職	件數
九月	三三	一〇	五	三六三	五九六	五九六
十月	六六	六六	五	九八五	一〇、七〇九	九、六一
十一月	六六	六六	五	一〇、三三九	一一、五三九	一〇、三三九
十二月	三三	三三	五	六、四五六	七、一三三	六、四五六
一月	三三	三三	五	三、四九八	三、四九八	三、四九八
二月	三三	三三	五	四、六三四	四、六三四	四、六三四
計	三三	三三	五	三、一五〇	三、一五〇	三、一五〇

六、其他参考となるべき事項

九月二十六日市社會局應急施設として本所内に配乳所

を設置又十月十六日兒童營養給食所を設置せらるゝに當り之れが補助をなす

東京市芝園橋職業紹介所

一、活動狀況

大正十二年九月帝都の大災禍に遭遇するや廳舎の被害を避けんと欲し所員生命を賭して什器一切を安全地に搬出し百方手段を盡して防火と暴徒に犯されざることに努め九月一日既に事務所を開き罹災者を收容し之れに衣食の供給の途を拓き續て人事相談口を設け右往左往する罹災者を指導せり、其後市民の飢餓に窮するの状を見るや糧食配給部に交渉を遂げ漸やく玄米と副食物若干を得て當時の急を救ひたり。而して災禍を免れたる當紹介所に集中する人の夥多なるは自然の歸結にして、爰に集合する無職のもの朝夕に増加したり。九月上旬に於て芝浦配給部より人夫の需要を受くるに至りたるは紹介所に群集する無職者の爲めには唯一の血路なりとす。仍て職業紹

介の爲め多用を加へたるを以て所員を増加し自由労働紹介を始めるに至れり又日を追て普通紹介の爲めには商工業方面より徐ろに求人を受くる狀況となりたり。之を以て當所存在の意義を雄大ならしむるや上司は勿論内務省當局は所員を鞭撻し罹災地職業紹介所として斯界に於て顯著なる實績を擧ぐるに至れり

其項目を大別すれば左の如し

- 一、震災直後より罹災者を收容保護救済す
- 一、火災を蒙らざるを以て事務所を閉鎖せず緊急事務を施行す
- 一、糧食配給所に隣接せしを以て之に要する人夫供給を爲す

一、一般職業紹介事務の開始が他に比し急速なりたるに
より急を救ふことを得たり

一、人事相談を開始し罹災者の指導を計れり

一、比較的多数の労働者を主として芝浦陸上運輸部へ供給す

一、道路局供給人夫に對して賃金給付取扱を敏速になす

一、震災直後求人口の肝要を訴へたる際戸別に求人を求め其の開拓に時宜の當を得せしめたり

一、季節的失業者に授産場を設け附設事業の實效を擧ぐ

一、無宿者激増するの狀況に遭遇するや附近官公廳と連絡し宿泊所を急設せしめ主として自由労働者の收容を爲さしむ

一、時勢に鑑み東京市西南部職業紹介所員聯合實務研究会を開く

自大正十二年九月一日
至大正十三年三月五日 取扱ひたる成績左の如し

一、宿泊救護取扱數 七千五百五拾九名

二、自由労働求人數 拾壹萬貳千四百六拾八名

自由労働紹介數 拾萬九千參百貳拾九名

三、道路局人夫供給數 貳萬壹千壹百貳拾八名

道路局人夫賃支拂金高

參萬九千四拾五圓貳拾五錢也

但し一日一人の賃金は自壹圓八拾錢也
至貳圓四也迄支拂たり

關東大震災に於ける職業紹介成績

二、人事相談の狀況

震災に遭遇したる者の多くは住むに家無く食ふに食なく又家族を失ひて途路に迷ふの慘狀なるを以て偶々焼け残りたる當紹介所に九月一日より十月中旬の頃迄は連日連夜殺到し其の人員枚舉に遑あらず今其相談項目を大別すれば左の如し

死亡者の埋葬に關するもの

衣食に關するもの

罹災家族の行衛搜索に關するもの

婚姻に關するもの

地所の争ひに關するもの

家屋賃借に關するもの

四、活動能力不備なる失業者に糧食供給

貳千貳百拾四名

男 四、八〇六

女 三、九二二

男 一、三、五四二

女 三、八二六

其の他災禍の爲め變動を生じたる権利争ひに關するもの等にして事務所に職業紹介口の他、人事相談口を設け所要の掛員を配置したるに、當時非常に混雑せる状態なりしにより一つは指導機關となり、一つは社會問題解決機關として相當の好結果を得たり

三、附帶事業の狀況

當所の附帶事業は現在宿泊、授産、賃金給付の三とす大正十二年六月新築の階上五十四疊を三室に區分し定員四十名を收容し得るの設備なるが、震災後九月二十三日迄は事務室を除く他階上階下各室及廊下を開放し一日平均七十餘名を收容し衣食住のことを徹底的に世話したり。

授産

季節的失業者簇出に際し之に適當なる職業を授くることは最も緊要なる施設なり、就中災禍後に於ける季節的失職者は平常に比し数十倍の多きを加へたるにより當所

は年末に於ける失職者の爲め正月の質餅搗を營み四斗俵七十五俵を三百七人の失職者をして搗かしめ一人一日八時間作業一圓八十錢の賃金を得せしめたり

四、賃金給付

罹災者に對し東京市は賃金を給付することとなり當所は市道路局灰排人夫を取扱ふ其賃金は一日一圓八十錢乃至二圓なり

自 九月 道路局人夫取扱成績

取扱人員 貳萬壹千壹百貳拾八名

取扱金額 參萬九千四拾五圓貳拾五錢

五、營利職業紹介業者の消長

時世の進運と共に公設職業紹介事業の發達を來し全国的に統一せられたる職業紹介所の活動を爲すに至ると同

時に其影響は市中營利職業紹介業者の活動に打撃を加へたるは當然の歸結なりとす、之れが爲め雇人口入屋に出

入する男の數は漸く減少するの傾向を表はせり、女は女中等の外營利紹介所にあらざれば取扱ひ兼ねるものありて依然營利紹介所に於て取扱はれつゝあり然れども近時營利紹介所の看板に口入屋又は雇人周旋所業の文字を紹介所と變更し一般求人求職者を呼び寄せつゝあり、之即ち其一般の影響を考察するに足るものと思考す

六、震災後に於ける求人、求職者に顯れたる著しき傾向

概ね業務に眞剣味を表はすの傾向あれども左の事項は特に震災前に比し著しき風あり

○求人者

失業者の多數につけ込み安き賃金にて雇入れんとする求人者あり

關東大震災に於ける職業紹介成績

一時的収益を目的とする商工業雇主現れたり

自由労働者請負者が勞金を搾取する風あり

○求職者

職業の如何を問はず収益をのみ目的とする者漸く多きを加へたり

住込を好まざるもの多し

一般的に暗影を帯びて捨鉢氣分を帯ぶるものあり

震災前に比較して二十歳未満と四十歳以上の者多數を生ぜり

都會地に出づれば高率の賃金を得らるゝ風評に動かされ輕卒に出稼に來るものあり

住込就職者は落付きなき事

住込就職者は落付きなき事

七、其他參考となるべき事項

當所は芝浦埋立地を控へ、僅に五分間を以て通ずる至便なる位置にあり、元來芝浦は自由労働者集中地にて將來市事業として芝浦船舶貨物取扱の設計成るべき狀況と

六七

關東大震災に於ける職業紹介成績

なれるを以て當所とは離るべからざる關聯を持し當所の
罹災求職者紹介成績 其一

種別	月別	求職者数		計	紹介件数		計	就職者数		備考
		男	女		男	女		男	女	
普通	九月	七五六	三九	七九五	五二八	三六	五六四	四三一	三一	四六二
通	十月	一、八二四	九二	一九一六	一、三三六	八六	一、三三二	一、〇九八	七九	一、一七七
紹介	十一月	一、八七三	一五九	二、〇三二	一、三五四	一三二	一、四八六	一、一六九	一一六	一、二八五
小計	十二月	九九六	六八	一、〇六四	八一八	五六	八七四	七三六	五一	七八七
計	一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一月	三九九	三七	四三六	三六四	三五	三九九	二六三	三一	二九四
計	十二月	五二七	五三	五八〇	五〇六	四七	五五三	三九二	四一	四三三
計	小計	六、三七五	四四八	六、八二三	四、八〇六	三九二	五、一九八	四、〇八九	三四九	四、四三八

六八

事業は益々繁榮に赴くものと信ぜらる

罹災求職者紹介成績表 其二

種別	月別	求職者数	紹介件数	就職者数	備考
九月	二〇、七五六	一八、三四二	一八、三四二		
十月	三四、二五七	三〇、四一三	三〇、四一三		
十一月	一七、九二三	一四、八一八	一四、八一八		
十二月	九、六〇八	七、六〇六	七、六〇六		
小計	二、〇七四	一、七九三	一、七九三		
計	三、七五八	三、二四五	三、二四五		
計	八八、三七六	七六、二一六	七六、二一六		
計	九五、一九九	八一、四一四	八一、四一四		

本表は男子のみの取扱なり
其一の計

東京市大塚職業紹介所

一、活動狀況

當所は元小石川職業紹介所と稱せしが震災の被害極めて少かりしも場所の不利なる關係上震災直後は所員は中央紹介所に應援し多忙なる労働紹介事務に参加し一時事務を休止したるが越へて十一月一日小石川の舊養育院正門脇の電車通に廳舎を新設事務を開始し、十二月一日大

塚職業紹介所と改稱し現今に及べり、而て大正十二年九月より同十三年二月迄の取扱成績左の如し

月別	求職者数	紹介件数	就職者数
九月	一一	九六	八九
十月	一	一	一
十一月	一、二〇二	一、三四三	八一三
十二月	一、〇九二	一、〇四七	六九八
計	九四六	一、〇二二	六六七
計	八三九	一、〇〇	七八六
計	四、〇九一	四、六〇七	三、〇五三

二、營利職業紹介業者の消長

當所附近には従來營利職業紹介業者少なく又消長の認むべきものなし

三、震災の影響

震災後内容の曖昧なる外交員の求人増加し求職者に於ても職業としてよりも唯収入を逐うて轉々するの風最も著しさを認む

關東大震災に於ける職業紹介成績

東京市上野職業紹介所

一、活動狀況

震災第一日及び第二日午後三時までに於ける當所は地震に因つて差した。火災亦憂ふるに足らざりし情況なりしを以て、萬一の場合に善處するの準備を了し、廳舎を解放して避難負傷者を收容保護し、一面警戒に努めたり
第二日午後三時後に至り火勢漸く本所に對し危険を呈せしを以て盡すべきあらゆる手段を執りしも午後六時類焼の止むなきに至れり
翌三日未明善後措置を執るべく上野櫻木町春性院住職に懇請して假事務所を其院に設けたりしも、執務上不便なりしを以て七日に至り帝室博物館に神尾事務官を訪ね同館正門前札賣場の使用方許諾を得たり
同所は既に下谷郵便局、上野警察署等より借入方の中出ありし由なりしも職業紹介、人事相談は非常時の場合

六九

に於ける適切緊要なる施設なるを認め優先権を與へられ
たり

前記假事務所は地の利を得たると其建て方が日傭労働
紹介並に貸金立替支拂に非常なる利便を得たりしは特記
すべきこととす

十月二十五日に至り内務當局のために舊焼跡へバラッ
ク建設せられ同日移轉執務今日に至る

因に本所職員は震災前五名なりしを七名に増員せられ
小使二名を加へて九名を算せり

事業概況

九月七日適切なる前記假事務所を得たる本所職員一同
は非常時の際今後活躍すべき具體方策につき協議の結果
左記事項に猛進すべく決定せり

- 一、求人捜査に全力を集中する事
- 二、普通職業紹介以外日傭労働紹介に依りて直後に於ける罹災失業者の救護をなす事
- 三、人事相談に應ずる事

者に對しては九牛の一毛たりし感あり特に直面せる多數
罹災求職者の大半は労働に體驗なきも窮極の實情は之を
許さず茲に於て當面の應急策として能率に重きを置かざ
る公企業方面に對し勞力需要の開拓に努力せし結果は
九月十八日より淺草區役所に日々百名内外の工夫供給を
なす事となり次で中央安田所長等の劃策に因り焼跡片付
作業市直營を以て開始せらるゝに及び本所亦少きも日々
三百十名多きは八百名の供給をなすに至りて一道の曙光
を認め得たり (成績表参照)

十一月以降に至り復興氣分の色彩濃厚となるに連れ一
般勞力の需要漸く災前に近き迄に復活し來り如上の成績
を擧げ得たり

上野職業紹介所震災以降至二月事業成績表

◎普通紹介

種別	男女別	求人数	求職者数	紹介状交付数	就職者数
九月	男	一、三六	五七	三〇	三〇
	女	三九	五七	二〇	二〇

關東大震災に於ける職業紹介成績

四、地域(公園内外に於ける避難者數約十一萬と稱す)
の關係上尋ね人紹介をなすこと
但人事相談尋ね人の二件は下谷第一方面事務囑託員
と協力の事

茲に於て左記ポスターを上野公園内は勿論下谷、淺草、
神田方面並に隣接町村の要所數十ヶ所に貼付せり

急告

一、職業紹介、特に人夫の紹介に應じます。

一、一般人事相談に應じます。

一、人をお尋の方と、つれにはぐれた人はお出なさい。
翌八日に至り宣傳の結果は各志望者殺倒し特に職業紹
介に於て本市中央職業紹介所聯絡部よりの求人配布のみ
にては忽ち求人口涸渇の止むなきに至りしを以て翌日よ
り職員二名乃至三名を割き震災以前の得意求人をもとし
其他を従として不眠不休の犠牲的精神を以て連日歴訪開
拓を續行せり

結果は豫想以上の効果ありしと雖も日々殺倒せる求職

種別	男女別	求人数	求職者数	就職者数	貸金立金	額
十月	男	一、八二	四〇	一、九〇	一、一〇	一、一〇
	女	四〇	三三	三三	三三	三三
十一月	男	一、八〇	三三	一、八〇	一、一〇	一、一〇
	女	三三	三三	三三	三三	三三
十二月	男	一、八〇	三三	一、八〇	一、一〇	一、一〇
	女	三三	三三	三三	三三	三三
大正十三年	男	三、三三	一、一〇	三、三三	三、三三	三、三三
	女	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇
計	男	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇
	女	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇

上野職業紹介所震災以降至二月事業成績表

▲日傭労働紹介

種別	男女別	求人数	求職者数	就職者数	貸金立金	額
九月	男	三、七二	三、一〇	三、一〇	一、七〇	一、七〇
	女	一、八二	一、八二	一、八二	一、八二	一、八二
十月	男	一、八二	三、一〇	一、八二	一、八二	一、八二
	女	一、八二	一、八二	一、八二	一、八二	一、八二
十一月	男	一、八二	一、八二	一、八二	一、八二	一、八二
	女	一、八二	一、八二	一、八二	一、八二	一、八二
十二月	男	一、八二	一、八二	一、八二	一、八二	一、八二
	女	一、八二	一、八二	一、八二	一、八二	一、八二
大正十三年	男	一、八二	一、八二	一、八二	一、八二	一、八二
	女	一、八二	一、八二	一、八二	一、八二	一、八二
計	男	一、八二	一、八二	一、八二	一、八二	一、八二
	女	一、八二	一、八二	一、八二	一、八二	一、八二

本表に計上せる求職者數中罹災求職者數は九月以降十二月迄に於て普通紹
介にありては平均六割日傭労働紹介にありては七割に該當す一月以降漸次
減率の情態にあり

二、人事相談の状況

當所は九月四日より人事相談を開始せり、而して其要件は各人各様に於て一々枚舉に違あらざるも其内類似せるもの、主なるものを擧ぐれば、「今後如何にして食つて行くべきか」、「此際東京に留まるが得策なりや又歸郷するが得策なりや」、「亡妻(亡夫)者が足手纏の兒供を如何に處置すべきか」、「汽車汽船交通問答」、「ブラック問答」等にして九月中に於ける之れ等の件数は約五十を算せり其他求職に關する人事相談に渉るものは無數にして現今尙ほ繼續しつゝあり

三、附帶事業の状況

(イ) 無料宿泊
當所は罹災直後より無料宿泊を開始し罹災避難者の宿泊に宛て當時八世帯家族約三十名獨身者約二十名を收容せり、而して當所に於て罹災當時離散相失せる親子

二號	2	六五	1一四	1一五	九三	1二〇	1二六
三號	3	6	二	3	二	1	1
四號	4	1	四八	1	五二	3	二
合計	21	二四一	7一九	6二四	21一七一	7二三	6三三

備考 (1)表中一號は藝妓娼婦酌婦の専門紹介所
二號は事務員、船舶乗組員、店員、傭婢の専門紹介所
三號は職工徒弟労働者の専門紹介所
四號は寄子(米鴉、湯屋男、麵類職粉扱、料理人、張物職紺屋職の類)専門紹介所を示すものとす
(2)表中の洋數字は紹介所の數を示し日本數字は取扱紹介件數を示す

右表は 自六月 至八月 期間 自十月 至十二月 期間の前後(震災月の九)六ヶ月間の平均觀察なるが其間一、二の廢業者ありしも大正十二年十二月に到りて又六月當時と同状態に復せるもの如し、
而して之れ等が取扱ふ職業種類は殆んど藝妓、酌婦、妓夫(婦)及下婢(僕)の數種に限ると云ふも不可なく小役員、商店雜役職工等の類偶々出づることあるも其數極めて稀なりとす、

の再會せるもの三組、夫婦の再會せるもの二組ありたり收容者は何れも其後漸次身の振り方をつけ生活の安定を得せしめたり

(ロ) 貸金立替
當所は自由労働者の爲め淀橋專賣局に人夫を供給し賃金の立替をなしつゝあり、一日の平均支拂額約四十圓(一人一圓八十五錢)なり

四、營利職業紹介業者の消長

當所附近に於ける營利職業紹介業者は震災の影響に關せず其營業を繼續し居るもの、如し、試みに當所方面たる四谷、淀橋、早稻田の三警察署管内に存在せる該營業者の數及び取扱件數を示せば左の如し(日本堤警察署管内の調査)

管日及	大正十二年六月	三ヶ月分を合	大正十二年十月	三ヶ月分を合
警署別	警署別	より八月に(三分平均)	より十二月に到	三分平均
一號	12二六	3	1	4
二號	12二六	3	1	4
三號	12二六	3	1	4
四號	12二六	3	1	4
合計	12二六	3	1	4

五、震災後に於ける求人、求職者、就職者に

顯はれたる著しき傾向

(イ) 求人口は商店雜役殊に飲食店雜役の數最も多く現はれたり、婦人部の女中、女給の口亦震災前に五六倍したり

此の状態は其後多少減退せるも今尙ほ繼續せり、近來印刷、紙工場、製本、指物家具職等の求人口増加の傾向あり

雇傭條件等其他震災前に大差なし

(ロ) 求職者は震災直後約一ヶ月間位の間は智識階級より丁稚小僧に到るまで社會のあらゆる階級のもの現はれたりしが、年齢は中年以上のもの多かりしが如かりき、何れも確たる希望職なくして自由労働に走らんとする傾向盛んなりしが十月下旬頃より稍と落付きたる求職者の數の増加を見たり

殊に中年以上の者にして、よし給料は安くとも確實に

して安全なる所に住み込みたし」と希望するもの多きは注目に價するものあり

(ハ) 就職者、罹災直後に於ては何れも浮き腰にて「まあ一時凌ぎ何處でも」と云ふが如き甚だ落ち付き悪しき傾向ありしが、此の傾向は日を経るに従ひ漸次減退せり、然れども今日尙ほ「まあ此際ですからどんな所でもしかたがありません、將來復活する迄一時何處でも紹介をお願いします」と云ひて來所するもの決して僅少にあらざるを思ふとき、總て就職者の心理状態が震災前の如く復歸するには今後尙ほ一兩年を要するものあるべしと思考せらる

東京市坂本公園職業紹介所

一、活動狀況

本紹介所は最初去年九月廿七日を以て開始され同年十一月初旬まで主として市道路局人夫供給と其他一般個人

に對し労働人夫供給をなし來り、今尙各方面へ同様の供給をなしつゝあり、一般紹介は十一月頃より逐日増加の兆を現はし昨今相當の成績を擧ぐるに至りしが新設の故を以て未だ理想を實現するに至らず

二、附帶事業の狀況

人事相談は各紹介所之れを取扱はざるなく殊に細民部落と接境の地に在りては一層の多忙を極めしならん、一時途方に暮れたる憐れなる民衆が當途もなく紹介所に來り各自の困苦悲境を懇ふるは至極當然のこととす、之れに對し親切に慰撫獎勵を與へ説諭し訓誡する時彼等は偉大の希望光明を認め滿面に感謝の色を湛へて辭去するを常とせり、本年に入りてより稍々其趣を異にし具體的實際的の相談者増加せるを見る

三、營利職業紹介業者の消長

營利紹介業者が近年公設職業紹介所の發展に連れて漸

四、求人、求職、就職者に顯れたる著しき傾向

求人者側に稍々自覺の氣運萌すを見る、家屋の模様替、營業方の進歩家族一同の反省等より人間と時間の節約を感じ量よりも質を擇ぶかの傾向を生ぜり、求職者の機に敏なるは早く舊主舊業に復歸するか新たに技藝職業を修得せんと努力し反つて震災を以て發奮の動機とするあり、或者は之を以て社會改良の實行期となし八百八町の舊弊を壊し新たに努力進出の道を啓けりと云ふものあり、之れに次ぐを其日暮しの店員とし、之れに次ぐを飄々たる流轉者となす

五、其他參考となるべき事項

紹介所より求人開拓員が工場、會社を歴訪するに方り一種面倒臭き態度の挨拶を聽くこと屢々なり、之を要するに一般求人者は公益職業紹介事業に對する理解の乏き

次凋落せるは自然の事なるが震災以來資本其他の關係より再開を思ひ立たざる者多き有様なり、彼等の多數は多年無智の男女を取扱ふに馴れたるが故に遽かに人夫募集の群に投ずるあり、羊皮を被り田舎に潛入し巧みに災餘の婦女移出を謀り莫大の收得をなせしものもあり、東京市内外に良家の女子と稱する者の屢々誘惑の筈に陥るものあるは彼等の魔手の之れに加はりたるにあらざるか疑はざるを得ず

之れと同時に一方に桂庵業者の覺醒改善を認めざる能はず勿論自發的ならぬも種々の壓迫必要よりして舊來の業態が自分に不利なるを感得し著々改善の實を擧げ以て公設機關と對抗せむとするに至れり、彼等の中には資産實力あるもの積年の信用地盤の動かざる者もあり、其應對の妙と人を相するの明識と雇用人側の内容を諳熟するに至りては到底洋服紹介員の企及すべからざるものあり、特に婦女取扱に至りては桂庵獨特の壇場と云ふべし

を見る。求職者も亦轉々として落付なく著しく漂浪性を帯びたるものゝ如し。

東京市飯田町職業紹介所

一、活動狀況

昨年九月一日の震災の結果失業者續出したると東京市道路局に於て焼跡整理のため多數の工夫を役務する事となり其工夫の紹介に必要を生じたるとに依り九月二十六日不取敢天幕張りを以て新に飯田橋際に開所す。十月上旬バラック建築出来と共に天幕張を撤去す、開所當時は所員六名にして全員大手町東京市吏員講習所内市中央職業紹介所假事務所に宿泊し毎朝三時起床飯田橋に出張し職業紹介に従事し當日の諸整理を終了するは午後九時頃となるを常とせり、其當時は専ら労働紹介に従事し傍ら普通紹介をも取扱ひたるも普通紹介に屬するものは稀に

求職者あるのみにて求人も更に無きため求職者を大手町に送り同所に於て紹介するの止むなき状態となり全所員餘暇を得る毎に一般求人の開拓と職業紹介所利用の宣傳に努めたる結果漸次求人口増加するに至り十月初旬頃より漸く普通紹介をもなし得るに至れり
然れども開所日淺きため求職者を満足せしむるに足る求人口を得る事困難なるため常に餘暇を利用して宣傳と求人開拓に努め昨年末頃漸く世人に知らるゝに至れり
自開所至二月末日月別統計左の如し

種別	労働		普通	
	求人	求職	求人	求職
十二月九月	四三	四六	四三	四三
十月	一〇七	一一一	一〇七	一一一
十一月	七五	七五	七五	七五
十二月	一〇六	一〇六	一〇六	一〇六
十三年一月	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
二月	七〇	七〇	七〇	七〇
計	四八三	四八三	四八三	四八三

備考 一、労働紹介には婦人一名もなし
二、普通紹介には婦人をも含む

二、附帶事業の狀況

開所當時より十二月末日迄東京市道路局人夫賃銀の立替をなす、又本年一月十五日より陸軍兵器支廠使用人夫に賃銀立替をなし目下尙實施中なり

者は一度就職するも落付かず更により以上の収入を得んが爲めに常に齟齬するが如し、

東京市淺草橋職業紹介所

一、活動狀況

當所は九月十九日テント張にて開所せり當時は震災の打撃特に著しく總て廢墟たりしが目下全く復活し以前の商業中心地を現出せり、當所は宣傳に宣傳を次ぎ求人者訪問により就職率の上昇を計るべく努力しつつあり
又最近に於て本所深川方面の罹災地特種小學校の本年度卒業生の就職方に關し運動を開始せり

三、營利紹介業者の消長

未だ詳に知るを得ざるも公益職業紹介所の發達に伴ひ尠からず打撃を蒙れるが如し

四、震災後に於ける求人、求職、就職者に顯れたる著しき傾向

震災後に於ける求人中には給金を安く人を求めんとするもの多く従つて熟練工よりも見習工の如きを希望する傾向あり、求職者は職を求めんとするもの稀にして収入を得んとするもの多く従つて従來修得したる經驗技術を捨つるも目下の収入多きに走らんとする傾きあり、就職

二、附帶事業の狀況

日備労働紹介に於ては十二年十月開始以來主たる需要先は道路局にして目下本所深川方面の盛土工事に對し日二百乃至三百名の日備労働の紹介をなし賃銀立替をな

しつつあり

三、營利職業紹介業者の消長

當所及兩國驛附近には震災前は營利紹介業者非常に多く散在し房總方面の咽喉をなせる兩國驛等に散集せる失業者を面白からざる結果に導きたるが如き事屢々ありしこと内聞に及びり災禍後直ちに幾多の公益職業紹介所設置せられ其實蹟見るべきものある今日當所附近に於ける營利職業紹介業者は著しく數を減じたり、只僕婢等の戸内使用人を若干紹介し居るに止まるが如き觀あり、公益紹介所の斯の如き實蹟ある今日弊害多き營利紹介所の存在の要を見ざるなり

四、震災後に於ける求人、求職、就職者に顯れたる著しき傾向

震災直後は一般需要閉塞せし爲め紹介に關し前職の何たるを問はず其に適する需要更になく只勞役仕事のみ

從事せしむる外術なかりしが、求職者も口糊の窮迫より免れんが爲め如何なる仕事にても選定する所となり、非常なる努力を以て前職の復活する迄從事せり求人者に於ても二人使用してなす處を一人にて事足り得る様に計畫し内にありし主人も自ら外に働さ所謂緊張味を失せず職業に對し甚だ熱心なるもの多し

東京市業平橋職業紹介所

一、活動狀況

當所は大正十二年十月應急バラックを建築し十一月二日開所せられ所員三名小使一名を以て翌三日より職業紹介に從事せり、爾後逐次所内も整頓し實務上殆んど何等の支障なく今日に及びり

従來此方面の求人求職者は専ら玉姫紹介所を利用し來りしものゝ如きも當所設置以來時々所員交互に開拓宣傳に努めつゝある結果、江東方面及隣接郡部附近の求人求

職者漸次當所を利用するに至り其數も亦從て増加しつつあり而して當所は主として工業地帯なるを以て専ら此方面の勞務需給調節に力を致し着々事業の進展を期しつつあり

初め主として一般紹介のみを取扱ふ筈なりしも開所と共に自由労働者の求人求職者數、數十名以上に達することある狀況に至りしを以て、同紹介も實施することせり、現在日々取扱ふ求職者數は平均一般紹介三十名内外自由労働者約貳百名なりとす今後大工場の復活と共に大に増加するは疑なき所なり

二、附帶事業の狀況

當所は二月十八日より賃金の立替を開始し目下毎日約百名を扱ひつゝあるも逐次増加の見込なり

三、震災後に於ける求人、求職、就職者に顯れたる著しき傾向

世人一般に公設職業機關に對し好感を表し大に利用せんとする傾向あるは明かなる事實なり、又自由労働者にして假令給料は低くとも「照り降り」なしの常用的仕事に就業せんとする希望の者多きを認む

四、其他參考となるべき事項

當所は近く淺草驛及京成電車押上停留場を控ゆる爲め地方人の求職者比較的多きを視る、尙當所附近は安宿營業者多きを以て市内居住者と地方人とを問はず就職希望者にして此處に集中する者多し

東京市數寄屋橋職業紹介所

一、活動狀況

震災直後勞力の需要が丸の内方面に集中せられたる關

係上一時三千と稱せられたる當所求職者が一は夜間通行不可能なりしと他は其の就職を確實ならしめむが爲或は荒庭に身を包み或は野天に晒されながら事務所周圍の空地に夜を徹する凄惨の状見るに忍びず茲に前記空地を利用して間口三十五間奥行二間半の假泊バラックを急設し約四百乃至五百の労働者を收容し遠路通勤者又は宿舍なき是等求職者の不便を緩和せり

労働紹介に於ける災後の目醒しき活動は茲に駭辯を要せざるも、尠くとも災前需要家若は労働階級者に殆んど多くは無理解の感ありし職業紹介事業が其の機能活用を充分宣傳理解せしめしのみならず世の謂ふ惡化的民心を幾分緩和し得たるは社會施設としての最も効果ありしものなり

九月一日豫期せざりし猛火は隨所に其の威を逞し午後二時過我本所労働紹介所は四面火に包まれ危険は刻次迫り來れり、茲に職員は必死の努力を以て人夫を督し備品器具を第三中學校々庭に搬出避難したるも二度徳右衛門

町方面の猛火に立ち退きを餘儀なくせられ三度本所病院前避難所より追はれ、僅かに重要書類を携へたるのみにて身を以て遁るゝを得漸く龜戸驛構内に假事務所を開始人事相談を爲し、四日市役所構内に之を移し専ら芝浦、藏前兩配給司令部の勞力配給に力を致し、十三日三度市役所前空地に天幕事務所を設へ市の配給救護に關する勞力をも併せ取扱ひたる外道路局燒跡片付等一般需給の調節に當りて今日に及びしも職員中罹災者を出さざりしこと不幸中の幸なり

普通紹介は僅かに十二月下旬之が取扱ひを開始したるのみにして未だ實績なく數字を計上するには餘りに貧弱なるを以て茲には之を省き自由労働紹介成績のみを計上することとせり

自九月 自由労働取扱成績
至十二月

求職數、一〇四、七八四人(内女二二人)
紹介件數、三七、七八四人(内女二二人)

東京府職業紹介所

一、活動狀況

今人類の所謂災禍なるものを歴史的に稽ふれば大正十二年九月一日午前十一時五十八分關東地方に於ける大震災の如き當に世界史上の記録的災禍なるべし。東京市の如き殆ど半世紀に涉りて漸く築き上げたる文明の中心地帯は悉く破壊し去られ、百萬の罹災者は火に逐はれ食に僅ぞ住むに家なく死傷者又十有餘萬と稱せらる。混亂の景、悽慘の狀筆舌の克く盡すべきにあらず。吾が東京府職業紹介所も亦一日午後六時頃熾々たる猛火に包まれ少時にして烏有に歸したり

本所は斯く全燒の厄に遇ひたるも震後に於ける罹災失業者の激増せんとする狀勢に鑑み從來の場所即ち神田驛拱下にては斯かる非常時の紹介事務を開始するにたらず

と思惟し神田萬世橋北側に地所を得九月十一日漸く天幕張にて現在の場所に事業を開始するを得たり。其後震災救護事務局より五十坪のバラック建築用材を同月二十日下附の事に決せられ同月二十五日建築に着手十月二日落成を告ぐ。斯くて廳舎の落成と共に所員を増置して當面の大紹介に従事せり。一方求人の開拓を極度に敢行して漸く豫定の數字を得たるに依り十月二十六日より三十日の五日間に互り男女所員十名を以て職業案内班を組織して配給の爲めに却つて徒食の惡癖を生ずるの虞あるを看取し、各バラック居住者を慰問旁々職業紹介の案内を各戸別に對して之を試みたり

- (1) 各バラック訪問調査
- 一、場所 二十ヶ所
- 一、訪問日數 自十月二十六日至同三十日 五日間
- 一、世帯數 合計 一萬二千二百十世帯
- 一、人口數 同 五萬八千八百二十九人
- 一、訪問のバラックは左の如し

關東大震災に於ける職業紹介成績

場所	世帯数	人口
バラック所在地	七三三	三、八二六
上野公園池の端	一、三一五	四、九二五
同竹の臺	二〇九	一、〇二三
東本願寺	二八五	一、八四七
淺草公園	二〇六	一、〇三八
今戸公園	二六七	一、〇五六
淺草金龍小學校		
十月二十七日		
本所小學校跡	一九五	一、〇八九
本所安田邸跡	二六二	一、〇五六
本所陸軍糧秣廠跡	三八五	一、三六七
深川小學校跡	二四五	一、三八四
深川岩崎公園	二六一	三、二一八
十月二十八日		
小石川植物園	六三五	二、三〇四
靖國神社境内	六八五	三、一〇九
日比谷公園内	一、五二五	六、九一九
十月二十九日		
芝公園	中ノ二 一〇〇	三角 五八〇
	六四 二九八	自治會 五八〇
		二、二五八
新公園	二七四	三、三〇一
	七五〇	三、三〇六

芝 離 宮

商人、職工多数、芝、京橋遊藝民過半	一、一四八	四、八一七
十月三十日		
新宿御苑	三二六	一、一五三
明治神宮北參宮	五七七	二、三四九
明治神宮外苑	八五七	七、五九八
同	六八〇	三、二四四

如上バラック訪問の結果としてバラック居住者の本所に来りたる求職者数を計表すれば左の如し

一、男	一、四八三人
一、女	九六八
計	一、五七九人

總数の五八、八二九人に比し僅かに二、六八%に過ぎざるも、亦狼狽と失望との混亂時に際して職業的意識を誘發せしめたる効果は蓋し尠少にあらざるべし

(ウ) 十一月二日築地海軍技術研究所より軍縮に因る第二回職工解雇の豫告を受け同月八、九、十の三日間東京市中央職業紹介所の求人開拓班に参加同十一日十二日該研究所門前にて市中央に尾して紹介事務に當れり。解

雇職工は四百九十九名、開拓求人数は千百餘名、紹介したるもの九十九名なりき

(ハ) 十一月二十八日より十二月七日まで十日間に互り郡部府設の五ヶ所の紹介所と提携し一班五名宛六班三十名の所員を以て歳晚を控へて群り來る多數の求職者を迎へん爲め臨時求人搜索班を編成して歳末掉尾の大々的求人の開拓に従事したり

全府の官衙公署及び殘存せる工場地帯を目標として復興氣分の濃厚となりたる工場、會社、銀行、商店を個別歴訪せり。此の運動の結果としては先づ工場にありては藤倉電線會社の伸銅見習工二百名を最多とし、日本紙器、東京紙器、東京紙工、中島電機、安井鐘工場、三星繪具、グラシン工場、田中電機、森永製菓、東京菓子、櫻組工場、精美堂、博文館印刷所、小島印刷會社、株式會社秀英會、大正製糖會社等何れも五十名乃至百名宛中央郵便局其他各區の郵便局にて集配人五百八十名、通信事務員五百名、簡易保險局の事務

關東大震災に於ける職業紹介成績

員男五十名、女五十名、銀行、會社、醬商店にて事務員二百四十名、店員雜役三千七百三十六名、此の外全府に散布せる工場法の適用を受けざる小工場千七百餘の工場を訪問して熟練工二百九十五名、見習工二千五百六十六名の求人口を開拓するを得たり。而も此の間所員の協力に因ひする熱誠と努力の特記すべき價値の大なるものあるは之を逸すべきにあらざると信ず

(ニ) 十二月一日府下に於ける各職業紹介所間の聯絡事務を開始せり(漸く震前に復舊)

(ホ) 十二月二十一日より二十三日の三日間府設六個所の紹介所より所員三十名を以て全府に普ねく求職者歓迎の大宣傳を試みたり

(ヘ) 罹災求職者紹介成績

求職者数	九月	十月	十一月	十二月	合計
労働紹介	三、二七	三、三三	三、三三	三、三三	一三、二六
一般紹介	三、三三	三、三三	三、三三	三、三三	一三、二六
労働紹介	三、三三	三、三三	三、三三	三、三三	一三、二六
一般紹介	三、三三	三、三三	三、三三	三、三三	一三、二六

關東大震災に於ける職業紹介成績

紹介件数 労働紹介 一六、三三三 一、四、〇〇三 一、四、四三三 九、三三三 八、八七七 七、三三三 七、三三三
一般紹介 一、三三三 六、八〇〇 七、六六七 七、七六六 三、三三三 三、三三三

二、人事相談の状況

震災直後取扱ひたる九月中の人事相談の件数は左の如し

焼跡バラック建設に關する件	四件
バラック借受に關する件	五件
敷金取戻に關する件	三件
罹災者行衛不明に依る處置に關する件	一件
露店營業に關する件	三件
銀行預金通帳焼失に依る權利に關する件	一件
罹災者歸國手續に關する件	四件
質物焼失に關する件	四件
行商に關する件	二件
孤兒に關する件	八件
鮮人就職に關する件	二件
迷子に關する件	四件

三、附帶事業の状況

本所の経営母體たる東京府社會事業協會は率先以て前記の應急設備に盡しつゝあり。而して事業の開始は十二月二十日以後にして之か詳細は所屬當事者より報ずる所あるべし

人夫募集に關する件	一件
人夫注射豫防に關する件	一件
計	四十三件

四、營利的職業紹介者の消長

昨年の大震災の營利職業紹介者に加へたる打撃は尠少なからざるものあり、彼等の取扱へるものか戸内使用人、商業及雜業の方面に限られ居ることは従前と何等の變化なきも其の取扱件数の方面より之を見るときは殆んど比較すべきものなく、一時は其の衰滅を想はしめられたり東京府社會課の調査に依る統計を籍り、昨年九月以降

十二月までの營利業者の紹介成績の數字を擧げて之を説明せば

求人数は九月……二二七人、十月……六〇三人、十一月……四、一〇三人、十二月……六、三八五人にして求職者数は九月……五二八人、十月……一、六〇四人、十一月……六、五九〇人、十二月……八、〇六八人にして、求人總數二四、六六二人、求職者總數一六、七九〇人なるが之を前年の求人總數、求職者總數に比する時は夫々九八、一四七人、六〇、二二二人の減少を示せり。即ち大正十二年九月以降の取扱数は前年同期間の取扱數に對し求人數は二〇、二%求職者數は二一、九〇%に當れり。就職者數の減少も從つて當然なることにして九月……二八九人、十月……九七一一人、十一月……二、七七九人、十二月……五、〇一二人、總計九、〇五一一人にして昨年同期間に比し三四、三九一人の減少、即ち昨年の總數の二〇、八四%を出でず

斯くの如く彼等の成績が震災前に比し著しく低下せる

こと、換言すれば彼等の營業が不振に陥りし原因の一は公益職業紹介所が震災後一時に増設せられ、而して職業紹介所従業員の熱誠なる努力に依りて公益職業紹介所の存在が漸次一般に認められ、之を利用するもの次第に増加せるに依るものなるは論を俟たずと雖も、又一は營利業者の多くが震災の中心地たる神田、淺草、下谷、日本橋其の他に最も多かりしため罹災して暫く業務を中止せるに依るものなるも業務を中止せざる迄も其の最大の取引先たる商業區の潰滅に歸したること、に依るものなり。此の理由は大正十二年九月以降の營業者數を前年同期間の夫れと比較するときは直に首肯し得べきものと思惟す。即ち大正十二年九月現在に於て營業者數は二九五軒に過ぎず、十月……一八三軒、十一月……二八三軒、十二月……四〇四軒にして、十一年九月以降十二月迄は最高六四五軒、最低六一九軒にして其の數六〇〇軒以下に低下せしことなかりき

彼等は何れは衰滅に陥るべき運命にあるものなりと雖

も、創業の古きと斯業に深き経験を有することゝに依り、累代の常取引先を擁し居りて其の勢力半平として抜くべからざるものあり。今や帝都の復興も著々として進行しつつあれば勿論従前には比すべき隆運は起り得ざらむも、再び其の勢力を挽回し得べきことは統計の示す趨勢に徴するも明かに之を觀取し得べし

公益職業紹介事業の一層の普及發展を期する上に於て彼等營利業者の取締は益々之を嚴重にせざるべからずとは久しき以前より提唱せられつゝある所なるが、公益紹介所の増設の結果彼等の勢力範圍の狭められ行くの結果

營利職業紹介月別成績表

月別	求人数		比較減		求職者数		比較減		營業者数	
	男	女	前年同月	計	男	女	前年同月	計	大正十二年	大正十年
九月	377	333	377	333	161	166	100(81)	167	22	25
十月	401	1,147	401	1,147	211	1,148	1,242	1,111	30	10,000
十一月	1,101	5,916	1,101	5,916	5,000	2,261	1,111	1,101	4,242	1,000
十二月	2,686	5,242	2,686	5,242	4,916	5,111	8,000	11,211	11,000	1,000
計	11,116	13,888	11,116	13,888	9,816	7,777	12,720	12,111	12,111	1,000

として、彼等の中には一層其の弄する毒手を辛辣ならしむるものなしとも保し難し
依是觀是所謂藝娼妓若くは之に類似の職業の如く公益職業紹介所に於て其の性質上取扱ひ得ざるものを除くの外は一切營利職業紹介所を認めざることをする法制の制定は一日も之を速かにせられんことを希望するものなり
左表は大正十二年九月以降十二月に至るまでの營利業者の取扱へる職業紹介の月別成績にして前年同期間との對照を爲せるものなり

五、震災後に於ける求人、求職、就職者に顯はれたる著しき傾向

求人、求職者の共に紹介機關を利用するの運に達したることは、震後の紹介業態之を能く説明して餘あり、而も緊張と眞摯とは僅かに束の間に過ぎず、災後に於ける膨脹數字の多大に伴ひ不良不正の求人、求職者の往々出現するありて、紹介事業の進展上最も困難を感ずるの傾向なしとせず注目すべき現象なりとす
雇傭條件其他に於ては、復舊事業に需要する技術職工若しくは、特種勞働以外震前に比して大なる變動を見ず

六、其他参考となるべき事項

本所が積極的に紹介機關の宣傳を求人、求職者間に試みたる小ピラを末尾に添へたり(ピラ略)

東京府日暮里職業紹介所

一、活動狀況

- (イ) 事務開始 當紹介所は大正十二年十月一日より事務を開始したり、これより先き本所は(一)宣傳ピラを戸別に配布し(二)日暮里三河島兩町の各小學校を訪問し、児童を通じて各家庭に事務の開始を知らしめ(三)町役場及警察署と相謀り或は(四)家屋差配人を訪問して、借家人に本所の旨意を知らしむる等一般に周知せしむる方法を講じたり
- (ロ) 求人開拓 共同開拓東京府職業紹介所中心となり外六ヶ所共同して求人の開拓に主力を注ぎたり
工場調査 日暮里三河島兩町に於ける十人以上の職工使用工場百二十有餘につき、震災後に於ける事業復舊の狀況、現在の使用員數及職工雜役夫雇入れ能力の有無等を調査し、求人開拓上の了解を得たり

關東大震災に於ける職業紹介成績

各戸訪問開拓各所員は日々分擔して求人の開拓に勉めたり

(ハ) 求人成績 日傭労働者以外の求人成績左の如し

種日	工業及 鑛業	土木 建築	商業	通信 運輸	戸内使 用人	雜業	計
十月	六五七	一〇〇	一八四	三二	五八	七九六	一、八二七
十一月	五七七	一一〇	二八〇	一四	七五	二二三	一、二七九
十二月	四七九	一八六	一六四	二三	四九	二一一	一、一一二
一月	五二二	八一	一九一	一六	三五	二五〇	一、〇九五
二月	八五九	五七	一五二	二〇	四六	一二四	一、二五八
計	三、〇九四	五四四	九七一	一〇五	二六三	一、五九四	六、五七一

(ニ) 紹介成績

普通紹介状況

月次	求人數		求職數		紹介數		求職者 一日平均
	男	女	男	女	男	女	
十月	1,008	3,461	4,361	70	3,661	3,661	3,661
十一月	966	3,311	4,277	77	4,200	4,200	4,200
十二月	898	3,711	4,609	55	4,554	4,554	4,554
一月	831	3,000	3,831	96	3,735	3,735	3,735
二月	860	3,611	4,471	108	4,363	4,363	4,363

日傭労働紹介状況

種日	求人數	求職數	紹介數	求職者 一日平均
十月	3,361	3,361	3,361	3,361
十一月	3,361	3,361	3,361	3,361
十二月	3,361	3,361	3,361	3,361
一月	3,361	3,361	3,361	3,361
二月	3,361	3,361	3,361	3,361
計	16,805	16,805	16,805	16,805

備考 一日紹介者數最多百二十人最少一人である

(ホ) 調査 事業の改善を圖り効果を擧げんには調査に基礎を置かざるべからず、本紹介所に於ては茲に鑑み左の調査を行ひたり
求人申込みに對する調査(一)信書によりて申込みたるもの(二)直接申込みたるもの一度は必ず其工場又は家庭を訪問し、經營者若しくは事務員に面會し以て經營の状況を觀察し經營者の人格に接すると共に希望を

聴取する等相互の理解を得ることに努めたり

就職後の状況調査 求人求職兩者より就職の報告を得ると雖、確實なるや否やは此の道に素人の小職等をしては疑ひなきを得ず、仍て第一回は大正十二年十二月初旬に於て約一週間を費して紹介せるもの(一)正確に就職せるもの幾人ありや(二)就職者の勤務状態如何等につき調査したり其成績左の如し

紹介者數	不調とな りしもの 數	三日以内就 職せしもの 數	現在就 職者	備考
四六九	一〇七	一三二	二三二	有效なる就職者は紹介 數の四割九強

備考 本表は本所を中心とし三十町以内の地へ紹介せしものなり

本調査は吾々に何にを教へたるか

- (一) 貧弱なる構への工場へは殆んど就職せず
- (二) 裏店式個人經營の商工業家への就職も至つて少し
- (三) 申込賃金と雇入の際申渡しの賃金に相違ある場合は就職せず、若しあるとも三日以内に不調となる
- (四) 住込希望は雇主の家族數多き場合は就職せず之に

關東大震災に於ける職業紹介成績

就職したるものは三日以内に不調となる

- (五) 年齢の相違と體質の如何とによりて不調となるもの多かりし
- (六) 求人開拓の際、家の構造、使用職工數、家族數等を調査し求職者にかゝる點まで詳細に説明し然る後紹介することの必要を感じ
- (七) 求人側には各種の小言ありたるも、結極親切なるやり方なりと感謝し、人によりては非常なる了解を得たり

(ハ) 出張所の特設 歳末求職者の爲めに十二月一日より二十八日まで、日暮里驛長の了解と日暮里青年團との後援を得て、日暮里停車場構内に出張所を特設して紹介につとめたり、其取扱數は求人百五十求職二百八十なりき

二、人事相談の状況

職業紹介以外疾病者の入院治療、居宅救助、借家借地

及住宅、幼児依託等の諸問題に對してはそれぞれ適宜の處置を採りたり、其取扱件數左の如し

救護事項	住宅	金貸貸借	幼児依託	戸籍	計
一三	六	四	五	五	三三

三、附帶事業の狀況

(イ) 内職紹介 當紹介所に於て内職紹介を開始したり

(イ) 震災の調査に鑑みて、小職等は救済委員として大正十一年以來日暮里三河島方面に於て一千二百世帯につき婦人内職の調査を行ひたるが、其種別は七十有餘、就業せる世帯數二百三十七、就業者は調査世帯の一九、七五パーセントなりき。こは主として細民階級を調査したるものにして之に依りて此等細民の家庭に對し適當なる内職を選択し與ふべき必要を痛感せり

(ロ) 罹災者の狀況に鑑みて、震災直後、日暮里三河島方

面に避難せるものは其數甚多く、日暮里小學校につきて調査したるのみにも一千二百世帯あり此等の人々は何れも生計補助費を得んと要求しつゝあり、之が解決は當時として急を要する當面の問題たり茲に於て本所開所と同時に内職紹介の計劃を立て愈々大正十二年十月二十日より之れが紹介を開始したり、其成績左の如し

月次日	求人数		求職數		紹介數		求職者一日平均
	男	女	男	女	男	女	
十月	一	五五	五五	二八	二七	二六	六三
十一月	〇	三三	二五	九三	八三	二九	四〇
十二月	四	一三	一三	四三	三六	二二	三三
一月	二	一九	一七	四九	一〇〇	九六	一〇〇
二月	三	一七	一九	三二	二六	三三	二六
計	一〇	一三三	一三三	二〇〇	二〇〇	一六六	一〇〇

備考 一、紹介者一日最多數十六人最少二人なり
二、紹介は殆全部就職者なり

(ロ) 無料宿泊 現在に於ては東京府日暮里簡易宿泊所に宿泊せしむ、同所開始前は(一)一食を與へたるもの

(二)紹介所内宿直室又は(三)所長の役宅に宿泊せしめたり、前記宿泊所開所前滿二ヶ月間に取扱ひたる成績左の如し

種目 性別	一食を與へたるもの		二泊の計		三泊以上の計		延日數
	男	女	男	女	男	女	
計	三	一	一	一	一	一	二四
計	一	二	〇	〇	三	三	三

(ハ) 旅費の給與 低能求職者、地方より漫然と上京したる求職者なるも低能にして紹介の見込なきを以て、汽車賃一圓拾錢と辨當料五拾錢とを給與し、切符を買求め郷里に歸したるもの一人ありたり

四、營利職業紹介業者の消長

當紹介所管内には只一ヶ所あるのみにて土木請負業者と結託して人夫の紹介をしつゝある模様なり

五、震災後に於ける求人、求職、就職者に顯

はれたる著しき傾向

(イ) 求人

(一) 殊更に求人申込數を多くし、徒らに多數の紹介を得て、其中より幾人かを人選せんとするもの尠からず

(二) 弱點に付け込み低廉なる給料にて使用せんとするもの多し(1)、見習工として雇入れ経験を積み高き工賃を支拂ふに至れば解雇しまた見習工として募集するものあり(2)、求職者を紹介せば求人の際の申込賃金より低く交渉するものあり甚しきは半月位使用して少額の工賃の内拂ひにて解雇するものあり

(三) 給料の日拂ならざる工場に於ては一週間分位づゝ本紹介所に前納して求職者の便を計れる奇特なる工場もありたり

但本紹介所に於て交渉せる結果なり

(ロ) 求職及就職先

- (一) 紹介方法につき苦情を申出づるものあり多くは救済に馴れたる我儘者なり
- (二) 何所の紹介所にては吾々を人間扱ひをせずとの不平も尠からざりし
- (三) 心より感謝の辭を述べたものも尠からず
- (四) 其日の生活に困るを以て多少収入に不利なるも給料日拂ひの處を希望するもの多し
- (五) 工場の賃金著しく低廉なりしを以て日傭労働を希望するもの多かりし

東京府千住職業紹介所

一、活動狀況

本所は大正十二年九月二十九日を以て事務を開始せり。然るに當地方面は幸ひ類焼の厄を免れたるも、多くの會社、工場は極度の損害を蒙り爲に作業は一時中止の

状態に陥り、之に伴ひ幾多の人々は皆失業者となりて當所に殺倒し來り、其の混亂錯騷せる様は殆ど名狀すべくもなかりき。茲に於て求人の開拓は焦眉の急なるを思ひ、之が對策として所員を三班に分ち、一は内部の整理に、一は戸別訪問に、他は廣告の撒布若くは張紙宣傳に従ひ、以て求人への吸収に全力を傾注したり。幸に當地附近一帯は工場地にして、多くの會社、工場若しくは有力なる請負業者より多數の求人口を得たるを以て、翕然として潮の如く寄せ來れる失職者を遺憾なく鹽梅することを得たるは誠に天祐とも稱すべきか

即ち十月末の求人總數四、五九一、求職者總數三、五八一に達し紹介件數三、二二五と云ふが如き成績を得たり。其の後漸次焼跡の整理も進捗し、各會社、工場も漸を追ふて復活するに伴ひ、自然周圍の状態をも變化を來したるを以て、之が對策として南千住驛前ガード下に移動紹介部を開設し、求人求職者の便を計れり。之と共に一方開拓を怠らず求人者の吸収に力を致せり。之が爲に

十二月末には求人總數六、九八七、求職者總數四、三〇七、紹介件數三、六一九と云ふが如き結果を得たり。

東京府大島職業紹介所

二、營利紹介業者の消長

曾て某周旋業者當所に求職者を裝ひ來り、求人者を奪はんとしたるを以ても、彼等が如何に大なる打撃を受けつゝあるかを知るに足るべし

一、活動狀況

同所は大震災後府下大島町三丁目百六十四番地（バラック建二十四坪）に急設したるものにして大正十二年十月十九日開所したり

三、求人、求職、就業者に顯はれたる著しき傾向

求人者は失業者多數なるを見込みて、低廉なる賃銀により之を使役し事業恢復を計らんとする傾向を見たり。一方求職者の多くは高額の賃銀を速に得て、元職に復歸せんことを希ひ、しかも多くは激しき勞務に堪へざる傾きあり。就職者は多く一時窮迫の結果、業務の何んたるかを選ばず就業するにより、永續性乏しき嫌ひあり

開所前内部諸般の設備に忙殺せられつゝも猶ほ良く求人口（一般四八七人）を得、之れを資本として開所し爾來所員二人交代にて宣傳ビラの配付貼付に、又求人口開拓に各會社工場等の戸別訪問に奮戦したれども如何せん附近一帯工場地なるが故に所員の努力に比して成績擧らず、一時は全く失望落膽せるも十一月中旬頃より漸時に求人口増加し遂ひには求職者數を恒に超過するに至れり、此間十一月一日よりは人事相談部（専任救済委員）を、十二月二十五日よりは同所の附帯事業として宿なき獨身労働者の爲に簡易宿泊所を、更らに又之れに附屬して簡易食堂を

開始せり、而十二月末日までには次の成績を以て復興の新春を迎へたり

求人	一般	三、四一三	八二八	四、二四一	備考 大正十二年十月十九日より同年十二月三十一日に至る
	労働	二、一六三	—	二、一六三	
合計		五、五七六	八二八	六、四〇四	
求職	一般	一、四九二	一八二	一、六七四	
	労働	一、四三七	—	一、四三七	
合計		二、九二九	一八二	三、一一一	
紹介	一般	一、二四二	一四八	一、三九〇	
	労働	一、三二八	—	一、三二八	
合計		二、五七〇	一四八	二、七一八	

二、人事相談の状況

當紹介所の附帯事業として十一月一日より開始せるものにて専任救済委員之れを擔當す
受付相談事項次の如し

- 戸籍問題 八件 家屋及地所に對する法律問題 五件
- 學事問題 三件 疾病者入院手續問題 五件

三、附帯事業の状況

病人引取問題一件 合計 二十五件

此の二十五件中事狀複雑の爲め解決までには四十三日の日時を費したるものもあり。此等二十五件の相談申込者は夫々その事件に付き相當煩悶の結果未解決に畢り、而も捨てをくに忍びざるの責任感念より申出たるに由つて夫々解決となれり、然れども斯る事件にして申出もせず、而も未解決のまま放任せられ後日に至り必要に迫られ申出づるも、時既に遅れて如何ともする能はずして困却するか、偶々出来るも時日を長く要して應急の間に合ざる等、多くの事故が今後年を逐ふて益々増加するにあらざやと憂へらる

依つて此際、斯る方面にも十分の考慮を煩はし何等かの防禦策を速かに講じたきものなり

- (イ) 簡易宿泊所 同所は又職業紹介所の附帯事業にして二十坪の假建築、三十四疊通しの大廣間一室にして宿

泊定員四十人なり

宿泊料は藩團(大二枚)風呂付金十錢、而して同所は十二月二十五日開所したるものなるが宣傳ビラ等は一回も散布せず、然れども聞き傳へに申込み來たる者のみにて忽ちに満員となり、月末には三十七人となれり、新春に入りては更らに於て、現在(大正十三年三月一日)に於ては五十人を下ることなく、宿泊者多數の場合は戸棚をも寢室に利用する状態にあり

- (ロ) 簡易食堂 當食堂は宿泊所附屬のものにて主として宿泊者の爲に設置したるものなり。朝、晝、夕の區別なく一食十五錢(定食)、此の外、うどん又は皿盛等の惣菜は數種ありて、望みに應じ何程(但し十錢以下)にても提供し居れり

東京府王子職業紹介所

一、活動状況

- 求人求職者の宣傳ビラを地方の要所に貼附し、或ひは當町の中心飛鳥山王子電車終點に大掲示板を立て、求人求職に便宜を與へたり
- (イ) 求人開拓には求人係員を八方に派し、日毎に各主要會社工場商店を歴訪せしめ、以て求人の申込みを受けしは勿論、會社工場商店主等の會合ある節には其の好機を利用し所員出席し懇談相互の諒解を得、出來得る限り多數の求人口を得んことに努めたり
- (ロ) 求職者の開拓には、特に失業の集團地帯と覺しき所を歴訪し、當紹介所の新設に就き其の利用を薦めたり
- (ハ) 猶ほ當地失業者の主たる前職業を調べ、可及的同職業に就かしめんと欲し盡力せり、例へば東京毛織會社全滅解散に依り生ぜる二千有餘の失業者に對しては南千住、大井等にある同種會社工場に就職せしむる様奔走盡力せり

愛國婦人會職業紹介所

一、活動狀況

震災直後愛國婦人會本部に於て、衣類の給與を目標として救恤に盡すの議決し、本部自ら先づ數十萬圓の豫算を評決して不取敢之が材料の購入に奔走し、右衣類の裁縫は當紹介所附屬授産部に於て引受け、全部同部従業員をして之が裁縫に従事せしめ且比較的高値の工賃を給與したり、即ち震災直後に於ては社會の狀況混頓たり、且交通通信機關甚だしく不備等の爲め、所謂紹介の成績を擧ぐるは殆んど不可能の實況にありたるも、多少にても和洋裁縫の技能を有する震災被害婦人にして求職するものあれば、他に先んじて授産部に收容する方針を定め從來の同部従業員にして幸に災害を免れたる婦人に對しては、暫らく其職を不幸なる罹災婦人に譲られんことを懇望したり、其結果罹災婦人のみ數十名を收容し、出

退時刻を延長して熱心裁縫に努力せしめたるも、尙材料の拂底を來さんとする虞も無く工賃の給與も亦比較的多額に及べり。右の結果十二年九、十兩月中の従業員出勤者延人員二、〇三七名、工賃支給額二、六八〇圓、此一人一日の平均一、三二に及びたり、當所附屬授産部に於ける以上の狀況は引續き今日に及び、同年二月末日現在従業員在籍者數一九名出席者六二名なり
尙又紹介に關する九月以降二月末日に至る當所成績左記の如し

月別	求人數	求職數	紹介數
九月	二八	一五	四
十月	二五九	四二五	二七六
十一月	二六八	三三一	二〇四
十二月	二六二	一四四	一四一
一月	二五二	一七一	一六六
二月	四二二	二二五	一六六
計	一、四八一	一、三〇一	九〇七

二、人事相談の狀況

れたる著しき傾向

震災直後に於ける求職者の眞剣なりしに比し以後日を經るに従ひて不眞面目なるもの多き傾向著しきものあり、爲に漸次紹介成績を擧ぐるに困難の狀況にあるが如し

淀橋町立職業紹介所

一、活動狀況

本所としては活動と稱すべき點無之只宣傳ビラを各戸に配布すると共に所員交互に工場等を歴訪して求人開拓に努めたるに過ぎず

二、人事相談の狀況

罹災者として人事相談の取扱數は五件なり、何れも借家敷金に係る領收證據失せし爲め返還を請求するも要領を

震災直後に於ては都下人心極度に不安の狀況に在り、況んや之が爲め家庭の破壊と同時に生活上に必死の脅威を感じ來れる婦人にして心身共に混迷の狀にあるもの多々なるは免れざる所なるべく、かゝる婦人にして當所に來談せられたるものには先づ力めて所謂人事相談に應じ精神の慰安と將來の方途につき懇切善導するやう方針を定め、傷病者には本會無料診療所に紹介して診療を受けしめ且生活最も急迫せる婦人にして裁縫の技能なき婦人數名は雑役婦の名に依り日給七十錢乃至一圓を給與し救護をなしたり

三、附帶事業の狀況

第一項記述の外十二年十二月二十七日より更に當所附屬託兒所を設けて授産部従業員婦人携帶の子女並罹災家庭の子女を收容したり、同日以後十三年二月末日に至る託兒兒童の延數九一六人なり

四、震災後に於ける求人、求職、就職者に顯

得ず如何なる方法を以て請求して可なるやと何れも大同小異の件なり、亦震災後三日目に火災に罹り動産保険證を焼失せり如何なる手續きを爲すべきやとの相談あり、何れも大體の事情を聴取し之れが對策を説明し場合によりては辯護士(無料鑑定)を紹介し與へんと談示し置けり

三、附帶事業の狀況

附帶事業として取扱ひたるは左の二種なり

- 一、内職 希望者は多數來れるも有望なる内職求人者は少く毛絲編物へ數名紹介せしに過ぎず
- 二、貸家貸間 貸さんとする申込者至て少く借家借間の希望者多きは一日十數名に上れるも前述の事由により紹介せしものは僅少なり

四、營利職業紹介業者の消長

營利職業紹介業者は本町内に三戸あるも之れを以つて本業と爲す者は一戸而已其一戸に就き調査したるに求職

取扱者は主として下婢にして男子は殆んど稀なり、震災後九月下旬より業務を開始し十二月末日迄は其取扱數例年の平時に比し約二倍半の多數に上れり、是れ東京市内に於ける同業者の大部分焼失せし結果なり要するに震災に因る一時的増加を來したる者にして漸次減退の傾向を示しつゝあるを以て今後に於ては平時より尙減退するものと觀察す

澁谷町立職業紹介所

一、活動狀況

本紹介所は九月一日の大地震に方り少しも災害を被らざりしにより幸に事務を休止することなきを得たり

九月三四兩日は先づ本町内始め四谷赤坂芝等近接區内樞要の地并に隣接町村に通ずる大道路に面し本紹介所の存在及び求人求職に關する宣傳ビラ數百枚を貼付したり、此際は恰も罹災者に於ける食糧問題期なるを以て求

職者は震災前の五分の一に減じ求人殆んど女中子守小店員に限られたり

十一日以後五日に互り町内にて最も多く人を使用する向即ち富豪、會社、工場并に土木建築人夫受負業者大工、左官、瓦職、運送業者を歴訪して求人開拓を試みたりしが當時未だ帝都復興の曙光見え加ふるに瓦斯電氣の動力は杜絶し交通運輸は不便の極に達し、諸般の事業多くは休止の狀態に在りしを以て求人申込は意外に少なかりき、而して求職者の多くは工場員にして其工場の休業中働かむとするものにして其希望する所は荷揚人夫、焼跡整理夫、庭園掃除夫の如き一日二三圓の收入ある口のみなり、然るに本町には右の内第一、第二に該當する仕事なきにより是等は悉く東京市職業紹介所に差向け僅に庭園掃除のみを紹介せしが求職者の多くは洋服著前垂掛の扮装にて營業者の嫌厭する所となり中頃より申込少くなれり
十二日より罹災者のため臨時人事相談所を設け町の内
外に對して宣傳ビラを配布せしも來りて解決を求むる者

意外に少なかりき

震災後日を経るに従ひ救護事業奏效して食糧漸く安定を得バラツクも亦各所に建てらるゝに至り、本町の避難民は日常の活動に便利の地を擇び逐日新建築に移住し去れり、此際内務省社會局を中心とし府下の各職業紹介所聯合して求人搜索班を組織す、本所も之が驥尾に付して大活動を爲せり

九月下旬以降は特に求人開拓に努めたりしも當面の仕事は概ね従前の關係によりて舊職植木職などの占有に歸し俄造の人夫は餘り歓迎せられざるに拘はらず、收入多き勞働に翹集して各方面より熱望せらるゝ工場商店等の使用人(日給一圓五十錢内外又は月給二十圓前後)たることは見向もせざる狀況に在りて折角の求人口も之に向くべき求職者なく屢々徒勞の歎を發することありき之に依りて本所は在町避難者中の被救助者を歴訪して就職の勧誘を試みしも多くは徒食して或る時期を待てる者にて直に應諾せしは甚だ少なかりき

今回の大震災によりて府下の本事業聯絡の衝に當りし東京府職業紹介所は焼失し、電話は不通電車は交通不便となり加ふるに郵便は遅着頻々等のため從來唯一の顧客たりし工場商店等も殆んど閉鎖又は縮小の窮境に陥り、本所開始以來僅に一年餘にして此に更新の悲運に際會せしなど其打撃の甚大なるを覺ゆ、而して十月二十五日より東京地方職業紹介事務局に於て聯絡事務を開始せられしも前述の理由に依りて交換は殆んど行はれざりき十一月に入りて瓦斯も電気動力も漸く通ずるに至りしが鐵道船舶により貨物の運輸依然澁滞を免れずして商工共に其業を營むこと能はざりしこと久日に互り、求人口涸渇の状を呈せしにより十一月十一日を期し地方事務局の援助を承け本町内外に對し再度大宣傳を試み及び求人開拓を行ひ以て當面の需給を調節し得たり

二、人事相談の狀況

九月十二日臨時人事相談所を開く解決を求めし所の事

件計十三件にして次の如し

- 一、貧困者救療の件
 - 二、雇主に對し賃金支拂方交渉の件
 - 三、同棲方交渉の件
 - 四、家督相續の件
 - 五、財産分配方交渉の件
 - 六、娼妓廢業の件
 - 七、借家人に立退交渉の件
 - 八、離縁手續に關する件
- 以上の内民事に關係を有し取扱方簡單ならざるものは警察署の人事相談部へ解決を求めしめたり

三、營利紹介業者の消長

本町には大震災前十一ヶ所の營利職業紹介所ありしが震災後に至りても増減なし、然れども各所の取扱数は著しく増加し震前の二倍強に上れり其大略次の如し

震前六、七、八三ヶ月分紹介數〔男 八一〕計二一六
〔女 一三五〕計二一六

震災後九、十、十一三ヶ月分紹介數〔男 六四〕計
〔女 四八四〕計五四八

前記男の大部分は店員小僧にして女の大部分は女中の類なり、此く女の紹介數多數に上りしは震災後本町の花柳界が繁盛を極めたるため各種の女子を吸収したるものと如し

四、求人、求職、就職者に顯れたる著しき傾向

震災後著しき傾向と認むべきは求人者に在りては主義者組合加入者及び半學生の労働者を望まず求職者に在りては男女を問はずなるべく給料の高額なる所を擇ぶことなり

龜戸町立職業紹介所

一、活動狀況

今回の大震災に際して我が龜戸町立職業紹介所は龜戸

關東大震災に於ける職業紹介成績

町役場吏員及び龜戸町婦人會と一致合同して遭難者の救護傷病者の手當迷子の保護養育罹災者の衣類食料の給與等に努力いたしました。就中婦人會理事鶴岡末子女史は會員十餘名を率いて急場に走せつけて吏員所員及び學校教員と協力して一日の夜から活動を開始されたのであります

龜戸第一小學校及び職業紹介所事務室等に收容せし避難者に對して炊出しをしたが此の人員七百餘名に達しました、同日午後二時頃より本所方面の罹災者は警察官吏の宣傳により龜戸方面が安全地帯なる事を知りて其數急激に殖へて數萬名以上に達しました。其の中に於て當所長平岩氏は其の兩親及び妹子供の四人は本所區松井町の自宅附近にて慘死したりとの報に接したるも罹災者救護に従事の身にて救済に行く事も出来なかつた。これ實に犠牲的行動で、家族を顧る暇もなかつた事は實に同情に價ひする真に涙ぐましい物語であります

所長始め所員は連日混亂の裡に不眠不休の活動を以て救

護事務に従事したのは九月二十七日迄でした。然るに震災前労働に従事したる罹災者の一部及び傷病者の中には身體も日増に全快して來たが忽ち迫り來たる問題は生活問題である生計の道を絶たれて絶對的失業者に陥れる者には一日も安き思がないのであります、茲に於て生活不安の脅威から脱れるために職業に就く事を自發的に希望をして紹介所に押し寄せる失業者は午前五時頃より事務所前に行列して待つ有様であつた。然し其失業者に不充分ながらも職を與へると云ふ事は此の場合却々困難である、けれども其職に倒れるの覺悟を以て職業紹介所は全員の活動を以て求人開拓に全力を注ぐべく多大の苦心を拂はなければならなかつた、何となれば隣接町村に存在せる諸會社工場は震災の爲め大半は何れも被害者である爲め事業開始がはかどらない然し遠慮する場合でないのて諸工場を訪問して現在の罹災失業者の状態を訴へて義侠的に失業者救済の事を依頼して求人申込を受けたのであります

求人開拓の結果得たる求人数

工場雜役	一二八名
大工左官	七七名
日雇人夫	九五名
女中	五六名

僅かに三百五十六名の求人口に活路を得て十月四日開所したのであります

二、人事相談の状況

震災直後事務不整理の爲め一時中止しました

三、營利職業紹介業者の消長

震災前と異動なし

四、震災後に於ける求人、求職、就職者に顯れたる著しき傾向

求人には少年、女中等の申込多かりし事

求職には多額の収入を要求する者多かりし事

就職には工場の雜役及日雇労働者のみ

北豊島工員職業紹介所

一、活動状況

未曾有の震災後必然失業者の激増すべきを豫想し所員一同に令し専ら求人開拓に努力せしめたるも如何せん財界の破壊は各種方面に甚大なる影響を醸し殊に工業界の如きは其最たる者にして取引先を失ひ原料の購入、製品の販賣意の如くならず、遇々災害地外に取引先を有する者も輸送の杜絶は勢ひ休業を餘儀なくせしむるに至れり故に之れが開拓の難事なりしは言語に盡し難く幸に開拓員の熾烈なる努力空しからず、僅に工業方面の求人を得たるも罹災求職者の數、日を逐ふて加はり到底其需に應ずるに足らざるを以て更に大々の活躍の必要を生じ宣傳「カード」又は紹介所位置略圖の掲載、趣意書の配付を試

むる等其効果を發揚するに努めたり

二、震災後に於ける求人、求職、就職者に顯れたる著しき傾向

求人者に顯はれたる著しき傾向

震災後は一時求人口絶へたるも數日の後は小康を得て各工場もぼつ／＼作業を開始すると同時に機械又は建物の修繕復舊に着手せり、然れば此際特に経験者に非ざれば用に適せざるを以て是等工場にては素人職工を好まず然りと雖も経験工亦至て稀少にして求人と求職の調和を保ち難く一層の困難を感ぜり
求職者に顯れたる著しき傾向
求職者の多くは財を失ひ或は無一物となり、或は衣食の脅威を受け居れるを以て失望の極、自暴自棄の状態を呈したる者頗る多かりき

震災後數十日(十一月頃)に顯れたる傾向

求職者の心理状態一變して第二期に入り上記の如き浮薄

なる状態を脱して質實なる傾向を生じ如何なる作業にて
も就職して柔順に服務すると云ふが如き變化を示すに至
れり

横濱市中央職業紹介所

一、活動状況

震災に因り富士見町、中村町、高島橋、萬國橋の各職
業紹介所は焼失し中央、櫻橋職業紹介所亦被害を蒙りた
るを以て一時業務を中止したるも罹災失業者夥しき數に
達したるを以て取敢へず應急策として中央職業紹介所
(市役所バラックの一部)及櫻橋紹介所を開始し又淺間町
に臨時紹介所を設け鋭意求人開拓に努め主として雇日勞
働者の紹介に従事せり

其後内務省社會局にて職業紹介所五ヶ所を新設貸與せ
られたるを以て各紹介所は極力罹災求職者の紹介に當り
宣傳ポスターを貼布し、求人係を増員し又移動紹介所を

設け軍人分會、衛生組合等と聯絡を保ち市内各所(夜警
團詰所、衛生組合事務所)に出張し宣傳ビラを配布し求
人の開拓に努むると共に求職者の紹介に努力せり
獻身的なる紹介所の活動は求人者の同情を喚起し求職
者の信頼を招致し復舊事業の進捗に伴ひ求人口頭に増加
し而も善良なるものを多く得るに至り震災前曾て見ざる
成績を擧ぐるに至れり

二、營利職業紹介業者の消長

震災に因り全市殆んど灰滅に歸したるを以て震災前市
内に九十七戸を數へたる口入業者は神奈川方面に僅に數
戸を残し他は悉く焼失せり

震災後に於ける職業紹介所の活動は求人者求職者の信
頼を一に集めたるを以て自然營利紹介業者を壓倒するの
形に出で今日に於ては復興營業を開始せるもの若干ある
も利用するもの殆んどなく藝娯妓酌婦等の紹介をなすに
過ぎざる状態にあり

三、震災後に於ける求人、求職、就職者に顯 はれたる著しき傾向

- (イ) 求人者は職業紹介所を理解し之を利用せんとする傾
向著しく特に事務員級の求人口頭に増加するに至れり
當市役所に於ける臨時雇員の採用、横濱共立倉庫會社
に於ける事務員の採用は紹介所の紹介によりて之を爲
し又古河電線會社ケーブル工場の雜役人夫は從來請負
業者の手により雇入れたるも震災後は紹介所より勞務
供給することとなり其他の會社商店が紹介所より勞務
者の供給を受けんとする傾向顯著となれり
- (ロ) 求職者は總じて素質善良となり知識階級の求職者多
く職業婦人の求職者亦増加せり

- (ハ) 就職者は求人者の希望に應じたるものを得らるゝを
以て自然求人者の満足する所となり紹介の結果極めて
宜しく震災前に比し就職率著しく上れり、尙就職者に
犯罪者を出す如きこと殆んどなし

川崎町職業紹介所

一、活動状況

震災直後當所は一時休業したるも九月十日事務を開始
したるに全慣會社の職工又は東京、横濱等より避難し來
れる各失業者殺到し來り從來の吏員にては逆も及ばざる
の繁忙を極めたるを以て直ちに役場吏員一名、學校職員
二名の援助を得て之等求職者の紹介に努め他方各會社工
場及大商店等を訪問して求人口の開拓を試みたるに、相
當の成績を挙げ求職者の大多數は殆んど就職せしむるの
好結果を得たり、九月下旬に入りては漸次求職者の數を
減せり

二、附帶事業の状況

當所は職業紹介の外附帶事業を經營し居らず
宿泊所及食堂は神奈川縣匡濟會經營に係る川崎社會館は

同地内にあり、一泊十五錢食堂朝十二錢晝夕各十五錢にして宿泊所の如きは定員百八名なるを震災當時より百五十名以上を收容するの活況を呈し居れり

三、營利職業紹介業者の消長

當町には營利職業紹介業者一人あるも甚だ振はざるもの如く昨年中の取扱件数を示せば左の如し

求人	男 三三	女 一九六	計 二二九
求職	男 一七	女 八四	計 一〇一
就職	男 一一	女 六七	計 七八

一ヶ年の就職者男女計七十八人にして一ヶ月平均六人に當り獨立營業としては殆んど立ち行かざるの状態にあり

四、震災後に於ける求人、求職、就職者に顯れたる著しき傾向

震災直後求職者及就職者の心理状態は一時非常に緊張

し自己に堪へ得る限りの程度に於ては何職なるを問はず直ちに就職するの狀態にありしが、日を経るに従ひ漸次震災前の氣分に戻り職を遣み勞働を嫌ふの風あるが如し求人方面に於ては別に記すべき傾向なし

六、其他参考となるべき事項

特記すべき程の事なし

横須賀市職業紹介所

一、活動狀況

大正十二年九月一日大震災直後七百八名の失業者を出したるを以て之が救済の急務なるを認め従來兼務所長書記一名を以て紹介事務を管掌し居りたるを、更に書記一名を増加し専ら之が救済に努め今年十月十日横須賀海軍工廠に於て既定の計畫たる軍縮に基く一千七百二十餘名の集團的職工解雇を發表するや、之が對策を攻究するの

五、震災後に於ける求人、求職、就職者に顯れたる著しき傾向

震災前に於ける當市職業紹介所の施設は極めて小規模なりしも震災後大に之を擴張し其實質を認め、るゝに至り之を利用するもの著しく増加し求人、求職、就職者に好感を以て迎へられつゝあるは疑を容れざるものと信ず

札幌市立職業紹介所

一、活動狀況

震災避難者に係る職業紹介は晝間は元より執務時間外と雖も求人口の捜査に努め應援として市役所社會係員、公設市場事務員及各方面保導委員に囑し諸官廳會社工場商店等遍く開拓に努めたり、其結果は府縣一般の實況と等しく知識階級の求人口絶無工場勞働口も亦更に無く稍收容力を有するものは商店員職人及飲食店雇人等にして

必要を認め中央、東京地方職業紹介兩事務局に急報し其指揮を待つて同年十一月十日横須賀市深田横須賀市立高等女學校内に中央、東京地方職業紹介兩事務局、神奈川縣社會課横濱市中央、神奈川縣臨時横須賀兩職業紹介所並に當所の聯合假事務所を開設して之が就職斡旋に努めたる結果何等障礙なく業務を遂行せり、爾後當所は四圍の情況に鑑み専任所長を置きて斯業の擴張を計れり

二、營利紹介業者の消長

當市内に於ける人事周旋業者は藝娼妓周旋業一、一般勞務者周旋業者六現在するも歐洲戰爭當時財界は非常なる好況を呈し商工業の著しく勃興するや需要者自ら其求むる人員を雇備したる結果該營業者は非常なる打撃を受け漸次經營困難に陥りたる情況なりしが職業紹介法の實施を見るに至るや藝娼妓周旋所の如き前借に伴ふ營業者を除く外殆んど其營業を奪はれたるの感あり

日傭労働は比較的收容力多かりしも避難者の多くは筋肉労働に適せず且雨天休業の不利あり概して之を喜ばず希望条件には成る可く近きものを斡旋せんとするも相互の條件適合するもの少なく高等教育を受けたるものにして一時飯炊き出前持等に住込させたる如き餘儀なき者もありたり

二、人事相談の状況

避難求職者に對する人事相談は主として紹介前主任之れに當り時に市役所社會係主任の應援を得て彼等傷心の罹災者に對し慰安を與へ種々なる人事上の相談に應じた

然れども求職者の多くは震災混亂裡に無料乗車を奇貨とし何等の用意もなく漫然渡來し其多くは實力以上の仕事に有付得べしとの一種の漫心僥倖心を以て或者は履歴を偽り身分を瞞着する等時日の経過するに及んで居溜らず失踪せるもの多かりし

三、附帶事業の状況

宿泊所の開設 震災時に於て本道就中當市に避難したる大多數は親戚故舊を頼りたるものにして、漸定的にも夫夫落付きたるも職業紹介所に現はれたる罹災者の多くは其當時無料乗車を便宜として漫然渡來したるもの多かりし爲、臨時宿泊所を豊平町札幌公益宿泊所並に山鼻町東本願寺別院に開設し之等の人々に對しては中繼宿泊者等は電車の無料乗車を計ひ或は在郷軍人、青年團員が手廻り荷物の運搬親戚知己等の案内等に當り以て避難者に對する慰安と便宜を計りたり

宿泊期間中は中繼宿泊者には大概一晩位にて出發したるも當市に就職せんとするものは就職決定を見る迄滞在せしめたる結果長きは一週間以上に及びたるものありたり其他なし

四、營利職業紹介業者の消長

北海道は其拓殖の立場より土工工夫、漁場人夫等前借に依る周旋業は往時旺に跋扈し従つて弊害又少からざりしも公營職業紹介所の設置以來著しき打撃を受け、其の漸次隆盛に趨くに反して營利紹介業者は漸次衰微の傾向にあり今市内の四年間の比較を掲ぐれば左の如し

職業紹介所成績

年次	求人数		求職者数		就職者数	
	男	女	男	女	男	女
大正九年 四月開始	三〇	二	二七	一	一九	二
大正十年	二六	三	二九	四	二〇	三
大正十一年	六四	一八	八二	四	三九	三
大正十二年 （昭和元年）	二四	一〇	三四	一	二九	一
大正十一年 日傭紹介	七十九人					
大正十二年 同	三百二十三人					

營利紹介業者成績

紹介業者数	求人		求職		就職	
	不詳	詳	不詳	詳	不詳	詳
大正九年末三三	不詳	二五	不詳	二、一〇二	不詳	二、一〇二
十年	不詳	五、五八七	不詳	二、一〇二	不詳	二、一〇二
十一年	不詳	二七	不詳	一、七一九	不詳	一、七一九

關東大震災に於ける職業紹介成績

十二年 二九 二〇九五 二〇三七 二〇三七
市内紹介業者の主なる取扱は藝娼妓酌婦及前借を要する土工工夫等にして求人口は市内に少く新開地の道路、鐵道、築港、灌漑溝に供給するものにして求職者の多くは府縣募人夫多數を占む本道に於て營利紹介業者の存在する理由は舊來の固習と一般社會の未だ公益職業紹介所を理解せざるに依るものにして特に其長所として見る可もの無し、將來本道各地に職業紹介所の設置を見夫々活動をなすときは之れが淘汰をなし得ること決して遠き將來にあらずと信ず

五、求人、求職、就職者に顯れたる著しき傾向

前述の如く避難者に對する就職斡旋は此の非常時に際して多大の同情心を喚起し爲めに迅速なる取扱をなしたりと雖も避難者の多くは當市に永住の目的なく又職業上に何等の方針なき一時の遊覽気分のもの多く帝都復興熱

の旺盛に連れて漸次無料歸還或ひは割引歸還し甚だしきは犯罪を犯し借金をなして逃走する等放膽なる行爲にけ多大の迷惑を感じたり、殊に學生の多くは所謂北海道の夏季學生労働を相像して悠大なる本道の天恵の富源を馬上はるかに目渡すが如き殆んど空想的感念に籍られて來札し其實務を體驗するに及んで或は労働の難易を訴へ、或は労働時間の短縮を云爲する等其舉動一として眞面目なるものを見出し得ず、遂に雇傭者より解雇せられて無料宿泊所に收容せらる、しかも彼此口實を構へて轉々する等其態度の浮薄なること洵に慨嘆に堪えざる所にして多くは冬季に入るを怖れて行李を纏め退札したるもの多し現在は一名の就職者なき状態にして學生中學校を嘯り身元本籍等を詐稱するもの多きには一驚を喫せり

六、其他参考となる可き事項

(イ) 震災地に於ける状態は新聞紙上屢々被見する所なりしも震災外地の立場に於て所謂震災間接の被害は産業

經濟の上に一大衝動を與へ之れを事業方面に見るときは官廳工事は先づ越年費の大削減に遇ふて事業の休止を見爲に之等失職者夥しき數に上り時宛かも冬期に入るに先立て土工組合灌漑工事は本道の大部分は事業休止をなし加へて沿海州に出稼させる多數の漁夫、開港地の沖仕等皆失職して爰に大多數の失業者蜃集し一時本市(十三萬の人口)に二千餘名の自由労働者は喰ふに食なく着るに衣なき悲惨なる生活を續けたり、平年ならば十一月頃より降雪ありて鐵道軌道の除雪市街除雪等一日五六百人の日傭を消化するも大正十二年及本春は更らに降雪なく之の方面への需用更らになく一時大なる困憊を経験せるも昨今漸く事業の恢復と漁場季節に入りたる爲之等に供給しつゝあり、之等は間接的打撃の大なるものと認めらる

(ロ) 職人に於て大工、左官、石工等は帝都復興の好景氣傳へらるゝや或は團體を組織し或は相手を求めて出京する等甚だ多かりし爲め市内所在に空家を見一時之等

職人梯底に依りて市内建築事業は休止せられ契約事業の如き過怠金すらなし得ざる窮境に墜りたるものあり、又組合申合として労働の若干値上をなしたる所もありて地元事業の上には是又間接の影響少からざりし

(ハ) 商業取引に於て見るに震災地の生産が減退せると仕入品及仕入地の打撃は物質の價格を騰貴せしめたる一方又取付けの嚴談に遇ひて之れが調達をなす等相當深

(ニ) 産方面に見るに麥酒、製麻等の會社と耕作者の契約作物は會社本社の被害によりて購買をなすを得ず、漸く本年二月頃解決せしもの、未だ解決せざるもの等ありて著るしく農村の金融に障害を與へ爲めに農村子弟の都會に出稼するもの多數ありて一層失業調節に困難を來したり

(ホ) 金融機關は全部貸出しを制限し甚しきは預金の大額

引出すら彼此制限せんとするものありて市内の不況著しく爲めに商家農家の倒産者を出し地價を始め諸生産品の價格を低下せしめたるは職業紹介所活動の上に見過し難き現象と謂ふべし

函館市職業紹介所

一、活動狀況

當所活動に就て特記すること無之平凡なる活動にて漸愧に堪へず規定に依り事務員二名を置き外務と内務とを區別し居るも隣接せる公設市場事務員兼務のため思ふ様に外交に腕を振ふ能はず、最も開所以來外交員を四五名交迭せし土地の狭きためか外交の不熟か求人口の開拓意の如くならず現在に於て電話を利用して求人開拓に資し居る有様なるも近々建物の建築と共に事務員を増加し活動せしむる計畫なり

二、人事相談の狀況

警察の人事相談所と接近し居るため大抵其方面に差向くるにより當所には皆無なり是事故は概ね警察の解決を待つもの多きためなり

三、求人、求職者に顯はれたる著しき傾向

求人に於てはアネコ(下女)アンコ(小僧)の申込多数なるに反し求職者は事務員か通勤方面を希望するもの多数にて折合付かず求人開拓に困難を感じ居れり、然して當所には郡部よりの求人者皆無猶人口は十五萬に達し居るも求職者のみにて求人者少きに苦しみ居れり、其少なき求人者の中にて大抵當市に在住する知人なければ採用せざるもの多く此點に於ても紹介に苦しめられ居れり

團財 法人函館無料宿泊所職業紹介所

一、活動狀況

時恰も勘察加方面漁場打揚時期にして殊に本年は各漁場通じて漁況頗る不良隨て出稼者の歸面せし者にして失業者不尠加へて財界不況の折柄なれば、諸會社大商店何れも縮少方針を取りつゝある場合故市内に於ける失業者數豫想外に多きに際し突然罹災者の來道となり之が就職上其他に付き實に困難を極む、當所に於ては罹災者の來道となるや臨時職員を増加各々職務を分擔し一方函書間連絡船の入港と共に遙々棧橋に職員を出張せしめ罹災者にして行先未定の者は當所に收容し、市内の惡風旋業者の毒手に掛らざる機努力し一方本道に親又は親戚知人を有し行先の定まり居る者には夫々便宜を與へ出發せしめ、又市内に寄る可きものは職員を付して先方に送り届け尙ほ當市に就職希望者に對しては職員をして奔走せしめ求人者に其事情を述べ且つ罹災者に限り就職上の優先權を與へ常に北海道並に當地警察署員市吏員其他關係者と連絡を取り極力之が處置に斡旋せし結果相當の好果を得たり

二、附帶事業の狀況

所内にありては罹災者に對し收容者室は勿論應接室迄開放して寢室となし且つ常に宿泊所附屬食堂をも開放すると共に炊事係を數名増員し食事を無料給與し常に罹災者に不安の念を抱かざしめざる様留意し又罹災者中就職と共に市内に一家を設くる希望者に家具の大部分(疊、建具、寢具、鍋釜、食器等)を貸與せしもの三組あり(夫婦に子供六人計八人家族一組夫婦に子供二人計四人家族一組、婦人に小供二人計三人家族一組)又當地の知人に寄り生計を立てる目的を以て來函せしも知人は數年前當地を引拂ひ他に移轉行先不明となり居るを以て止を得ず仙臺の知人の下に行くべく本人の希望なるも旅費に窮せし爲め當所に於て該地迄の旅費を給與出發せしむ其他施行せし事項なし

三、求人、求職、就職者に顯はれたる著しき

關東大震災に於ける職業紹介成績

傾向

罹災者就職當時は避難當時の慘狀を想ひ從て何事にも餘り苦痛を感じざりしもの経過と共に第一貸銀の低廉なると又極寒に堪へ得ざる者多く爲めに漸次帝都復興の聲を聞くに及び歸京を志し永續の觀念に乏しき者多きを感ぜり、又求人者側においても元來當地の財界の大部分は年々樺太及沿海州方面の出漁に依り保持せらるゝも昨年は該方面の漁業至て不振の爲め各會社大商店等に於ても夫々事業の縮少を計りつゝある折柄なるも當時は避難者として單に同情の感に溢れ備使せしもの多く從て時日の経過と共に本人の意志態度の變化と共に遂には求人者に於ても本人の自由意志に任ずるの傾向を生ぜり

四、其他參考となる可き事項

一、函館市に於けると同様市内の周旋業者の手に寄らざる機努力せしも本道奥地に於て其の手に掛り遂に土工

夫等に入込悲慘を極め歸函宿泊を求むる者昨今往々あり

二、日傭労働者には勞金を貯蓄せしめ先づ第一に衣類の新調を爲さしめ充分の身仕度を備へたる上旅費を作らしめ夫々目的の地に出發せしむる方法を取れり

小樽市立職業紹介所

一、活動狀況

客年九月一日京濱地方を中心としたる大震災の悲報一度傳るや本道にも多數の避難者あるを豫想し、當所に於ては不取市内各種商工業組合其他の官公署會社銀行工場商店等へ求人勧誘狀を發すると同時に「罹災者に職を與へよ」の意味に於て新聞紙上を以て宣傳し或は所員自身出動し全力を擧げて晝夜兼行求人開拓調査を行ひ以て市民の義俠的救済を促したる結果所期に近き目的を達す

ることを得たり

抑本市の商取引は主として京濱を中心としたる關係上今回の大震災は實に晴天の霹靂にして其蒙る處の影響亦多大なるを免れず、重なる銀行會社等は其の大半本店を京濱に有し本店の破滅は延て支店を脅威し事業全く閑散休止の狀態に陥り商業經濟史上未曾有の打撃を蒙りたるは獨り本市のみならずも、多數實業家並に篤志家の深甚なる同情と義俠的精神の發露とに依り比較的多數の罹災者を紹介し得たり、而して紹介方法としては之を二段に分ち全然親戚知己なく漫然として避難せる者を前段とし然らざる者を後段として前段に屬する者は、直ちに指定無料宿泊所に收容して全部を就職せしむる事とし後段に屬する者は本人の出所を待ちて紹介をなしたり要するに當時は漸く悲觀すべき季節的失業の初期に入り需給圓滑ならず從つて罹災求職者の紹介上にも不影響を受け事業上にも多大の苦心と努力とを要し特に智識階級の罹災者にありては需要全く杜絶し今や將に嘆聲を

洩さんとするの悲境に遭遇したるも萬難を排して勇往邁進することを得たり

二、附帶事業の狀況

避難罹災者救護の目的にて市内小樽驛南小樽驛附近に罹災者無料宿泊所を指定し親戚知己なき者或は車中罹病者等を該所に收容して食事を與へ尙健康者と雖も一兩日間の休養を與へて職業の紹介をなし又罹病者には最寄の醫院にて無料加養せしめ健康に復したる後夫々職を與へて安定を圖りたり

る職業別は主として土工夫、藝娼妓、酌婦等のみにて一般の求職者取扱は次第に減少する傾向を示せり

四、震災後に於ける求人、求職、就職者に顯はれたる著しき傾向

爾來震災後の求職及就職者は財界の不振なるため一度紹介就職したる者は容易に自己の職業を捨つるが如き事なく著實に業務に就き居れり、而して求職中技術者は震災地方面の職業を希望するもの多し求人者に於ては著しき傾向を認めず

三、營利職業紹介業者の消長

爾來本道營利職業紹介事業に於て特に善良なる求職者を甘言を以て誘引し所謂監獄部屋等の者と如何はしき所へ紹介をなし、多大の利得を受け以て自己の利益を貪り居りたり然るに近來求職者に於ても自覺して公益職業紹介所を利用する傾向漸く多くなり、現時彼等の取扱に係

五、其他參考となるべき事項

當市は樺太方面を控へたる商港なるに依り同方面の木材及海産物等の商取引多きを以て之れ等の船舶出入多數なるより彼の地より求人申込及同方面の求職者も相當多けれども未だ該地方に職業紹介所設置なきに依り調査不能にて是が連絡上不便少からず、依て調査機關の設置を

希望す

川越市職業紹介所

一、活動狀況

九月一日突發せる關東地方大震災の最も激甚なりし京濱地方に接近せる當市も又相當災害を蒙り壓死者八名住家全潰二十戸土藏並住家非住家等の破損算なく頗る慘狀を呈せり同時に京濱地方の罹災者は陸續避難し來り市内に止まりしもの實に三千二百餘名に達し從て求職者も一時に増加し常態にありても求人極めて尠かりし當市は此災害の爲め主なる工場會社等の事業を休止せるもの多數にして紹介上一層の困難を來したり然れども本紹介所の機能を發揮するは此秋にありとし萬難を排し事に當り此薄俸なる罹災者に同情を求むべく求人口開拓の爲め宣傳ビラ五千枚を新聞紙挿入配布し且つ樞要の箇所に其趣旨を揭示し尙臨時職員を増加し直接工場會社商店等に就き

二、附帶事業の狀況

市内に避難せる罹災者救護に付無料宿泊を要するものは最初は縣共濟會指定の無料宿泊所に托すこととし日を追ふて増加せるに依り、特に之れが施設の必要を認め九月五日より市内劇場鶴川座の開放を受け市役所と協力し宿泊者には寢具及食料等を給與し専ら救護に當り其日數八日人員三百餘人其後は又共濟會指定の無料宿泊所に於て救護せり

三、營利紹介業者の消長

熊谷町職業紹介所

一、活動狀況

大正十二年九月一日、突如として大激震起り京濱を中心として近縣一帶災禍に遭ひ、未曾有の大慘狀を呈し爲めに當町の如き震災としては損害輕微なりしも、避難の通路に位置せる爲め、九月一日夕刻より避難者殺倒し來り、當町を通過して信越方面に赴くもの、或ひは緣故者なきも一時當町に避難せしもの、或ひは一時當町に止まりて親戚知己を尋ねる者等の爲め雜沓其の極に達し、之等避難者の當町に一時居所を定めたるもの實に二千五百を算し、夫々住所の定まると共に之等失職者に對し、就職せしむべきの急なるを思ひ、從來使用し來りたる當事務所へ更に階下一室を増し、臨時従業員一名を増加し求人開拓に努めたり

而して求職者ある毎に當所に於て設置せる揭示板に之れを揭示し求人口を精査し従業員之に出張して紹介せり

市内に於ける營利職業紹介業者は六名にして、内三名は主として酌婦雇女等の周旋をなし、他は醬油酒造等の職工を紹介せるも孰れも一ヶ月平均一名内外にして、震災前後に於て異なる事なし、斯の如く各營業者とも微々振はず到底此營業のみに依り生活し能はざるも、只從來繼續し來りたる關係上孰れも他の職業の傍ら従事し居る狀況なり

四、求人、求職、就職者に顯はれたる著しき傾向

職業紹介の機關が社會事業として極めて重要なるにも拘らず、一般に閑却せらるゝ憾ありしが偶然にも此大震災に遭遇し、曾ては更に其利用を思はざりし求人者にありても、當所の努力に共鳴し努めて採用の方針を採るに至り、又求職者中には此紹介所に依り職を求むるが如き、夢想だもなかりしもの多數ありしが、之等就職者の多くは紹介所の勞を多とし、重要な機關として迎へる傾向を呈せり

尙震災による傷病者に對しては、當町博愛會なる救護機關と連絡し醫療救護を行ひ、一時の急を救ひたり。斯くして漸次日を経るに従ひ再び京濱に赴く者、或は疲労回復の上親戚知己に頼るもの等漸く其數を減じ、殘れる者約千八百にして一日二名乃至五名の求職者ありたり。

前記の如き方法により、求人口の開拓に努めたるも震災の餘波を受け、當町に於ける商工業共殆んど休止の状態なりし爲め、一部の職業を除く外現在せる雇人も之れを解職するの狀態なりし爲め、紹介に困難を感じたるも求職者の約半數を就職せしめたり。

二、人事相談の狀況

當町に避難民殺倒し來るや人事相談所の必要を認め、職業紹介に併て之を開設し、専任職員を設けて之れに當らしめたり。

其の結果は兒童に關する問題及住宅に關する問題、又

は救護に關する問題等最も多く、之れが相談に努めたる結果可なりの成績を見るに至れり。

三、附帶事業の狀況

震災に因る附帶事業として、無料宿泊所を設置の計畫なりしも、當町に於て其の設備を完成宿泊せしめたるを以て、當所の經營としては宿泊所の設備なし、尙旅行者に對する旅費の貸與は總員十二名にして、此金額二十七圓九十四錢也。

四、營利紹介業者の消長

當町に於ける營利職業紹介業者は、藝娼妓酌婦其他酒造人の紹介に止まるを以て、當職業紹介所に於ける紹介とは内容を異にせる爲め、該業者に對し何等影響なきものと認む。

五、求人、求職、就職者に顯はれたる著しき傾向

震災後に於ける一般求人者は震災により失業者激増せ

るを以て殊に入選を旨とし、求職者は單に生活の安定を保ち得れば其職の如何を問はざるの傾向にあり、就職者にあつては震災により失業の結果生活難に逐はれつゝ、ありしに、直ちに就職し得る機關あるを以てか紹介により一度就職せるも同所に永續就業の觀念乏しく、亦他に轉ずるが如き傾向は震災後に於て殊に甚だしき現象なり。

前橋市職業紹介所

一、活動狀況

九月一日突如起れる大震動が不測の大被害を齎し、東西文化の粹を蒐めたる大東京をして全くの焦土と化し、悲絶慘絶の巷と變じたるを知るは實に當日午後十一時半なりき。翌二日所員一同は事極めて重大なるを察知し大體方針を定めて救護施設に當らんことを期し、直ちに一般求職者に對し可成遠慮せられ度旨申傳へ専ら罹災求職者の紹介に努むることとせり、翌三日所長は浦和町に

實情視察の爲め出張せり、而して實情は想像以上の重大事にして到底尋常の手段にては潮の如く流出する罹災者の救護不可能なること、及び救護施設の極致は物質的救護以上に速に職を與ふるにあることを察知し、即日隨所四日早朝市當局と謀り、市内四十二區長に對し罹災者救護の爲義侠的精神を以て求人申出てをせられ度旨、區内中産階級以上の毎戸に付調査申込方の斡旋を委嘱せり、之れ被害地と地方との産業的地理的關係並に最初に開通せる交通機關の關係等より避難民の多數流入すべきを豫想し豫て準備せる行動なり、越て九月十三日商業會議所各種同業組合等に同様の依頼をなし、一方十六日より本縣社會事業協會は協會の事業として、本所内に人事相談所を開設し複雑なる希望に對し適當なる解決と處置とを與へ紹介に努めたり、爾れども日々流入する罹災者は直接縁故關係をたどり避難せる爲め、區長の手元にて開拓せられたる求人口も漸く減少するに至れるより更に求人開拓委員二名を囑託し工場大商店等を歴訪し求人

開拓に努めたり

此の期間は申す迄もなく、當地方が横濱市と特殊關係にある爲め其打撃甚だしく、産業機關は凡て閉鎖の已むなき状態に在り其の影響は市況全般に及び銀行の休止と共に極度の悲況を齎し、紹介事業の困難名状すべからざる實情にあり、只だ各人の義侠的採用に訴ふる外途なかりしなり

尙九月四日夕刻よりは十月十五日まで、連日連夜本市救護團と共に前橋驛頭に出張所を設け求職者の便宜に供へ、殊に營利周旋業者の魔手に陥らざる様婦人求職者の爲めには特に注意を拂ひ、宿泊所並に紹介先まで救護團と聯絡の下に保護を加へたり

二、人事相談の状況

前述の如く本縣社會事業協會の施設として本所内に人事相談所を開設し、九月十六日より十月十五日まで一ヶ月間左の取扱をなせり

二三四

	男	女	計
一、児童保護に関する件	三	二	五
二、學生轉學に関する件	三	二	五
三、職業紹介に関する件	一五三	一八一	二七一
四、居住に関する件	五	二	七
五、施療に関する件 <small>(本所理事等の經營に於て)</small>	五	四	九
六、照會周旋に関する件	一六	一一	二七
七、其他一般生活に関する件	一一	二	一三
計	一九六	三二	二二七

三、附帶事業の状況

本所の特に施設せるものなきも、旅費食費の資與(專ら給與)せるもの一八件金三六圓五三にして、宿泊は前橋市救護團に於て取扱へり

四、營利職業紹介業者の消長

六、其他参考となるべき事項

職業紹介事業が發達に伴ひ、之れが機能發揮の爲め職業紹介顧問委員會設置の極めて必要なるを痛感せり、之れ求人探查を主たる目的とし失業調査の便益を得る上に極めて効果ありと思料し、本所に於ては目下計畫中なり

高崎市職業紹介所

一、活動状況

當所々員は罹災求職者頼に増加せるに依り、市内の重なる會社工場商店を戸別に訪問し相當なる求人口を得たるも、乍遺憾女子及少年にのみ多く甚だ敷當所の希望と相違せる結果を得たり

一面罹災者に對しては郷里を有するものは勉めて一度歸郷方を勸説したる結果事實好感を得たるもの、如し

五、震災後に於ける求人、求職、就職者に顯はれたる著しき傾向

營利業者の震災時活動せる着目點對照物は婦人及少年の罹災歸郷者なりしも、前述の如く驛頭に於て之れが魔手を避けしめたる爲め施すに由なく、寧ろ求職者の取扱に窮し本所へ宛て紹介方を顯出づるの奇觀を呈せり、尙平素に於ても營利業者の取扱は季節的労働者及戸内使用人にして他の紹介は極めて少し

- (1) 求人の上に顯はれたる傾向としては、婦人少年並に震災地復興に關係ある瓦製造工製材工等なり
- (2) 求職者は罹災地の文化を物語に足るべき活版工、製本工及料理人比較的多數にして店員、事務員等の多かりしは當然のこと、認めらる
- (3) 就職者は求人傾向に順じ尙商業等多數にして、工業方面之れに亞ぐ

二、人事相談の状況

當所としては別に人事相談を爲さざりしも、當市各宗寺院協會に於て専任事務員を設けて之が事業をなせり

三、附帯事業の状況

當所として取扱ひたることなし、但各宗協會に於て宿泊旅費貸與等の設備をなせり、今も尙ほ止むなき事情のものに限り貸與をなしつつあり

四、營利職業紹介業者の消長

當所としては未だ調査したることなきも高崎市警察署の調査に依れば、男子の求職者は其數震災前と相違なきも女子に於ては夫を亡くし若くは家族の滅亡等悲惨なる事情により止むなく甲、乙種の料理店に住込たるもの、昨年十二月迄は増したるも其後今春に至り舊態に復したるものゝ如しと

五、震災後に於ける求人、求職、就職者に顯

はれたる著しき傾向

求人に於ては俄に少年及女子の求人を増加し給料も少額にて雇備出來得るが如く考へられたるものゝ如く、求職者は依然として相當なる給料を望み且つ大都會生活と同じき待遇を望み、會社工場等の時間に規定ある職工口を望み商店雜役戸内使用人たるを好まざるもの多く、之が故に就職の歩合は不良なり、殊に數少き當市の諸會社工場の煙突は震災に因り其半より折れ休業の止むなきに至り、尙一面には財界關係に依り縮少せるもの等にして開拓の餘地なかりし

六、其他參考となる可き事項

高崎市各宗協會は市内廿一ヶ寺院住職に依り組織せられ、平常は釋放者保護教化事業を爲しつつありて會長副會長には當所理事就任し居り當所事務員亦釋放者保護主

主任に各々關連せるを以て、人事相談所の如きも求職者は當所へ同附紹介せるもの多し

伊勢崎町職業紹介所

一、活動状況

伊勢崎町役場其他各種團體と協力して鐵道驛前に天幕を張り避難者の救護に盡力し、尙群馬縣社會事業協會人事相談所を當職業紹介所内に設け之れと協力して轉學、職業紹介、住居、施療、照會等其他一般生活に關する件を取扱ひたり

二、附帯事業の状況

附帯事業としては別に該當すべきものなく宿泊、授産等に關しては佛教各宗協會の施設のものを利用し、旅費給與に關しては町役場にて施行せるものを利用したり

三、營利紹介業者の消長

營利職業紹介所は藝娼妓の周旋を主とせるもの乃至女中の周旋を主とせるもの以外は殆んど休業の有様なり

四、求人、求職に顯はれたる著しき傾向

求人としては子守、女中及び子供貰ひ受け度し等の者以外著しき増加無之、求職者は店員、事務員等の求職希望多く、就職者に於ては店員を第一として雜業之れに次ぐも、當地の如き纖維工業地に適する求職者なく従つて就職は頗る困難なりき

桐生積善會職業紹介所

一、活動状況

昨年の大震災に付ての當所の活動状況其他を記せんとするには、當所が桐生積善會の經營なる關係上其總ての

施設行動が本會積善會と關聯し居るを以て、只だ當所のみの状況を述ぶるは困難なるを以て此旨諒せられたし

大震災の突發せし當時にありては交通々信機關の殆んど全部が壊滅に歸せしため直に罹災地方の状況を知らざること能はざりしも、時間を経過すると共に異様の風體をなし疲勞憔悴したる避難民が散々伍々として來るを見ると共に、其の情報幾度か回を重ねるに至り京濱地方の被害は甚だ容易ならざるものあるを知り、本所に於ては所員協議の上此の大事變の際紹介所が單獨に行動するよりは宜敷く之れを本會に諮かり大々的活動を開始することの必要を認め、直に之れを本會に建議したるに本會に於ても急速に之れに應ずるの議を決し、疾風迅雷の勢を以つて總會を召集し大體の方針を議したるに滿場異議なく總ての準備を進むることとなり、先づ罹災者救護所として本會の經營に係る桐生市本町六丁目樹徳裁縫女學校を一時休校して同校舍を之れに充當することに決し、會員總掛りにて徹宵總ての準備設備を爲し五日早朝各員の

部署を定め内部を無料宿泊、職業紹介、人事相談の三部に分ち一面には市の諒解を求め桐生青年會、東毛立憲同志會、桐生在郷軍人會、桐生醫師會、本縣佛敎聯合會等の諸團體と緊密の聯繫を保ち桐生驛頭に臨時出張所を設け、其出張員に於て收容すべき必要ありと認めたるものは直に之れが收容を爲し、傷病者には桐生醫師會に通じて相當の手當を加へ、困窮したるものには金品の給與を爲し、人事の相談を爲すものには適當と認むる措置を採らしめ、通信せんとするものには所内に臨時出張されたる桐生郵便局員に通じ、之れが手續きを爲しめたる等種々の方面に最善の努力を拂ひ遺憾なからしめ、斯くして十有二日にして一と先づ第一事業を閉鎖し第二の施設に移つることとなりたり、其間取扱ひし事件数は第二次事業状況を記したる後に掲ぐるごとし

以下第二次の活動状況を述べんとす

上述せし如く震災後漸く時日の経過するに従ひ罹災地方面の秩序も稍整頓したるを以て、今次は本縣社會事業

協會桐生市役所と協同し第二の事業として罹災者人事相談所を設くることとなり、市内本町五丁目長福寺を開放して之れが事務所とし内部を人事相談と職業紹介の二部に分ち、一面には直接求人者を訪問し又多數の印刷物を市内一圓に配付し、市内の要所に大々的に掲示を爲したる等多大の努力をなし、爾來三十七日を繼續し罹災避難者の減じたるを見十月二十二日に至り此事業を閉鎖したり其第一次中に取扱ひたる人員左の如し

無料宿泊せしめたるもの	五百六十四人
職業の紹介をせしもの	四人
人事相談に應じたるもの	十五人
醫藥救護を爲したるもの	二十二名
金員を給與せしもの	十四人
二日以上滞在せしめたるもの	十四人
其第二次中に取扱ひたる件數左の如し	
無料宿泊	六十二件
求職	百五十三件

二、營利紹介業者の消長

營利職業紹介業者は昨年十二月末の調査によれば、其營業者數は十二名にして之れにより同月中に取扱ひたる件數は求人三十三、求職十六、就職十二にして、本年二月中の營業者矢張り同數にして其件數に於ては前者に比すれば幾分減少し居り其數求人十二、求職十三、就職十二を示し甚しく消長あるを認めず

職業紹介	六十一件
生 活	十九件
照 會 周 旋	四十五件
學 生 轉 學	十二件
戶 籍	十五件
居 住	七件
施 療	十一件

三、求人、求職に顯はれたる著しき傾向

求人、求職、就職者は其數に於て震災後毎月左表の如き數字を示し、爾後漸次減少し居り其傾向等に至ては何等異狀あるものを認めず

爲參考震災當月より本年二月までの各數字を掲記することゝす

月別	求人數		求職數		就職數		紹介件數		備考			
	男	女	男	女	男	女	男	女				
九 月	九八	六〇	一五八	一〇九	九一	一八	二六	七	三三	三九	九	四八
十 月	二八	一三	四一	六四	九	七三	一四	八	二二	二六	一一	三七
十一 月	三九	八	四七	二九	二	三一	一七	一	一七	二六	一	二七
十二 月	一三	五	一八	二三	一	二四	一四	一	一五	一九	一	二〇
十三年	一三	五	一八	一九	二	二一	二二	二	一四	一九	二	二一
計	二七	七	三四	二一	一	二二	一一	一	二二	二二	一	二三
計	二二八	九八	三二六	二六五	二四	二八九	九四	一九	一一三	一五一	二五	一七六

求人、求職の多きは開拓の結果、求職の多きは罹災者多數なるによる

九、十の兩月は求人者の開拓に非常の力を注ぎたりと雖も、當時は殊に機業の振はざりしたためと、京濱地方の取引の關係を有するものが皆な其得意を失ひしたために、就職率は非常に少數なり

水戸市職業紹介所

一、活動狀況

- (イ) 市内は従事員を特派して各戸を訪問せしめ、亦宣傳ピラを撒布した
- (ロ) 郡部は市長名を以て各郡長、各警察署長、各町村町

- (ハ) 長に對し書面を以て求人口の斡旋を依頼した
- (ニ) 水戸驛と交渉して無料で驛前に六尺四方、高さ一間の建札を同地域内に建て、斯業の趣旨を一般に周知せしめたり

- (ホ) 主として求人口開拓の爲宣傳ピラ五千枚を印刷して新聞紙に挿入配布したり

- (ヘ) 縣社會課の應援施設に係る土浦町、下館町の兩臨時職業紹介人事相談所と共同してポスター五千枚を管内重要な箇所に配布し且宣傳ピラ三萬枚を新聞紙に挿入して撒布し當所と連絡事務を開始したり

- (イ) 十一月より下館町紹介所を廢止して新に古河町に開設したり
- 以上の結果は何れが有效なりしかは具體的に明瞭ならざりしも市内巡回開拓が第一、次が宣傳ピラ、ポスター等が有效なりしことを推知し得る

- (イ) 就中當所が救済に困難を感じたりしは
- (イ) 重傷者の取扱 當所が罹災民救護に努力せし中て取

扱上非常に困難せしは重傷者の收容手當て更に此等設備のない當所としては一層の困難を感じたのである、先づ停車場の救護所より日々運ばる、怪我人、或は心身衰弱者にして全く自由を失ひたる重傷病者には出來得る丈の安静と醫藥、看護の手當は勿論彼等の多くは起居不自由なる爲大小便等の場合は一々使丁所員が背負つて用便せしめ食事は所内に於て重湯其他の流動物を調理し各自に適當なるものを與へたる等其他取扱上非常に手数を要したり、而して短日月に全治の見込あるものは當所に於て手當を施し長く手當を要するものは市費を以て市内の病院に入院治療せしめ全治後は郷里に歸さしめ或は就職せしめたり

又父兄の知れざる者に對しては市内の養育院に依頼して養育せしものあり、又養育中不圖両親の在所知れたるを以て引取らしめしものもあり其他當所は可及的救護に努力したり

(イ) 求職者配給に困難なりし事 地方一般の經濟界は震

災に依り急速に沈滞の状を呈し各商店、工場團體等は事業休止の状態となり災前の團體申込は瀕々として取消し來る、然るに求職者は日一日と増加し紹介上多大の困難を感じしも此間相當就職者を出したるは當所非常なる努力の結果なりき

二、人事相談の狀況

當所には人事相談所の施設なきも創業以來此等のもの相當ありたり、而して災後に於て此の必要を一層感じたるより應急施設として左の方法を實行せり

- (イ) 當所に避難した者の内、乳兒を救護所に一時收容したるも養育上不便を感じ更に之を茨城養育院に交渉して收容哺育を托せり
- (ロ) 東京府下南千住町停車場前センベイ商小林七五郎長女小林ひで(十六歳)と自稱し當所に收容したるも幾分低腦の方故同様養育院に收容したり、然るに昨年十一月不圖彼の郷里が千葉縣市原郡富山村大字古敷谷二、

六三五番地齊藤俊三郎三女齋藤りん(十六歳)なる事の手掛りを得たるを以て早速右村長宛照會せしに前記父及伯父兩名にて迎ひに來り引取り行きたり

- (ハ) 東京市本所區林町五十二番地井上藤吉(三十七歳)なる者元旋盤職工作中不圖鐵粉を目に入れたる爲兩眼失明し其後妻の勞務に依り細き煙りを上げ居りしが震災にて妻を失ひ長女八歳長男七歳次男五歳の四人連れにて長女に手を引かれ當所に來りたるも種々込み入りたる家庭其他の事情ありし故篤と相談に應じたり、又歸京旅費として金十圓を給與したり
- (ニ) 罹災者中兩親を失ひ頼る邊なき迷子を貰ひ受け養子にしたしと申したる人ありたるも割合に迷子はなかりき
- (ホ) 震災にて乳兒を失ひ乳張り困難せるを以て貰ひ子又は乳母に雇はれたき申出あり
- (ヘ) 東京府下尾久町一、〇九四番地洋服商高梨辰之助妻(内縁)吉村つなるもの夫が放蕩なる爲め種々夫に諫

言を加へしも更に改悛の情なきのみならず妻に對し亂暴を爲す等到底同居するに忍びず不得止二歳の女兒を背負ふて郷里なる那珂郡長倉村大字長倉五十七番地亡父傳兵衛方に歸省せしに亡父母の遺産は既に他人の手に渡り今更如何ともする能はず加るに親戚隣人の人々も更に同情せず、涙を以て郷里を立ち當市に來れるも懷中無一物となり進退谷まりたる由に付金五圓を給與して食事を爲さしめ而して所員使丁を特派して所々求人を探ねたるも兒あるの故を以て雇主なく其夜は無料宿泊所に宿泊せしめたり、然るに此事翌日の新聞に掲載されたれば太田町(久慈郡)驛前そば店石川亥之吉氏より電話あり、此可憐の女を引取り世話致度本人を遣はしくれとの事に付同人方へ就職せしめたり

三、附帶事業の狀況

(宿泊、授産、職業輔導、用具の貸與、旅費の貸與、賃金の立替、小資本貸與等)

當所には以上の施設經營なきも九月三日より當所及市役所樓上、弘道館、武徳殿の四ヶ所に臨時罹災者救護無料宿泊所を開設し市役所各係員は各團體の援助を得て晝夜炊出しを爲し、一々入浴せしめ且つ食糧品を配給し亦傷病者に對しては應急治療を爲し夫々手當を加へ一時の急を救ひたり

四、營利職業紹介業者の消長

又特別の事情を有する者には旅費を支給して郷里に歸省せしめ或は郡部に就職せんとするものには同じく旅費を給して之を救濟せり

救濟其他の事情は大體以上の如くなるも縣社會課長は特に縣屬を派して當所事務取扱に援助を與へられしは感謝の外なし

水戸警察署の調査に依れば其の管轄區域内には營利紹介業所の數は市内二十二軒、市外五軒、計二十七軒にして當所開設前の彼等は求人求職共相當多數にして從て收

入も之に伴ひ居りしが大正十年十月當所開設以來其公益事業なると宣傳其他の効果とに依り當所の門をくゞる者相踵て増加し常に應接紹介等に繁忙を極め居るに反し營利紹介業者は前記二十七軒にて一日僅かに十人位の紹介に止まるの狀態にして漸次衰滅せんとするの傾向にあるも元來所謂「桂庵」と稱せし古來よりの相當地盤を有する關係上其勢力侮るべからざるものあが如く而して彼等が此方面に力を注ぐと共に藝娼妓酌婦等の周旋に依りて多大の収入を得餘命を保ちつゝあるものと思料さる

五、震災後に於ける求人、求職、就職者に顯れたる著しき傾向

震災後に於ける求人は女中、小僧、徒弟、熟練工、子守、迷子を貰ひ受けたくもの或は同情の餘。臨時にても雇入れる等にして求職者は熟練工及不熟練工、餘り骨の折れざる労働希望者、頭腦労働者、産婆、子供連れの女、子供連れの男、老齡の男、不具者、就職者、老齡の男、

寺男、庭掃除、留守居番、或は小使等子供連れの男、子供連れの女等、不具者等は求人者の同情の餘り就職せしめしもの多し

以上は災前と雖も此れ等求人、求職等は相當に有りたるも多くは紹介不調となり就職者少なりしか、震災後は相當多數の就職者を示したるは此れ皆雇主同情の結晶に外ならずと思考せらる

六、其他参考となるべき事項

紹介所として尤も必要を感じたる事項
豫算中困窮者に給與すべき賄費、求人に開拓旅費の皆無なる事、宣傳費、困窮者給與費、従事員の手不足等に依り理想的の活動を爲し得ざりしも順次各團體の應援を得て幸に使命を全ふせり

次に紹介事業と共に人事相談所の必要は創設以來認むる所なりしが特に今回は其必要を感じたり。

字都宮市職業紹介所

一、活動狀況

本所は震災當時に於て罹災者を救護すべく字都宮驛前に臨時出張救護所を設け各種團體と協力し逐時殺倒し來たれる罹災避難者に食糧物品を給與し又寄る邊無き者に對しては無料宿泊の途を講ずる等一時的救護に努め更に他方に於ては罹災失業者に對する應急策として所員の戸別訪問宣傳ビラの配布其他の方法に依り極力求人口を開拓し之が紹介に努めたり

二、人事相談の狀況

本所に於て特に人事相談部を設けざるも震災に依る迷兒、棄兒に對しては相當の保護を加へ迷兒は之を保護者に引渡し棄兒は財團法人下野三樂園(育兒所)又は同情ある希望者に預けて之を保育し居れり

三、營利職業紹介業者の消長

從來營利紹介業者は一般的と部分的の二種に分かれ互に氣脈を通じて、求職者を取扱ひ居るも近時公益職業紹介所の發達に伴ひ營利紹介業者は漸次部分的となる傾向を示し來れり、隨て震災後に於ても多くは藝娼妓、酌婦又は旅館料理店等の女中の紹介を主とし一般的の紹介は自然其數を減じつゝあり

四、震災後に於ける求人者、求職、就職者に顯れたる著しき傾向

震災後の求人開拓に依り戸内使用人の求人口は只頼に増加したるも震災當時の求職者は總て浮動的にて落ち着かず、一旦就職するも數日を出でずして無斷退去するもの多く、殊に婦人求職者に最も其弊ありしを以て罹災求職者に對する求人側の信頼を失ふに至りしも、其後漸次之を恢復するに至れり

五、其他参考となるべき事項

震災當時は求職者の殺倒するを奇貨とし營利紹介業者(無免許紹介者を含む)が本所附近に徘徊し年少者又は婦人求職者を誘惑する傾向ありしを以て本所々員は特に注意を拂ひたり

足利市職業紹介所

一、活動狀況

關東大震災の罹災民にして本市へ避難せるもの頗る多數を算し、本所は此等失業者に對する職業紹介には全力を擧げ之れが紹介に努めたれども、求職者は大抵中年者又は智識階級にして一方求人側の大部分は女中と小僧のみを欲し智識階級の求人口皆無の状態にして殆んど手の下し様もなかりき、又労働者として紹介せんとするも労働に經驗なき不熟練労働者頗る多く爲めに職を與ふる

二、附帶事業の狀況

- (イ) 宿泊所としては市内篤志家の所有に係る二百人位收容し得らるゝ住宅を無償にて借受け、蒲團其他食器類は本所に於て貸與し、食料米及副食物は毎日午前中分與し、被服衣類等も有志寄附に因るものを相當に給與し遺憾なく救護の道を講じたり
- (ロ) 求職者にして就職口もなく又就職出来得ざるものに對しては旅費の一時救與をなし、或は鐵道驛へ交渉乗車證明書を發行し目的地へ歸郷せしめたるもの實に四

こと甚だ至難なりし、於茲本所は極力時局救済に處する爲めに特に求人開拓の要を認め青年團の應援を求め所員と共に極力開拓に勤めたり
本所九月中に取扱ひたる罹災求職者數竝に紹介件數左の如し

求職者數	紹介件數	就職者數
五六	五五	五〇

百五十名の多きに達したり

三、營利紹介業者の消長

營利職業紹介業者は毎年減少の傾向あり前年十名に比し現在は三名減少せり、是等は何れも業務閑暇收支償はず轉業するものと思料せらる

四、求人、求職者に顯はれたる著しき傾向

- (イ) 震災後に於ける求人者は大抵小僧と女中のみを希望す
是等は從來より希望せるも困難の處罹災者多數到來するを見込み雇入平易ならんと思考せるに因る、然るに罹災者は數回勧誘するも容易に應ぜず紹介困難なり
- (ロ) 一般に智識階級の求職者著しく増加せり
就職者は震災の影響に鑑み就職難を知り一旦就職せし以上は眞面目に勤務せんとする傾向あり

震災前に比し左の通り激増を示せり

求人者に於て(戸内使用人)	五倍
求職者に於て(工業)	四倍

濱松市職業紹介所

一、活動狀況

九月一日帝都大震災の報を聞くや同胸避難者の當地に入り込むを豫想し九月四日より求人口の大開拓を開始し市内を八區に區分し、會社工場は勿論各種の商店其他雇人を要する者を綿密に戸別訪問的開拓を開始し且求人開拓用ポスターを貼布したり。之れと同時に罹災求職者に對する職業紹介を開始し、其執務時間を延長して殆ど晝夜を差別せず之を取扱ひ専ら罹災求職者の紹介に任じ、且日々求人開拓を兼ね紹介就職者の現況を訪問、求人者との間に立ち極力其待遇の向上に努力し、時々驛前市救護所に出張其狀況を視察連絡を計り迅速に罹災求職者の

就職を計りたるため一般社會及求人求職兩者間に頗る好感を以て迎へられたり

行ひたるも他の事業を行はず

二、人事相談の狀況

驛構内プラットホームに（人事相談所）と大書せる導標を掲示し市社會課主任之に任じ専ら人事の相談をなし公衆の便を計れり、即ち求職のため迷ふもの、歸郷のため迷ふもの、知人の所在不明のため迷ふもの、捜索人不明のため迷ふ人、身の所置に窮する人、借家、職業に迷ふ人、本市に於て身を所するため迷ふ人等のために懇切に指導する所ありたり（職業紹介所とは電話を以て連絡せり）

四、營利職業紹介業者の消長

本市に於ける營利職業紹介業者は現在殆ど藝娼妓、酌婦のみの紹介に止まり往々女工、女中の周旋をなすのみにして男子の紹介は全く之を公益職業紹介所に委するに至れり、震災當時に於ては之等紹介業者は殆ど利用せられざるもの、如く、近來公益職業紹介所の繁忙と共に頗る小規模となり、最近に於ける狀況は之を以て職業となすの難きに至り、各々副業を營み、僅に其存在を保つる狀況なり

三、附帶事業の狀況

本問題に對しては主として市役所に於て關係吏員を増加して行はしめたるを以て詳細なる事項を知るを得ざるも宿泊、旅費の貸與等は止むを得ざるもの、爲には之を

五、其他参考となるべき事項

- (1) 平時、非常時を論ぜず職業紹介所網の連絡をして確實且迅速ならしむることの必要を痛感す
- (2) 求職者の身分（前職、前雇主其他求職票記載事項）をして最も迅速に實否を確むることの必要、

甲府市職業紹介所

一、活動狀況

事務員一名を増加し求人開拓に努力せる外特筆すべき事項なし

二、人事相談の狀況

特に人事相談をなしたる事例なきも求職申出の際懇談の上便宜の所置を執りたることあり、今其一例を擧ぐれば當市劇場にありし東京俳優數名震災に遭遇して進退谷より九月五日當所へ出頭求職申出ありしに依り當市役所社會係及甲府警察署と協議し社會係より旅費及食費を支給して歸郷せしめたり

三、求人、求職者に顯はれたる著しき傾向

求人は罹災求職者を嫌忌するの傾向を生ぜり即ち概

ね永勤の意志なく又は永勤の意志ある者も多くは舊主人より復歸を迫られて辭し去るに因る、而して當市に於ける雇傭者の待遇は京濱地方に比し劣れるものあるがため自然相互の融和を缺きたるが如き感あり

長野市職業紹介所

一、活動狀況

帝都大災の報傳はるや必然本市へも多數の避難者入り込むべく殊に東海道線汽車不通の影響として關西方面へ走る避難者も信越線を経て中央線に據らざるべからざる結果當地へは案外多數避難者あるべきを豫想し、之等避難者中の求職者には可及的職を與へんが爲め先づ左記方法により求人開拓に努力したり

- (1) 市内發行の新聞に求人歡迎の記事を掲載せしめたり
- (2) 九月五日宣傳ビラ一萬二千枚を新聞へ折込配布を爲したり

(3) 市内主要工場會社商店へ所員を派し求人口開拓に努めたり

(4) 市内要所々々へ罹災失職者に同情して雇入れられ度旨公告を爲したり

(5) 十月一日宣傳ビラ六千枚を新聞へ折込第二回の配布を爲したり

以上の方法により活動したる結果換期以上の多數求人口を得たるは誠に喜ぶべき事なるも其大半は求職者の少なき女中と少年者なりしを遺憾なりとす、仍つて求職者の尤も多き二十歳以上の男子に適合する求人口を得るが爲め市書記一名の臨時應援を得て特に所員の出勤時間を早め且つ退廳時間後夜間迄も各方面に出勤し需用者を戸別訪問をなし現況を述べ同情に訴へ極力適當なる求人口の開拓に努力したる結果相當効果を收め得たり

二、人事相談を爲したる狀況

なし、但し本市は人事相談は警察署に於て爲し居れ

三、附帶事業の狀況

市内に四ヶ所長野停車場に一ヶ所臨時無料宿泊所を設け避難者宿泊の便に供したり、之に宿泊したる延人員二百四十二名なり
其他の事業施設せず

四、營利職業紹介業者の消長

營利職業紹介業者は市内に十一名あるも藝娼妓紹介業者多く普通雇人の紹介を専門にするもの僅か二名あるのみなるが當紹介所設置以來日を逐ふて衰微に傾きつゝあるものゝ如し

五、震災後に於ける求人、求職、就職者に顯はれたる著しき傾向

震災後紹介所の活動は一般より必要缺くべからざる好

ゝ如し

松本市職業紹介所

一、活動狀況

震災後罹災失職者の爲め執務時間後特に夜間を利用し市内の多くの人夫を役する受負業者、工場主を訪問して求人の開拓に努めたり

二、附帶事業の狀況

當所附帶事業として簡易宿泊所の設備ありて震災當時罹災失職者にして當宿泊所に止宿する者多數あり、旅費に窮せる者の爲めには之れ又便宜を與へたり、

三、營利紹介業者の消長

當紹介所開始以來營利の雇人口入業者は其營業上多少の影響あるものゝ如く漸次不振となれる傾向あり

機關なるを認識せられ求人、求職者共に之を利用するもの漸次増加の傾向を呈しつゝあり、仍ち昨今の如く罹災求職者殆んどなきに至りたる本年一月及び二月の取扱数を昨年同月取扱数に比すれば左表の如くにして

種別	十二年		十三年	
	一月	二月	計	計
求人数	二六	七〇	九六	九〇
求職者数	一九	三九	五八	七〇
			六八	一三七

其數優に二倍以上を算するに至りたるによりて觀るも如何に一般より利用せらるゝの度濃厚になりたるかを窺ふに足るものと思料す

就職者に就ては給與の點に付時々不平の聲あるを聞くも之は震災當時の多數求職者は東京方面に於ける總ての賃金に比較するが故に少なきに失するが如く思ふものもあるも當地方に於ける賃金としては何れも相當額を給し居るものなり、然るに春暖漸く加はるに伴ひ多額の給與を得んと欲し、東京方面を志す者漸く増加せんとするもの

四、求人、求職者に顯はれたる著しき傾向

震災後財界遂に不況となれる結果求職者の大部分は狼狽の色あり、爲めに就職者永く其業に従事する者少くなり求人に就ては特記すべき傾向なし

上田市職業紹介所

一、活動状況

震災當時當地に關東地方より避難せる者の内親戚知己に寄寓のもの多くして全く寄邊なく、且つ求職者に適當の所なきものに對しては普通労働を勧め千曲川改修工事事務所に紹介し中には目的の就職地又は歸郷の爲め旅費に窮する者に對しては汽車賃を支給(市より支給)し一面には求人開拓の方法として商店工場等に對し専ら罹災者雇入方の勧誘を爲せしも求人開拓に就ては殆んど效を奏せず(婦人少年の求人のみにして適合するものなし)又小

規模の宿泊所を設備せしが就職の見込なきものは此處に足を停むるものなく僅かに二人を收容したるに過ぎず、此外來着早々饑餓に煩せるもの、救助に付ては特に紹介所として行はず市に於て握飯、湯茶の設備を爲したるのと二十日間に及べり

三、附帶事業の状況

宿泊所、旅費の貸與を行ひたること前第一項に記載の通り

四、營利職業紹介業者の消長

認むべき程の影響なし

仙臺市職業紹介所

一、活動状況

別紙罹災者收容所概況参照

二、人事相談の状況

紹介所員は縣社會課よりの應援者と共に一々個人的に接觸して人事相談に應じ求職者に對して極力就職口を求めて生活の安定を與へ、一方市内辯護士は日々順番に避難所に出張せられ、慰問の上身分に關する法律上の相談又は其他の問題に付きて無料相談に應じたり、又人事相談部は殊に婦人の爲めに重きを置きて盡碎せり

察するに震災後各列車に婦人誘拐者乗り込み居り、保護者又は堅實なる同伴者なき婦人又は意志薄弱なる少女等は仙臺に來る迄に大抵あるゆる奸手段に惑はれたるもの、如し、當仙臺に於ても監督嚴重なる罹災者收容所内に、毎夜數名の誘拐者の入り込みたる形跡あり、當所に於ては特に婦人係一名を増員して専ら婦人相談部事務にあたらしめ旅費を給すべきものには支給し親元に照會す可きものは之を照會し、或は信用ある家庭に奉公せしめ其他妊婦、病人、負傷者の如きものは大學病院を始め

市内の篤志醫院に依頼して全治せしめたり、然れば本人は勿論遠く親兄弟等より懇厚なる感謝狀を寄せられし者少なからず

三、附帶事業の状況

宿泊

元來當宿泊所の收容人員は二十五人なるも震災當時は五六十人位を宿泊せしめ篤志家の寄附に依り食費其他衣類を給與して慰問したり

授産

當時職業に困難せる罹災婦人のために市は震災救護善後會の附屬職業館を建設したれば當時は之と協力して和服裁縫、ミシン裁縫、毛絲編物等の無料教授をなし、又工賃仕事等も引受けて急場を救ひ罹災婦人の爲め大に裨益する處少なからざりき

職業輔導

從來の職業及其の職業の特長を審査し各個人的に輔導

したり、現に震災當時より繼續して其職に従事しつつあるものあり、是等は大抵最初二三回位の資金を以て行商をなさしめたるものにして現在に於ては五十圓乃至一百圓多きは百五十圓位貯蓄したるものあり

用具の貸與 なし
旅費の貸與

特志家の寄附金を貸與し又は物品を所有するものには擔保として之を預り置きたるも十中の八、九は殆んど返済を了したるものなし

小資本貸與

是れも篤志家の寄附金に依りて成り無利子無擔保を以て貸與しつつあり現在に於ては借用人は三十八名にして金額約四百圓に近し

四、營利職業紹介業者の消長

震災當時に於ては一時非常に衰微したるやの感ありしも現在に於て何れも相當に活動し居る傾向あり、營利紹介業者は市内に約三十餘名あり營利業者の従来の營業振りは單に求職者の來るを待つのみなりしも公設職業紹介所の設置後殊に震災後に在りては彼等は盛に他に出張して募集をなす等非常なる活動振を示しつつあり

五、震災後に於ける求人、求職、就職者に顯れたる著しき傾向

- (イ) 職員出張して親しく各家を訪問し求人口を開拓せし事にして第二は新聞廣告によりて求人口を募りし事
 - (ロ) 當所には從來より簡易食堂、安價宿泊所の設けありし爲め俄然不慮の天災にて其住居を失ひたる者には家庭の如き好感を抱かしめ得たり、勿論罹災者には無料にて宿泊せしめたるも如何せん日々の食費に窮せる者多く、然りとて一度宿泊を許可せし者中途より無下に退去せしむるも人情として忍び難く爲めに篤志家より夫れ等の人々の救護金品の寄贈を請ふなど少なからず其經營に困難を感じたり
- 震災の爲め急設したる婦人職業館は幸に幾多の婦人

を收容して生活の安定を與へ、人事相談部は積極的効果よりは寧ろ未知未見の異境に流浪し來りたる避難者の誘惑を排除することによりて効果ありしと認む

- (ハ) 震災後に於ける必死の要求に迫られたる職業紹介事業は職員の熱心なると又敏活なる活動と相俟つて著しき市民の注意を惹起したり、當紹介所は創立以來今回の如く當所存在の意義を世間に認められたること曾てなし、一面より考ふれば這般の天災は紹介所宣傳の爲めには偶然の好機會たりしことは見逃し難き事實なり、又職員も震災後の紹介事業に携はりて如何に社會奉仕の活精神を修得せしか蓋し計り知る可からざるものあり、而して一般人は社會の惡化を防ぐ一方策として是亦職業紹介事業の健全なる發達を希ふに至れる事實顯著なるものあるを認められたり

- (ニ) 罹災求職者の心理的特徴は第一動搖性を帯びたることとなり、辛ふして就職せしむるに至りて落付なく、或は震災地の復興形態など一度耳にすれば忽ち歸心矢の如

く生じて直に震災地に逆戻り、又は北海方面の經濟的好況を聞きては既得の職業を弊履の如く捨て、未得の業務に志ざせしもの多かりき

- (ホ) 初期に於ける罹災求職者は尙事に對し感恩の念濃厚なりしが漸次惡化し來り遂には當然の權利を要求するかの如き態度に出て特殊の恩誼を與ふるも感謝の念殆んどなきもの漸次其數を占むるに至りたり
- (ヘ) 殆んど無政府状態にありて自他の觀念さへ入り亂れ無秩序(假令數日とは云へ)に慣れたる罹災民には漸く道德觀念の情落を來たし避難地に來るも尙震災氣分を脱脚し兼ねて窃盜等を平氣になす現象さへあらはれたり
- (ト) 以上は罹災民の暗黒方面を批判せるものなれども、亦其の中には三百有餘年の努力の結晶とも云ふべき文化の一夜にして烏有に歸し、流石の帝都も忽ち焦土と化し去りたる諸行無常の慘狀を目撃し、又人生の華一朝の夢なるに目覺めて、灰身滅智の妙境に憧がれて之

を悟るものあり、或は無一物清浄の淨土に往生せんことを願ひ、又無心慈悲忍辱の化身とも稱すべき人格の所有者となりて自らの苦難窮乏をも打ち忘れ寄贈せられたる金品を同行の薄運者に分與せる者も少なからず見受けたり

(チ) 地方は比較的分業制度發達せず例へば箆笥工の如き先づ桐の材木を切り之を削り而して箆笥に仕上げ金具迄も打ちつけて始終一貫の勞を自らせざるべからず、然るに分業の發達せる都會地より避難し來りたる求職者は時計工と稱するも只専心時計の針のみを造るを知りて他を知らず、等しく蓄音器工なれども只其の一部の機械のみに詳しく其全體に通ぜざる等の爲めに就職に非常なる支障を來せり

(リ) 尙經濟的には罹災求職者多く入り込みし爲め労働者の過剰は延て労働賃金の低下を來し爲に意外の影響を受けたる者も少なからず

(ヌ) 打ち揃ひて來りし夫婦者又は家族等を分離せしめざ

れば就職せしめ得ざりし事

(ル) 夫に別れ剩へ手離し難き嬰兒等を携へたる婦人又は老人等來るも託兒所養老院等は設備十分ならざりし爲め支障を來したることも多かりき

(ヲ) 罹災求職者中臨月近き妊婦又は産後間もなき婦人等が其實働くこと出來ざるにも係らず事情上止むを得ずして敢て働かんと決心し、紹介所の門を叩く者のありしは悲惨なりき

(ワ) 婦人職業館を設けミシン裁縫、毛絲編物等の業を授け生活の安定を與へ無利子の資本貸出しを開始して職業を奨励せり。

(カ) 遠く震災地を離れたる當所には職員中震災の爲め負傷せる者勿論なかりしも震災後紹介事業の劇務の爲め職員一名は全く其の健康を害して遂に昨年十二月中永に眠せり之れ當所の拂ひし尊き犠牲の一なり

罹災避難者收容所概況
一、收容期日

自大正十二年九月四日
至大正十二年九月二十一日

一、收容場所

仙臺 座 自九月四日 午後
至九月十一日 午前
職業紹介所 自九月四日
至九月三十一日
市公會堂 自九月十一日
至九月二十一日

一、收容總人員

二千七百七十六人

内 譯

男 千四百七十七人
女 七百五十九人

右の内職業紹介所

四百二十一人 九月
六十四人 十月

收容所各係

一、案内係(屋外)
一、受付係

關東大震災に於ける職業紹介成績

一、洗足係

一、接待係

一、名簿係

一、慰問品受付係

一、慰問品分配係

一、傷病者係

一、炊事係

一、入浴係

一、人事相談係

一、治療部

一、理髮部

一、髮結所

一、人力車部

一、應援隊

東京方面より震災避難者陸續仙臺市に入り込み來るや仙臺市は逸速く驛前に救護所を設け治療に食品供與に衣類分配に人事相談に萬端遺漏なく最善とするところを勉

めしが更に仙臺座に罹災者收容所を起し一度救護所に於て世話せられたるも尙疲労又は病氣の爲め滞在せしめて保護す可き必要ある者又は仙臺市より他へ避難する意志無き者等を收容して救護の徹底を期したり

屋外案内者は驛前救護所より仙臺座に至る間罹災者を案内し荷物は勿論歩行し得ざる幼老病者を背負ひて勞はり難て仙臺座に着すれば幾多の場内接待員男女各々手分けして此等の人々を迎へ座蒲團を與へ定め席につかむに座席の定まるを待つて市吏員懇ろに罹災地の住所姓名行先本人の要求希望等を尋ね之を收容所人名簿に記載し治療を要する病者は設の醫療部に案内して三日以内に回復する見込の者は收容所内の病室に留め一週間を要する者は内科は伊藤幾三郎氏に外科は元寺小路加藤病院に送り十日以上の患者は東北帝國大學醫學部附屬病院に依頼することせり、尙入院患者の入院中に要する小賣其他衣類雜品は收容所婦人係並に治療係員隔日に訪問して給與せり一方身體に異状なき者には直に入浴を勧め終

れば炊事係は食堂に導き毎回焚きたての御飯に仙臺味噌汁新鮮なる漬物等にて待遇したれば避難者は幾日間ぶりにて此の如き食事をなし得たりとて涙を流して感謝する者さへ少なからざりき

食事後は新聞係は在仙各新聞社より寄贈せられたる幾百枚の新聞を配布し衣類分配係は人々の年齢に相等したる衣類を與へ小供等には繪本、玩具、菓子等に至るまで用意し與へたり

仙臺市職業紹介所員は縣社會課よりの應援者と共に一個人的に接觸して人事相談に應じ又求職者には極力就職口を求めて生活の安定を與へたり

理髮部にては毎夜午後十時より十二時まで一日の業務を果たされたる理髮組合員數名交代にて出張せられ避難者の蓬々たる髪を整なはしめ罹災婦人には又婦人髮結組合より同様交代にて數名の婦人髮結出張せられ本人の希望に應じて髪を結へり

尙老人又は特別疲勞せる罹災者の爲めには縣立盲啞學

校長は毎夜七八名の生徒を晴雨に係らず引率し來り之等の人々を按腹して慰勞せられたり

疲勞の極度に達せる罹災者には安眠が又何によりの慰安なれば蒲團係は何時にも眠り得る様寢具を渡し置くを常としたれば「一週間ふりにて足を樂々延ばして蒲團の上に寝ることが出來ます」と感謝して眠る者も見受けたり

收容所開設以來宮城縣知事仙臺市長を始め縣市要路の人々は常に多忙なるにも係らず、見舞の爲め來訪せられ罹災者を慰安する所あり、其他佛教聯合會又は東三番丁本願寺、仙臺基督教各團體より有益なる法話説教挨拶等ありたりしが場内の罹災者は悉く多大の感激を以て聽聞しては美はしき夢路に入る

明くれば宿泊休養せる罹災者は復活せるが如き元氣に充たされ、或者は早朝に出發し、仙臺に滞在して生活を營まんとする者は總て第二收容所として定めたる職業紹介所に送り、紹介所は仙臺座同様無料にて宿泊せしめ食

料をも給與して就職せしむる迄百方に手を盡して努力せり、而して毎朝紹介所に送らるゝ求職者は少くも十名多き時は三四十名に達したり

第一收容所にあてたる仙臺座は座主龜和田氏期限を延長して同座を使用するも更に差支なき旨義侠的にも申出でられたるも市としては興業を中止せしめて迄も其厚意に浴し難きを思ひ九月十一日午後急遽市公會堂に收容所を移轉することとし同所に入浴場を始め萬端の設備を唐突の間に完備せしめたり

仙臺座收容所はステーションより程近かりしかば差したることなかりしが市公會堂は遠距離なれば病者は勿論歩行叶はず、婦人は稍もすれば途中誘拐せらるゝ危険あれば之れが保護上一日四回自働車を往復せしめて罹災者の送迎をなせり

九月二十一日罹災避難者漸次減少し來りて市職業紹介所に於て十分收容し得るを以て收容事業は一時茲に打ち切り以後は職業紹介所にて一切の世話をなすこととなれ

り

各部係員として應援せられたる團體又は個人は平素に於ては容易に見ることを得ざる獻身犠牲の精神を發揮して奮闘せられたり、之れと同時に市吏員の一致協力最善を盡して事にあたり幾多の感謝狀を收容者より受けたり

盛岡市職業紹介所

一、活動狀況

關東方面大震災の直後に於ける本所(當時職業相談所)の活動は市役所内社會係員其他八名と協力して救済事務に握掌し九月三日より盛岡驛構内に本所臨時出張所を設け罹災民第一宿泊所を驛前杉本旅館内に第二宿泊所を市有公會社社館に設け係員交代徹宵にて罹災民の救済慰安に努力したり

九月三日より同二十五日迄の期間内に本所驛構内出張所に於て取扱ひたる求職者男女總數一〇二名にして其内

就職者は男四一名、女六名を算したり、尙上記の外大正十二年十二月末迄の罹災者の就職者數は二十八名に及び

二、人事相談の狀況

罹災者の人事相談は概して系統的に明記し難きも震災に依りて孤兒寡婦と成れるもの、漠然たる知己を頼りて當市に来れるもの五六名に達し夫々慈惠的に居住及職業を紹介したれ共其後の行蹟孰れも思はしからず、恐くは震災前に於ける不良者が罹災民に籍口して詐瞞せるものと思はる

三、附帶事業の狀況

附帶事業中宿泊設備に關しては第一項に記述せるが如く第一宿泊所は九月三日より同十五日迄(概して一泊程度のもの)第二宿泊所は九月三日より十月末日迄(概して二三泊程度のもの)一般罹災民の爲めに開設し彼等に

對し米鹽を給與し近距離内に於ける郷里歸還者に對しては乗車賃を給與したるもの多數なり
職業輔導、賃金立替、小資本貸與等に關しては特記すべきものなし

四、營利職業紹介業者の消長

震災後に於ける營利職業紹介業者の消長は概して震災前と大差無きが如く同業者數十三なるが一般に經濟界不振の爲め求人、求職の兩者とも相游離し紹介業者は漸次轉業の傾向あり、東京よりの罹災避難者中營利紹介業者の手によりて藝妓となれるもの二名あれ共現在にては二名とも東京に歸還したり

五、震災後に於ける求人、求職、就職者に顯

はれたる著しき傾向

大正十二年七月本所開設當月に於ける求人數一七一、求職數一一九、就職者數五一に對し震災當月の求人數九

關東大震災に於ける職業紹介成績

五、求職數一二五、就職者數五七を示し尙ほ最近大正十三年二月に於ける求人數一〇〇、求職數九一、就職者數一七を呈し漸次就職者數の減少を見たるが右の現象は(一)一般に商況の不振なること(二)職業紹介所の設立に依り勞務需供關係が自然調節を得たること(三)最近に於ける求職者の素質が一般に底下したる事等に起因するが如し

六、其他參考となるべき事項

一般的に概観すれば本所に申込みをなす求人は未だ主従關係を基調とせる舊式温情主義の範圍を脱せず求職者の多くは又勞働意志稀薄生存意力薄弱にして茫漠たるもの多く眞の意味に於ける「アンインプロイメント」は求職者總數の約三割に過ぎず
本所現在に於ける事業は事務的職業紹介よりも概して感化救済の方面に努力すべき事多きが如し

鶴岡町職業紹介所

一、活動状況

當職業紹介所單獨に活動せざるも町當局者及當所員其他青年團員等連日鶴岡驛に出張して罹災避難者の救護慰問等に任じ一々人力車を提供して其の行先に送らしむる等出來得る限りの厚意を表し一面來訪求職者には夫々就職口の紹介に勉めたり

臨時職業紹介所の活動状況

神奈川県 臨時横須賀職業紹介所

一、活動状況

當所は震災に依る失業者に職業紹介の目的を以て大正十二年十一月三日設立し、同年十一月十日横須賀海軍工廠にて軍縮整理の結果一千七百三十名の解傭職工を生じため東京地方職業紹介事務局の指揮の下に臨時聯合職業紹介所を設立、罹災者は勿論海軍解傭職工の職業紹介に努めたり、當所職員は協力一致、大いに求人開拓を行ひ、各工場商店へ就職せしめたる數二百名以上に達す最近に到り三浦郡長井村漁村より多くの失業者ある旨通知に接し直に、當所の職員出張調査せしに漁民は震災當時海嘯のため漁船の多くを流失し失業者となりしもの

關東大震災に於ける職業紹介成績

二、人事相談の状況

當所にては昨年十一月三日紹介所開設と同時に隣保施設として人事無料相談所を設置せしに顧問辯護士の許へ紹介したる數八十名に達し現在にても日々二三名位宛の相談を受けつゝあり

三、附帶事業の状況

妊産婦保護、乳兒保護施設として二ヶ所の巡迴助産婦班を組織し(職員は一ヶ所四名)本月迄取扱たる妊婦の數は二班を通じて百八十名に達し其多くは罹災者なり
兒童保育の目的を以て本年一月十日託兒所を開設せり

收容兒童現在數六十名以上に達し近く定員一百名を超過する豫定なり

福利増進施設として簡易市場を二月十日設立せしが未だ日淺くして報告材料なし

簡易浴場、無料宿泊所、簡易食堂、授産所、小住宅等近く建設の豫定なり

四、營利紹介業者の消長

横須賀市には營利職業紹介業者一、二名あれども認むるにたらず

神奈川縣 臨時 浦賀職業紹介所

一、活動狀況

當職業紹介所は大正十二年十一月一日を以て開始せられ、爾來本機關設置に付洽く地方人士に周知せしむべくポスターの配付、要所の掲示等之れが宣傳に努め尙ほ地

方區長を訪問し本事業の要旨を陳べ當紹介所を有意義に利用せられんことを懇談し、一面求人の開拓に關しては殆ど戸別訪問に最善の宣傳を試み漸くにして斯業の存在を認めらるゝに至りたりしも、當地は人の知る如く會社、工場等の勞役者の集團所と目すべきもの獨り浦賀船渠株式會社ある而已なれば、隨て同社従業員の去就に就き極めて最善の注意を拂ひ、機宜を失せざらんことに努めつゝ、あり、其他一般地方に於ける求人開拓も始終奔走努力するは勿論、求職者の狀況等も之を考慮し又地方民の集合する機會には求めて其席に列し本事業をして町民の期待に副はしめんことを期しつゝありと雖も前章陳ぶるが如く浦賀船渠株式會社の外寥々たる商店及び微々たる會社、漁業家あるのみなれば、隨て之に要する使用人の如きも擧げて數ふべき程度のものに非ず、斯くて其得たる求人の主なるものを列舉せば大工、左官、小店員、俵婢、事務員等にして其他は殆んど問題とならず、故を以て求人開拓も著しき効果を奏するを得ざりしは自然の結果

なりと思料せらる

而して浦賀船渠株式會社は過ぐる一月初旬より職工五百名の募集に着手し遠く長崎、佐世保、吳、鳥羽地方より約四百名の應募者を見たるも爾來該應募者中往々にして職を他に求めんとするの傾向にありて當所を訪れたる數又尠ならず今彼等の曰ふ所を聞くに會社に於ける賃金の低廉、住宅、下宿の不完備其他種々待遇上の不平を叫び全く募集の爲め出張せる社員の甘言を信じ茲に及びたるものにして到底勤続し能はざれば他に相當の職を與へよとの希望なりしも會社は震災後漸次工場の復舊を圖り着々事業の進捗を企て今や職工増員の必要迫り尠ながらざる資を投じ遠く數百哩の外に募集し來りたるものなれば徒らに應募職工等の言に依り之を左右すべきものにあらざるや論を俟たず茲に於てか當所は彼等に對し若し純然たる失職者にして職を求むるものなれば當所は最善の方法を講じ相當の職を與ふるに吝ならざれども苟も募に應じ就職せしものに對し直ちに之れを他に轉稼せしむる

が如きは當の得たるものにあらず宜しく慎重の態度を持し誠意に服しなば會社も又見るべきなきにあらざらん假りに其の言ふ如くにして應募當時の約束と違背の點ありとせんか募集の爲出張せられたる社員の歸省を待ち徐ろに事の始終を談しなば自から事理明瞭し立ち所に解決を見るべきものなれば必ず輕舉に出づるが如きことなき様特に注意したり

當所は今次浦賀船渠株式會社募集に係る職工諸氏に對し、今直ちに他に之れが紹介をなす事至難なりと諄々轉職の不心得を諭したるに彼等は其の旨を諒し爾來轉職を申出るもの殆んど稀なり、其後彼等の行動を見るに其の一部は横須賀、横濱、東京等の各紹介所を介し就職せしもの尠なからざる狀況にあり、過る二月二十九日出張社員の歸社後口頭或は文書を以て種々要求をなすもの多かりしも會社も之が妥協に努め、協定の上月五日頃特に電工鍊鐵工の一部に臨時昇給をなし、尙從來久しきに亘り昇給獎勵の企てなかりしが自今年四回(一回に約五百名)

抜擢昇給をなすことを聲明せりと以上の如くにして暫く沸騰の状態にありし浦賀船渠株式會社も目下殆んど静穩に歸したるものゝ如し

二、求人、求職者に顯はれたる著しき傾向

震災後求人著しきものを舉れば

大工、左官、小店員、僕婢、金屬工業、機械器具等を主とし

求職者の主なるものは

大工、左官、金屬工業、機械器具、事務員、外交員、集金人等とす

神奈川県 時平塚職業紹介所

一、活動狀況

震災の後を善くし、多數の罹災民を安定に導くべき施

にして私營の口入屋を知りて公營の紹介所を知らず又一人の來つて之れを問はんとするものなし即ち本業利用の思想微温なること呆るゝの外なく緊張せる職員氣力は爲めに屢々沮喪を免がれ難き實狀にあり茲に於て乎當所は絶大の奮發を以て此難關に抗せんとし同月三日より出て、戸別宣傳を開始し一面群衆の場所を目指して事に託し之れが利用の思想を啓發するに勉めしこと一週日而かも一の求人者なく一の求職者なく至極閑散の如くして實は頗る苦戰を續け斯くて不味の中に同月初旬を經過せり中旬に入りて漸く辻張廣告到り宣傳ピラ次で到りたれば附近町村に亘つて一齊に之れを散付したるを以て辛ふじて一般坊間より本業の存在を認められ弗々求人、求職の申込を受くるに至れるも當時求職者の殆んど全部は罹災失業なるに拘らず求人ハ女中、小僧の雇口にて其懸隔は到底需給の調節を保つに由なく隨て紹介の實績は毫も擧がることなく日々狂奔する求人の開拓にありても收むるものなく苦慮愈々深きを加へ併して僅少の數字は何

設は頗る多くして、而かも何れとして急を告げざる者なき中に特に喫緊とるは失業救済を以て最となす、即ち當時上司官廳が罹災地市町村に對して極力職業紹介所の設立を督勵したる所以にして本縣又之れに順應し十月十日假設廳舎前に臨時職業紹介所を特設し職員八名を充てて不眠不休の努力を以て罹災者の職業紹介に任じたり、然るに同月下旬に至り横濱市内に於ける罹災職業紹介所たる横濱市中央職業紹介所其他の復舊せるに及び、地方に四散せる罹災者の職業紹介を以て急務と認め十月末に於ける取扱事項の未決に屬するものは總て之れを横濱市中央職業紹介所に引續ぎ臨時職業紹介所の職員を六分して縣下の郡市に六個の臨時職業紹介所を新設することとなり、十一月一日を以て一齊に紹介事務を開始せり、當所は即ち其一として設置したるものなり

十一月一日事務を開始せり、然れども準備不整にしてポスターなく引札なく看板一枚の外は何等開業を公表するの具となるものなし搦て加へて地方民は尙見同狹小

等の變化を呈せずして中旬を過ぎ下旬に入れり

既にして保土ヶ谷、小山等の請負業者より幾分纏れる日雇人夫の求人ありて日々當所に出頭せる罹災失業者を之れに向け得るに至れるを以て始めて需給の途に緩和を加へ爾來平調の現狀を持續しつゝ、現在に及びたり

以上の概況は敢て誇るに足らずと雖ども臨機施設の箇所としては又失業保護の一端に相當加功せしものあるべきを覺ゆ若し夫れ先進紹介所の如く偉大の數字を示さざるは事情に徴して大方の寛恕を求むるの外なし

二、求人、求職者に顯はれたる著しき傾向

當所は震災後の新設に係るものなれば特に震災前に比して記述すべき事項なしと雖ども既往現在を通じて求人者、求職者共一般に好感を以て之れを利用するに至り隨て各々安意して紹介の願末に嚮望するの傾向あるは顯著なる事實なり

神奈川縣 臨時 保土ヶ谷職業紹介所

一、活動狀況

當保土ヶ谷職業紹介所は主任一名、助手一名を以て其衝に當り普通紹介並に労働紹介に努め時間の如きも午前八時より午後七時に至る迄孜孜として其能率増進を圖れり特に宣傳方法に至りては各小學校の生徒並に活動寫真館聽衆等に對し紹介所利用の宣傳を試み或は又多數人の集合する各種の會合に臨み種々の機會を執へて宣傳大に努むると同時に日々多數人使役の見込ある會社、商店等を訪問し、直接求人の開拓を爲しつゝ目下一日日備労働を合して紹介數三十名を下らず、尙ほ漸次増加の傾向にある

二、附帶事業の狀況

附帶事業としては職業補導所を神奈川縣立工業學校に

設け大工、鋳力、建具職の速成講習を開始し大工百名、鋳力職五十名、建具職五十名等目下合計二百名の生徒を養成しつゝあり、而して器具は貸與品を用ひ居れり

三、營利紹介業者の消長

營利職業紹介所は震災後公營職業紹介所の活動の爲め殆んど壓倒され恰かも氣息喘々たるの狀態に在り而して震後其復舊程度は震前の一割位なり

神奈川縣 臨時 鶴見職業紹介所

一、活動狀況

當所は災後本縣臨時社會施設の一として昨年十一月一日より開かれたのである
前日事務所に充つ可き天幕を潮見橋畔に張り翌一日午前九時より開所、即日求人、求職の申込を受付けた
雨の日も風の日も日曜祭日無しで二人の職員（所長及

助手）は交互に或は町内視察、工場訪問或は宣傳ビラ掲示、求人開拓等に奔走し、時には川崎又は神奈川方面にも出張した、殊に縣下の各紹介所とは出張、連絡日報交換、入込調査、求人開拓等に依つてよく提携したのである

かくて十一月二十五日に新事務所に移るに及び益々一般に認められ附近の諸會社は其職工募集等を自發的に當所に申込んだ

一方求職者に對しては親切叮嚀を旨として過去を聞き未來を示し出来る限りの便宜を計つた、特に小學校生徒をして「散しビラ」を散布せしめ自轉車を利用して大いに宣傳をなすと同時に實地活動の敏捷を期して居る

二、人事相談の狀況

職業紹介は性質として半ば人事相談を含むものではあるが當所に於て特殊の人事相談を扱つたのは二件であつて其事柄は次の如くである

一は家屋賃貸借に關する問題である

潮田町に病める娘と共に煙草小賣業を営む婦人があつた、彼女の借家は抵當に入つて居たのであるが震災に依つて倒潰した、そこで彼女は其材料を用ひてバラックを建て従來通り家賃を拂て營業を繼續した

然るに家主は彼等に立退を命じ若し移轉出來なければ買取れと云ふのであつた此處に於て彼女は如何にすべきであらうか若し抵當權の履行する可き家賃を購入する時は如何なる結果を招來するであろうかと云ふのであつた當所に於ては詳細に事情を聞き取りそれが餘りに法律的な問題であつたので知人の經營による人事相談所に斡旋を依頼した結果彼女は結局其家賃を買取る事によつて無事解決した

一は戸籍手續に關する件である

失業中の一職工二十年前に戸主たる父を失ひたる儘相續届を怠り居たるところ今回女兒を擧げたるに就き自分の相續届並びに庶子届（勿論彼の妻は内縁であつた）を如

何にす可きかと云ふのであつた

當所に於ては直ちに當町役場戸籍吏に問合せ彼の爲に原籍地戸籍役場に對し彼の戸籍手續を完了したのである

三、營利職業紹介業者の消長

當町には一二の飲食店雇人又は戸内使用人の口入業者あるも全く振はない

四、震災後に於ける求人、求職、就職者に顯はれたる著しき傾向

震災後は年少求職者の多數ならんことを豫想して女中、子守、小店員等の申込多數あり、尙一時附近工場より職工募集ありたるも今や漸く復舊して熟練工の求人少なし

求職者としては一定の技能と強壯なる身體とを有せざる小賣商人又は店員及び工場の倒潰又は閉鎖による失業職工等の求職するもの尙多數ある

結局小賣資金を得るため又は工場の復活を待つために雑役夫として就職するものが多き状態である

沼津市臨時職業紹介所

一、活動狀況

大正十二年九月一日古今未曾有の大震災に際し當市は逸早く沼津驛頭に間口三間奥行四間の天幕五張を設け内二個を寢所二個は罹災者休憩室とし残り一個を事務所及醫師診療所、乗車券交付所に充て九月三日より陸續として避難し來たる者に對しては夫々食料或は被服金銭等を給與し市内同敵會、其他に無料宿泊所を設け茲に宿泊せしめ罹災者の旅途の慰安に力めたり

二、人事相談の狀況

人事相談所の開設は十月一日よりにして罹災者中職を失ひたる數多の人々は一身上の事或は就職につきての相

談をなし來たり、當所に於ては旅人宿を指定し貧困者に對しては無料宿泊券を交付し又旅費缺乏者に對しては相當汽車賃を支給し一日も早く其の目的地に達せしむる機努力したり

三、求人、求職者に顯はれたる著しき傾向

震災後に於ける求人、求職、就職者は別表の通りにして求人者よりも求職者の多きは遺憾とするところなり

四、其他参考となるべき事項

一、方面委員設置

客年十一月迄は方面委員三名なりしも本市は四名に増員せられ避難者に對する救助方法を完全ならしむ

二、避難者にして特に貧困と認むる者に對しては本縣及學用品配給したる數量

品名	数量	品名	数量
モノ	100	鉛筆	100
サシ	100	消し	100
紙	100	半紙	100
帳	100	筆	100
簿	100	ナイ	100
打	100	筆入	100
冊	100	硯石	100
本	100	草紙	100
箱	100	繪具	100
筒	100	鉛筆	100
袋	100	カバ	100
紙	100	紙鉄	100
筆	100	コンタ	100
刷	100	パン	100
墨	100	列紙	100
汁	100	紙	100
ソ	100	紙	100
ロ	100	紙	100
中	100	紙	100
央	100	紙	100
上	100	紙	100
半	100	紙	100
日	100	紙	100

市當局に於ては 皇太子殿下御成婚祝賀の意として救恤米を支給せり

三、沼津市醫師會に於ては罹災貧困病弱者に對し無料治療券を交付し一般治療をなす

治療なしたる數左記の通り

治療者數

年齢範圍

治療期間

自九月三日

至十三年三月八日

救恤米を配給したる數

配給人員數

配給石數

金額

110

四石

110,000

被服を配給したる數

被服配給人員

男 女 別

九七

男 四〇

女 五七

食料金銭給與

施與人員

金額

13,812

2,905,240

給與期間

自九月三日

至九月三十日

沼津臨時職業紹介所取扱求人者数一覽表

月別	求人者数		職業別											
	計	別	店員	女中	職工	器具師	マンシュー	漁業	使丁	土工	農業	人夫	自動車運転手	
大正十二年	一四	一〇	二	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一	
十一月	一一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
十二月	四	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
同十三年	一八	一三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
一月	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
二月	一〇五	九	五	四	三	二	一	一	一	一	一	一	一	
合計	一一五	一〇	一八	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	

沼津臨時職業紹介所取扱求職者数一覽表

東京市築地本願寺職業紹介所

我が築地本願寺職業紹介所は十一月十五日彼の三萬有

餘の死者を出せる本所被服廠跡に開始した。之より先、九月二十日舊正門入口に大天幕を張り救護班として人事相談、施薬、代筆、配給等震災直後最も必

要とした事業を開始した

就中配給と人事相談とは最も一般罹災者に便宜を與へたことと思ふ

空前の大震災として其悲惨も又實に之を語る可き言葉なく、又形容すべき文字なき程であつた、殊に幾多悲惨中最も悲惨を極めしは此被服廠の跡であつた、死者三萬二千それだけでも慄然たるものがあるではないか

三萬二千餘の白骨は累々として彼方中央に山をなし香煙縹々として黄昏の空に白く細く流れて徐ろにその日の悲惨さを思はせる、更に北隅丁余の茶屋の跡より余煙鳥邊山の煙の如くたちさまようも又人のかんげせを覆ふ親を尋ねる子、子を捜す親、友を索す人、親しき人の死骸を尋ねまはる人、さういふ人々は其當時は警察や區役所などが未だ何等の施設をして居ない爲め逸迅く設けた當人事相談所に押し寄せて来た、七名の大學生と三名の女學生と共に私達は斯ういふ人々の相談相手となつて來ました、僅ばかりの掘り出し物にも形ばかりの焼け

残りたる衣類にも、小さき幼子の名札にも幾百人の人が忽ち狂人の如く群がり集つて、生死を案じ行先を探すなど、今思出すだに涙の種である

九月の末十月初めになるも尙死體の收容は終らなかつた、崩壊した家の下から周圍の溝の中から腐つた屍體や切断された人間の首や手足が幾度か北隅の臨時火葬場に運ばれた、七八人の家族中たゞ一人生き残れる人の悲痛な訴へ、旋風に捲き上げられて九死に一生を得た青年の實話などたゞ夢の如し

親も妻も子も被服廠で焼死して只一人生き残つた中年の男があつた、彼は夢の如き地上の悲劇に悲歎の餘り毎夜僅かに酒に慰を求め、千鳥足して泣き乍ら念佛もろとも詣て來るのであつた、また或る日、或る男が半狂亂の如く相談所へ駆込んで來て救を求めて泣いた、彼は親子四人の内たゞ一人生き残つたのであると訴へた、彼は多くの人達に慰められて漸くに誰れのものとも判らぬ白骨を貰ひ、泣き乍ら何處ともなく歸るのであつた、彼は其の

妻と愛兒との爲め懇ろに之を弔ふたのであらう、小さき白骨の箱を抱て幾夜か泣いたことであらう、數日を経て彼は再び人事相談所へ來た、打沈んで居た彼の顔はいつしか晴れやかに輝いて居つた、どことなく元氣が溢れて居た、私達はほんとの狂人になつたと思つて皆眼を見張つた、然し彼は莞々笑ひ乍ら先日禮を厚く述べて話し續けた「實はあれから三日過ぎて妻が一番末の子を連れて歸つて來ました、夢ではないかと喜びました、妻はなんでも自分でも覺えないが兵隊さんに助けられて、千葉の衛戍病院に收容されたさうです、それから少し歩ける様になつたから家のことを案じ乍ら兎に角歸つて見やうと思つて歸つて來たんださうです、それで今日は先日のたゞいたお骨をお返しに參りました」と彼は小兒のやうに、罪のない純な、ほんとうの心から何物にか感謝するかのように喜んで、幾度も禮を述べて歸つた

震災直後の我が人事相談所の前には斯うした悲喜劇もあつた、十月の中頃からバラックの建設は急増加し之

に關する地主と家主、借家人の紛争が續出した、相談所はそれが爲め一時、法律相談の問題が多く持込まれた、此の問題は警察及地方裁判所へと連絡して多くの場合假令一時的でも住む家のない人々の爲めバラック建造を許すやうに努めた、十一月の上旬には連日朝夕は寒冷を覺えて來た、一般の罹災者には生活の不安が聳々とせまつて來た

茲に於て我が人事相談所は十一月十五日府市及東京地方職業紹介事務局等の後援のもとに罹災者の職業紹介事務を開始した、(求人、求職、紹介件數列表の如し)

近來面白い現象は吾が職業紹介所に對し結婚紹介の申出が多數あることである、蓋し公益職業紹介所に結婚の申込があつたと云ふのも震災による紀念の一つであらう、其申込者も一般の求婚者と異り、此度の震災の爲め妻を失へる男、夫を失へる婦人の申込である

大震災は幾多の悲惨を生んだ、三萬有餘の生靈もさることながら、死を求めて死に得ず、生を求めて現實の生

活苦に悩まされ、生の執着に悶へて居る人々は亦ひとしほ哀れてある

大震災の爲め母を奪はれ妻を失ひし男の沙漠の如き生活、杖と思ひ柱と頼つて居つた人に逝かれた女の今後の生活、さういふ人達が樂しきホームに憧れ、生活の安定を求めるのは、人間として當然のことであらう

斯ういふ人達の爲めにも本願寺紹介所は出來得る丈け人事相談としての世話をして居る

又別に本願寺直營として上野に婦人職業補導、日比谷、築地、月島に簡易宿泊所あり

營利紹介業者の消長

營利紹介業者は所謂桂庵ゴロをうまく利用し相當な成績を上げてゐる、且求人側の最も必要として居る、女中、小僧、少年店員を紹介しつゝある爲め一般社會からも依然として一種の所謂桂庵として存在を認められてゐる、しかも女中一人、小僧一人に七八圓の手續料を支拂ひ乍

ら一般が猶彼等を頼んで居る處に面白い現象がある、我等が今後研究す可き多くのものが存在すると思ふ、營利紹介所の門前に今尙相當の求職者が出入するといふことは我等に何物を暗示して居るか

求人、求職者に顯はれたる著しき傾向

特に吾人の注意を惹きしは一般に現實的な思想の漲きつて來たことである、求職者が職をあせるのも、より高き賃金を希ふのもその半面を察するに足る

だがそれだからと言つて一般に堅實な思想が缺けて來たといふのではない、否寧ろ震災後の社會思潮ともいふ可き「穩着實」な思想はより深き人心の底を流れて居ることを吾人は看過することが出來ぬ

此の思想の社會的事實としては労働總同盟が議會是認に旗色を變へたなど最も大なるものである、又郵便貯金が案外多くなつたのも簡易保險の數が急に増加したのも其一つであらう、此の思想の影響は求人求職者にも著し

く顯はれて居る、即ち一時的職業でなく永久的な將來獨立し得る職を選ぶ求職者の在るのは其一例である、求人の方でも求職者の人格を尊重し、殊更、保證人の必要を求めざる様になつたのも著しい現象である。此の傾向は最も賛美すべき傾向で、雖て從來の雇業者被僱者と云ふ障壁を打破して眞に人間として提携すべき結果を促す思想であらねばならぬ

思ひがけなき人生の悲劇を體驗し、如何に多くの人々に罹災求人、求職者があつたか、人間の愛に目覺めて來たかと云ふことは將來の社會運動に何物かを暗示して居るだらう

だが斯くの如き思想がどの程度迄労働者と思はれる一般求職者の内心に深く這入つてゐるかそして何時まで續くか又如何に變轉して行くかといふ問題が吾々に與へられた研究問題である

復興を眼前に控へた一般労働者の懐中には定めし今後思ひがけない、資本が分散されて這入つて來ることだらう

5。彼等は如何に有効にそれを使用するか、之が難て労働者今後の思想及び生活を語るものであらう、殊に自由労働者の今後が思ひやられる、彼等が依然として酒と女とに刹那の快樂を求めるか、それとも、自分自身を反省すると云ふより、人生そのものを深く凝視し、獨立の生計を保つ堅實な自由労働者となるかといふことは今後の労働者の教化及び労働運動の指導者に責任の一端は在ると思ふ

最後に吾人の憂ふことは此度の大地震は一面に勤儉着實相互扶助、相愛など云ふ思想に随分刺激を與へたが、同時に又、極端な現實思想にも可なり強い刺激を與へて居る、之は雖て自暴自棄となり、虛無思想と結び唯物思想と結んで極端な左傾思想が現はれて來ないかと考へらるゝことである

從來の我國の一般労働運動から見て尙痛切に其のことを思ふ、一般求人には無くとも求職者には此傾向がないでもない。一般求職者の教育程度の低きこと労働者教化

といふことが輕んじられて居ること、一般國民に批判的思想の缺けて居ることは實に慨嘆すべきことである

故に國民教育の普及徹底(義務教育の延長)も労働者の教化、堅實な労働運動者などを要することは今日の急務である

ある一ヶ月間に於ける宗教調査

求職者宗教別	人数	求職者の教育程度と其の數
眞 宗	一六二	尋常 三年 一〇
禪 宗	一一九	同 四年 一八
淨 土	九一	尋常 卒業 二八九
日 蓮	九二	高等 一年 二四
天 台	二〇	同 卒業 一六二
眞 言	五一	中學 一年 三
神 道	三	同 二年 八
無 宗 教	六三	同 三年 四
		同 四年 六
		中學 卒業 三〇
		大學 卒業 一
		大學中途退學 二
		學歷 無し 二四

ある一ヶ月間に於ける教育調査

大阪地方職業紹介事務所の活動

應急施設

一、罹災求職者應急取扱方に關する通牒
 震災罹災者の關西方面各都市に避難する者日を逐ふて増加の形勢あるを察し九月五日萬一の場合職業紹介所の採るべき應急施設につき職員會議を開き協議を遂げ翌六日事情の急なるを觀て管内各職業紹介所長に對し左記罹災求職者應急取扱方に關し通牒を發せり

記

大阪地方職業紹介事務所 發業第一一七號

大正十二年九月六日

大阪地方職業紹介事務局長 久田 宗作

職業紹介所長宛

震災罹災民求職者取扱方ニ關スル件通牒

同情スヘキ關東方面震災罹災者ノ關西方面各都市ニ避難スル者逐日増加ノ模様ニ有之既ニ夫々御準備中ノコトトハ存シ候ヘ共此ノ際各職業紹介所ハ是等避難民求職者ノ取扱ニ就テハ特ニ注意シ左記各項ニヨリ取扱上遺憾ナキヲ期セラレ度特ニ申進候

記

一、避難民求職者ノ取扱ニ就テハ特ニ注意シ同情ト親切トヲ以テ接スルコト

一、此ノ際避難民求職者ニ對スル準備トシテ特ニ求人開拓ニ努ムルコト

一、新聞等ヲ利用シ同情者ヨリ罹災民ニ對スル特別ノ求人ヲ募ルコト

一、府縣及市等ノ救濟部及其他ノ社會事業機關ト協力シ密接ノ聯絡ヲ保ツコト

一、重要都市ニ於テハ停車場又ハ着船場ニ設クル救援部中ニ職業紹介所職員ヲ必ス加ヘ或ハ必要ニ應ジ臨時出張所ヲ設クルコト

二、取扱狀況の視察及應急施設の督勵

主要都市職業紹介所に於ける罹災求職者取扱狀況の視察及之が取扱につき機宜の處置施設及督勵の爲七日より九日に亙り大阪市内の各職業紹介所に對し數名の職員を出張せしめ且つ京都、神戸、名古屋各市に對しても各一名の職員を派遣し紹介所を刺激せる結果主要都市紹介所に於ては夫々の施設を講じ遺憾なき活動を開始するを得たり

三、職員の應援

大阪市は避難者數最も多く職業紹介所は全力を擧げて之に當るも尙甚だしく手不足を感ずるを以て中央、梅田、九條紹介所及梅田收容所内臨時出張所に隨時數名の職員應援せり

四、罹災求職者紹介事務打合會議

關東大震災に於ける職業紹介成績

九月十六日午前十時本事務局に於て大阪市中心、神戸市中央及京都市職業紹介所長を招集し各所の既に採れる處置及取扱狀況につき報告を得併て爾後の活動方法につき打合を爲す

第二次活動方針の決定

九月十四日職員會議を開きたる結果當時の狀勢は求人開拓を以て最も急務と認め爾後本事務局は専ら此の方面に活動することとし大體左の方針を決定せり

一、求人募集宣傳

(イ) 電車内の公告 重要都市電車内に求人公告のポスターを掲出すること

(ロ) 一般公告 重要都市の衆目に觸れ易き場所に一萬枚の求人宣傳ビラを貼付すること

二、求人依頼

(イ) 各實業組合及商業會議所に對し組合員に罹災求職者を雇備する様依頼すること

- (ロ) 職業紹介所なき重要なる市町村に對し求人調査の依頼狀發送
- (ハ) 見込ある會社工場に求人申込の依頼狀發送
- 三、求人調査及求人開拓
 - (イ) 遠隔地大口求人は本事務局にて本事務局直接其の内容を實査すること
 - (ロ) 會社工場中有望と認めらるゝものにつき直接求人開拓に努むること

一般的活動狀況

管内各地の職業紹介所に對して書面を以て或は職員を派し指導獎勵し緊急の場合充分の活動を遂げ遺憾なく機能を發揮せしむることに努め且つ取扱狀況につき時々報告を徴し管内に於ける罹災求職者取扱の狀況を知悉し連絡上遺憾なきを期せり。中央關係官廳に對しては管内に於ける狀態を無線電信又は飛行機便等により速に報告し連絡に努めたり。久田局長は十日東京に於て開催されたる

る職業紹介事務局打合會議に出席打合するところあり

一、狀況視察及督勵

其後に於ける取扱狀況の視察及督勵の爲九月十九日より二十五日迄の間に再び大阪市内、名古屋、四日市、岐阜、大垣、京都、神戸各地に職員を派遣し各地の狀況を詳悉し聯絡上遺憾なきに努めたり

二、求人募集の宣傳

(イ) 大阪市中心職業紹介所と協議の上連名にて罹災者に職を與へよと記せる求人募集公告二千三百枚を印刷し大阪市電氣局に交渉、之を同市の電車全部に一週間掲出せり

(ロ) 別に同様の小型ポスター一萬枚を印刷し左の通各地に分配して市内の要所に掲出せり。内名古屋及神戸市に於ては之を其市の電車内に掲出せり

大阪市内外 四千五百枚
名古屋 二千枚
神戸市 千五百枚

京都市 千枚

岐阜市、大垣市、尼ヶ崎市 各三百枚

南海、大軌、阪神急行各線停留場 百枚

三、求人依頼

(イ) 會社工場に對する求人依頼

九月十八日關西に於ける重なる會社工場に對し求人依頼狀三百三十九通を發送内十月三十日迄に回答の有りたるもの二十五通にして利用し得る求人は之を直ちに便宜の職業紹介所に通知せり

(ロ) 各種同業組合に對する求人依頼

九月十八日阪神間に於ける各種同業組合に對し求人依頼狀百二十七通を發送し組合員をして此際罹災者を雇備せしむる様斡旋方を依頼せるに多數の組合よりは書面を以て又は態々職員を出頭せしめて打合來るもの不尠多大の便宜を得たり

四、求人開拓

(イ) 職員は各部署を定め數日間大阪市内外の有望なる

關東大震災に於ける職業紹介成績

五、大口求人の實地調査

大口求人中有力にして遠隔地にあるものは職員をして之を實地調査せしめたり其の重なるものは山口縣徳山の鐵板工百五十名、日本製鋼廣島工場の熟練工九十名等なり

(大正十三年二月十八日施行)

會社工場を訪問し求人開拓に努めたる結果多數の有力なる求人を得、直ちに之を大阪市内職業紹介所其他に通報し需給調節上多大の効果を擧ぐるを得たり

(ロ) 前項求人開拓と兼ねて大阪市内の實業組合を歴訪し組合員に對し罹災者雇備方につき斡旋さるゝ様勸説に動めたる結果、大阪市内の金物、靴商、菓子製造、印刷、材木商、下駄、硝子製造、家具、紙函製造、籐商工等の各組合は孰れも罹災者の就職につき斡旋することを快諾し、直ちに組合より申出の條件を付し大阪市内の職業紹介所に右の旨を通報し紹介上多大の便宜を得たり

關東大震災に於ける職業紹介成績
各職業紹介所長宛

震災罹災求職者取扱状況報告方ノ件照會
客年九月大震災後罹災求職者取扱状況ニ就テハ其都度
御報告ヲ煩シ居リ候處將來ノ參考ノ爲本邦職業紹介沿
革史上特筆スヘキ震災時ノ職業紹介所ノ活動状況ヲ一
括セル記録トシテ保存致度候條左記各項ニ準シ大正十
二年中ニ於ケル震災罹災求職者取扱状況ヲ御調査ノ上
來ル二月二十七日迄ニ御回報相成度

記

- 一、罹災求職者ノ狀況
- 二、罹災者ニ對スル求人ノ狀況並求人開拓ノ狀況
- 三、他ノ救援機關トノ連絡狀況
- 四、設備擴張、増員、出張所設置其他應急施設ノ狀況
- 五、取扱數、罹災者取扱數ヲ左記ノ様式ニ依リ調査ノ
コト

月別	求職者數		紹介件數		就職者數	
	男	女	男	女	男	女
九月						
十月						
十一月						
十二月						
計						
十三年						
月						

備考 就職者數不明ノ場合ハ記入ニ及ハス

- 六、震災カ職業紹介所ノ取扱取扱ニ與ヘタル影響
- 七、其他參考トナルヘキ施設狀況

大阪市中央職業紹介所其他市立十
一箇所

一、活動狀況

- (イ) 罹災求職者の狀況

主として廿歳以上卅五六歳迄の男子其大部分を占む
前職は不熟練工、飲食店雇人、新聞配達、其他難役
に似たる日傭労働者より漸次熟練職工、事務員、自家
營業者に及ぶ

(ロ) 罹災者に對する求人ノ狀況並求人開拓の狀況

八月中に於ける求人數 二二、七二八
九月中 三四、二八九
十月中 三四、九五〇
十一月中 二六、〇九四
十二月中 一八、九九二

九月以降に於ける求人増加の理由

- (イ) 求人開拓に努めたるに因る
 - (ロ) 篤志、同情の求人者多きに因る
 - (ハ) 比較的婦女子、少年の求人多きに因る
- 求人開拓の狀況
- (イ) 専任求人開拓係員の増員(十五名)
 - (ロ) 求人開拓専用電話の増設
 - (ハ) 求人票を添付したる依頼狀

關東大震災に於ける職業紹介成績

を企業家に發送し (ニ) 全市及接續町村の小學兒童
を介し其家庭に同様のものを配付す (ホ) 其他所員
の休暇及休日を廢し之に當らしむ

(ハ) 他の救援機關との連絡狀況

大阪府救援部、大阪市救援部及方面委員等にて設け
られたる機關と終始連絡を保持す

(ニ) 設備擴張、増員、出張所設置其他應急施設の狀況

設備擴張としては中央、九條、梅田の三職業紹介所
に求人開拓専用の電話各一箇所増設し、中央紹介所に
智識階級、熟練職工紹介部を設く

梅田紹介所狹隘のため約三坪の天幕張りを設く
増員としては求人開拓係として十五名中央職業紹介
所に増員す

出張所は大阪府救援部梅田收容所、大阪市救援部鼠
島收容所、同築港收容所内に設置す

(ホ) 取扱數(別表の通)

二、求人開拓、求人開拓デー、求職歓迎其の他紹介に關するポスター其の他印刷物
求人依頼状より外なし

三、營利職業紹介業者の消長
儲なる調査なし

四、震災後に於ける求人、求職、就職者に顯はれたる著しき傾向

一方に於て熾烈なる求人開拓宣傳に依り紹介所の利用を充分喚起したるを以て需要開拓上將來に好影響を與へたるが如きも他方に於ては被紹介者中當地企業家に適せざる者あり之が爲め紹介所に好ましからざる結果を及ぼしたることも否むべからざる事實也

中央職業紹介所

取扱別	求職者數		紹介件數		就職者數	
	男	女	男	女	男	女
九月	1,232	101	1,912	1,028	1,010	76
十月	1,268	111	1,876	976	1,000	171
十一月	1,268	111	1,876	976	1,000	171
十二月	1,268	111	1,876	976	1,000	171
計	4,836	333	6,538	3,956	4,010	519
十三年	3,242	201	4,208	2,176	2,600	340

九條職業紹介所

取扱別	求職者數		紹介件數		就職者數	
	男	女	男	女	男	女
九月	1,111	310	1,088	876	1,000	76
十月	1,111	310	1,088	876	1,000	76
十一月	1,111	310	1,088	876	1,000	76
十二月	1,111	310	1,088	876	1,000	76
計	4,444	1,240	4,368	3,528	4,000	304
十三年	2,922	810	2,922	2,176	2,600	228

今宮職業紹介所

取扱別	求職者數		紹介件數		就職者數	
	男	女	男	女	男	女
九月	1,232	101	1,912	1,028	1,010	76
十月	1,268	111	1,876	976	1,000	171
十一月	1,268	111	1,876	976	1,000	171
十二月	1,268	111	1,876	976	1,000	171
計	4,836	333	6,538	3,956	4,010	519
十三年	3,242	201	4,208	2,176	2,600	340

堀江職業紹介所

取扱別	求職者數		紹介件數		就職者數	
	男	女	男	女	男	女
九月	1,232	101	1,912	1,028	1,010	76
十月	1,268	111	1,876	976	1,000	171
十一月	1,268	111	1,876	976	1,000	171
十二月	1,268	111	1,876	976	1,000	171
計	4,836	333	6,538	3,956	4,010	519
十三年	3,242	201	4,208	2,176	2,600	340

西野田職業紹介所

取扱別	求職者數		紹介件數		就職者數	
	男	女	男	女	男	女
九月	1,232	101	1,912	1,028	1,010	76
十月	1,268	111	1,876	976	1,000	171
十一月	1,268	111	1,876	976	1,000	171
十二月	1,268	111	1,876	976	1,000	171
計	4,836	333	6,538	3,956	4,010	519
十三年	3,242	201	4,208	2,176	2,600	340

京町堀職業紹介所

取扱別	求職者數		紹介件數		就職者數	
	男	女	男	女	男	女
九月	1,232	101	1,912	1,028	1,010	76
十月	1,268	111	1,876	976	1,000	171
十一月	1,268	111	1,876	976	1,000	171
十二月	1,268	111	1,876	976	1,000	171
計	4,836	333	6,538	3,956	4,010	519
十三年	3,242	201	4,208	2,176	2,600	340

天六職業紹介所

取扱別 月別	求職者数		紹介件数		就職者数	
	男	女	男	女	男	女
九月	112	112	74	74	112	112
十月	106	101	54	49	106	101
十一月	165	162	53	51	165	162
十二月	163	101	67	37	163	101
計	546	476	248	211	546	476
十三年 一月	182	112	112	112	182	112

京橋職業紹介所

取扱別 月別	求職者数		紹介件数		就職者数	
	男	女	男	女	男	女
九月	112	112	74	74	112	112
十月	106	101	54	49	106	101
十一月	165	162	53	51	165	162
十二月	163	101	67	37	163	101
計	546	476	248	211	546	476
十三年 一月	182	112	112	112	182	112

老松職業紹介所

罹災者取扱成績

取扱別 月別	求職者数		紹介件数		就職者数	
	男	女	男	女	男	女
九月	112	112	74	74	112	112
十月	106	101	54	49	106	101
十一月	165	162	53	51	165	162
十二月	163	101	67	37	163	101
計	546	476	248	211	546	476
十三年 一月	182	112	112	112	182	112

梅田職業紹介所

罹災者取扱成績

取扱別 月別	求職者数		紹介件数		就職者数	
	男	女	男	女	男	女
九月	112	112	74	74	112	112
十月	106	101	54	49	106	101
十一月	165	162	53	51	165	162
十二月	163	101	67	37	163	101
計	546	476	248	211	546	476
十三年 一月	182	112	112	112	182	112

築港職業紹介所

罹災者取扱成績

取扱別 月別	求職者数		紹介件数		就職者数	
	男	女	男	女	男	女
九月	112	112	74	74	112	112
十月	106	101	54	49	106	101
十一月	165	162	53	51	165	162
十二月	163	101	67	37	163	101
計	546	476	248	211	546	476
十三年 一月	182	112	112	112	182	112

玉造職業紹介所

罹災者取扱成績

取扱別 月別	求職者数		紹介件数		就職者数	
	男	女	男	女	男	女
九月	112	112	74	74	112	112
十月	106	101	54	49	106	101
十一月	165	162	53	51	165	162
十二月	163	101	67	37	163	101
計	546	476	248	211	546	476
十三年 一月	182	112	112	112	182	112

關東大震災に於ける職業紹介成績

大阪職業紹介所

一、當所に於ては格別の施設なし

罹災者取扱成績

取扱別 月別	求職者数		紹介件数		就職者数	
	男	女	男	女	男	女
九月	112	112	74	74	112	112
十月	106	101	54	49	106	101
十一月	165	162	53	51	165	162
十二月	163	101	67	37	163	101
計	546	476	248	211	546	476
十三年 一月	182	112	112	112	182	112

大阪基督教青年會職業紹介所

一、活動狀況

震災の報一度傳はるや新に臨時特別取扱部を設けて市内各要所に大立看板を張り出し、或は直接需要者を訪問

することによりて求人開拓に努め、臨時事務員二名を増加して救護に努めし以外築港に設けたる本會主催避難者相談所に出張して紹介上の事務を執りたり、當府並に社會事業協會主催の下に北區北野不動寺内に設けられたる臨時救護所に本會より職員が應援に出張せる關係上同所との間に連絡をとりたり

罹災求職者取扱數別表の通り

二、臨時に設けられたる人事相談所の活動

狀況

船にて避難し來れる人々の救護相談の目的を以て大阪市内の基督教會、婦人矯風會と聯合の下に築港に天幕を設けて身上、職業の相談並に通信代筆無料取扱及び行先地の案内に従事せる一方他の救護機關を通じて、人事相談部を訪れ來れる人々には各々其事情により國元に歸る者には旅費を貸與し就職者には仕事道具を與へ入學者に

は書籍代を支給し、本會の學校入學者には入學金を免除し衣類を與へる等徴力ながら當青年會々員其他よりの寄附金を以て、是等の相談に預りたる以外商業繼續上に付或は債務其他法律上に付相當の相談に應じたり

三、震災後に於ける求人、求職、就職者に顯はれたる著しき傾向

求人の方より觀察するに未曾有の大變災によりて社會的反響の大なりしと共に需要家の大なる同情を喚起したる結果、其生産需要の多寡を問はず相當の雇入申込をなし來りしも罹災者が非常に困難の場合とて其職業の適不適を考慮することなくして就職せし結果、雇入後其勤務上に付兩者の關係兎角圓滑ならざる憾あり、其後の罹災求職者に對しては求人者に於て特に注意し來れる傾向あり又就職者に於ては震災當時の者漸くにして就職し得たるも如上の關係により永續性に乏しく退職者續出せり

罹災者取扱成績

取扱別 月別	求職者數		紹介件數		就職者數	
	男	女	男	女	男	女
九月	三三	二	三三	三	二四	一七
十月	四〇	一	四一	一	三〇	一
十一月	一〇	一	一〇	一	三	一
十二月	七	一	三	一	一〇	一〇
計	九〇	五	九四	四	六七	二九
十三年	一	一	一	一	一	一

大阪婦人ホーム職業紹介所

一、活動狀況

(イ) 罹災求職者の狀況

罹災求職者の大半は關西方面より上京就職中震災に逢ひて歸來せるものにて二十歳以上三十歳迄の者最も多く希望職業は看護婦、女工(主としてミシン)女中、店員、事務員等にして震災の爲苦しき體驗をなせし後なれば

關東大震災に於ける職業紹介成績

多少の勞働を厭はざりしを以て紹介成績は良好なりき

(ロ) 罹災者に對する求人の狀況並求人開拓の狀況

罹災者の來阪するや社會の同情一時に起り前例なき優遇條件を具へて求人申込をなすもの多く、大阪市内は勿論郡部及四國中國等にも及び之が受付に忙殺せられ九月十五日より十九日に至る五日間の如きは、求人受付を正午打切り午後は専ら紹介及び事務の整理に當り求人開拓の要を認めざりき

(ハ) 他の救護機關との連絡狀況

大阪府社會事業協會救護部、大阪基督教聯合救護部と連絡をとりそれより罹災者を送り來る

(ニ) 設備擴張、増員、出張所設置其他應急施設狀況

九月十三日より同月末日迄求人受付係其他雜務として二名の増員をなす

(ホ) 罹災求職者取扱狀況(別表)

二、臨時に設けられたる人事相談所の活動状況

臨時に設けざれども従來の相談部に於て取扱へり

三、附帶事業の状況

九月八日より十一月二十一日迄當所に於て罹災婦人を收容す
總人員二百十五名延人員八百五十八名にして夫々適宜の處置を取れり

四、震災後に於ける求人、求職、就職者に顯はれたる著しき傾向

求職婦人中には唯一時的の職業に非ずして永久的職業を希望する者増加せり

罹災者取扱成績

等の求職は何分難澁火急の際なれば何業にても差支へなしと云ひ、適當なる求人ありしもの以外は大部分轉業し兎に角妻子を養ふに吸々たる状態なりし事は特筆を要することなり

(ロ) 罹災者に對する求人状況並に求人開拓の状況

豫期せざる大震災の起りたる結果天下の同情は其極點に達し、當地方にありては各商工業は喜んで當市に避難のものを雇備し、紹介所より依頼の者は其技備の如何を問はず殆んど採用せり
然る所求人の開拓としては元來我紹介所は専任従事員其數少く、故に職員は毎日出勤前及退所時間後遅く迄東奔西走し實に寸暇だになき有様にして職員は疲労其極に達せし程なりき

電話は間斷なく使用し各需要者側と盛に通話し、如何なる申込にても求人豊富ならしむる爲受付をなし罹災求職者に對する準備をなせり、然れども求職者は罹災者のみに非ず加ふるに新紹介所に移轉後の事なれば

關東大震災に於ける職業紹介成績

取扱別	求職者數		紹介件數		就職者數	
	男	女	男	女	男	女
九月	1	5	1	3	1	5
十月	1	5	1	3	1	5
十一月	1	2	1	2	1	2
十二月	1	2	1	2	1	2
計	4	14	4	10	4	14
十三年	1	10	1	10	1	10
一月	1	7	1	7	1	7

堺市職業紹介所

一、活動状況

(イ) 罹災求職者の状況

當市立職業紹介所に來る求職者の過半數は當地在住の親戚を有する者なるか、或は知己あるものにして其他は大坂にて就職し得ざる者及堺市に於て最も得意とする刃物鍛冶又は自轉車製造業同業者なりし者か、或は是等の熟練工なり、大坂方面にて就職し得ざりし罹災者中には事務員の求職の者も少からざりき、而して彼

一般求職者も亦激増しつつありて、是等多數の求職者の爲に求人口を用意し夫々紹介することは小規模の紹介所としては頗る困難のことなりき

當市諸工業家の多くは直接又は間接關東方面に取引をなすもの多くあり震災の打撃を受け一時製造を手控へるもの續出し如何に罹災者等に好意を持つと雖も好意に依る僅かの求人のみにして其開拓も亦困難なりき
青年労働者に對する求人數少なきに反し女中小店員の雇入申込甚だ多く是が受付に忙殺されしも、是等のものは罹災者中に求職者少なき理由を以て急ぎの求人者には一時謝絶することとせり

罹災者取扱成績

取扱別	求職者數		紹介件數		就職者數	
	男	女	男	女	男	女
九月	6	2	6	2	6	2
十月	6	2	6	2	6	2
十一月	6	2	6	2	6	2
十二月	6	2	6	2	6	2
計	24	8	24	8	24	8

京都市職業紹介所

(壬生職業紹介所を含む)

一、活動状況

關東地方大震災の驚愕は罹災者に對する同情となりて現はれ引取りて世話せんとする者無條件にて雇入れんとするもの續々として申込あり、之と同時に九月八日より七條驛並に罹災者收容所たる東本願寺婦人法話會内に職業紹介所臨時出張所を設け二名宛の紹介員並に臨時雇を出張せしめ府市社會課員の應援を得て紹介に従事せり、尙求人開拓としては求人申込用紙刷込みの宣傳ビラ七萬枚を市内並に附近町村に撒布し且つ求人係三名は絶へず求人者を訪問して開拓に努め大に效果を得たり、此外在郷軍人團は下車せる罹災求職者を一々紹介所へ案内して本所と驛前臨時出張所並に東本願寺内罹災者收容所との連絡を圓滑ならしめたり

二、附帯事業の状況

- (イ) 無料宿泊所を職業紹介所の附帯事業として經營し求職者にして時間外に來所し、然かも他に宿泊せしめ來りしがもなく其費用を所持せざるものを宿泊せしめ來りしが震災後は所持金なき罹災求職者の時間外に京都に到着するもの少なからず、之等の人々には浴券、食券を與へて宿泊せしめ翌日紹介したるが、中には疲勞の爲宿泊中に疾病を起したる者尠ならず、之等の人々には當所は一々醫療の手當を與へて紹介をなしたり
- (ロ) 副業講習所に於ては震災に鑑みて事業を擴張し特に震災地行き衣類裁縫を引受け、求職婦人に職業輔導として此仕事に従事せしめ、必要なる者には工賃を立替へ罹災家族の爲には紹介所を授産場として之が取扱をなせり
- (ハ) 移動の必要ある労働者に對しては篤志者の寄托に係る旅費を貸與し其目的地に紹介せり

三、營利職業紹介業者の消長

震災後益々不振にて同組合長より罹災者は無料にて取扱ふ故連絡を計り呉れと申出たることあり

四、震災後に於ける求人、求職、就職者に顯はれたる著しき傾向

震災によりて紹介所の宣傳普及せられたること、國民に働かざるべからずと氣風を助成したることによつて、震災後に求人求職共に著しく増加し職業紹介所を利用すること益々多きを致すこととなり、然れども罹災就職者中には就職後不真面目にして懶惰なる者多く又雇主或は同僚の金品を窃取逃走するなどのことありて信用を失し其の結果紹介所の信用に及ぼし、爲に多大の紹介難を來たせり

取扱別	求職者數		紹介件數		就職者數	
	男	女	男	女	男	女
九月	二、七	一、三	九、四	八、七	一	一
十月	三、七	一、三	二、〇	一、五	一	一
十一月	三、六	一、三	一、七	一、三	一	一
十二月	一、〇	八	一、二	七	一	一
計	一、〇	二、三	一、〇	一、〇	一	一
十三年	九	七	六	七	一	一

京都市壬生職業紹介所

取扱別	求職者數		紹介件數		就職者數	
	男	女	男	女	男	女
九月	三	六	六	三	一	一
十月	六	六	六	一	一	一
十一月	六	一	三	一	一	一
十二月	三	一	九	九	一	一
計	一、三	一、三	一、三	一、三	一	一
十三年	二	一	二	二	一	一

京都市職業紹介所

罹災者取扱成績

關東大震災に於ける職業紹介成績

神戸市中央職業紹介所

一、罹災求職者の状況

關東大震災突發以來本市は罹災者避難上、海陸交通至便なる位置に置かれたると、商工業取引上京濱地方と密接なる關係を有したるとに依り、本市並に本市附近に避難し來る者日を経るに従ひ増加し求職者又意外に多數來所するに至れり

今九月五日罹災者受付開始以來本年一月迄の受付数は別表に示すが如く九月最も多く十、十一、十二、一月と漸次減少を示したり

二、罹災者に對する求人状況並に求人開拓の状況

罹災者陸續と當市に避難し來るや市内各新聞を利用して又は宣傳ビラ、ポスター等に依りて江湖の同情に懇へ罹

災者の爲めに就職の道を開くべく極力求人開拓に努めし結果、特志家の義侠的に雇傭を申込み來るもの逐次増加し、災前の約三倍の求人者を得たるも震災罹災者に對する同情熱冷却するに従ひ求人亦漸次減少するに至れり
求人開拓の方法左の如し

- 一、新聞紙上を利用して紹介所活動状況を掲出し社會の同情心の喚起に努む
- 二、宣傳ビラ五千枚、ポスター五千枚を印刷し、市電車内兵電停留所に貼付する一方、市内、四百餘の衛生組合を通じて各需用家に罹災者備入を依頼す
- 三、縣下、姫路、尼ヶ崎、明石の三市役所に宛て求人口通報方を依頼す
- 四、縣下企業家を以て成る工業懇談會總會席上にて罹災者求職状況を報道し雇傭申込を依頼す
- 五、從來求人の開拓調査には一名の外交員をして擔任せしめしも罹災者紹介を開始するや更に二名を増員し三名にて求人開拓分擔區域を定め極力求人の開拓に努む

三、他の救援機關との連絡状況

- 一、各紹介所にも罹災者求職の紹介を取扱ひしも中央紹介所をして特に連絡統一機關を設けしめたり
- 二、神戸驛前並に海岸突堤の市の救護團出張所及市内二十二個所の罹災者收容所と連絡を圖り特に「職業紹介所専用自動車」一臺を備へたれば前記出張所及收容所と紹介連絡並に求人開拓上大なる便宜を得たり
- 三、各警察署及職業輔導會、市内公私社會事業團體等と聯絡を圖り、求職者中旅費貸與、疾病治療、宿泊、給食、資金貸與等救護を要するものは夫々紹介保護を加ふるところありき

四、設備擴張、増員、出張所設置其他應急施設の状況

- 一、罹災求職者の紹介取扱の爲め海岸突堤に出張所を設け所員三名を派遣し

關東大震災に於ける職業紹介成績

五、罹災者取扱數

取扱別	求職者數		紹介件數		就職者數	
	男	女	男	女	男	女
九月	八六	五二	六七	八一	五九	六〇
十月	三三	三三	三三	六三	三三	六八
十一月	二二	二七	二二	四二	二二	二二
十二月	四	三	四	八	三	三
十三年	三	六	三	六	三	七

六、震災が職業紹介所の一般取扱に與へたる影響

震災後一般取扱に與へたる影響としては求人求職者が災前より増加し戸内使用人、就中女中並に飲食店雇人運

關東大震災に於ける職業紹介成績
送雑役等の求職者著しく増加せり

紹介所の取扱に係る求職者にして就職せる者の中一割乃至二割は一時的就職者にして概して成績不良殊に責任感なき一部不良分子の主家の金品を拐帶逃走を爲す等の事故を醸し、一般紹介上、雇傭者に警戒心を起さしむるに至れり

要するに這般の天災は職業紹介所をして一般世人に其の機能を知らしむるに絶好機會となり、良く利用の範圍を擴大せしは紹介所に對し震災の齎らせし好影響なりしも求職者の實質を低下し、雇傭者をして紹介所より紹介したる者に對し不安疑懼の念を懐かしめたる弊害を伴ひし事は遺憾なり

七、其他參考事項

罹災求職者に關する調査表

罹災求職者九月中來所日別表

月	日	求職者數	月	日	求職者數	月	日	求職者數
九月	一日	1	十一日	31	二十一日	八五		
	二日	1	十二日	34	二十二日	五七		
	三日	1	十三日	41	二十三日	四一		
	四日	1	十四日	55	二十四日	四一		
	五日	1	十五日	49	二十五日	三三		
	六日	7	十六日	35	二十六日	四〇		
	七日	7	十七日	44	二十七日	三五		
	八日	23	十八日	46	二十八日	二七		
	九日	8	十九日	82	二十九日	二〇		
	十日	21	二十日	85	三十日	一〇		
合計		95		513				

神戸市内に於ける關東震災罹災避難者職業別調

大正十三年十一月十五日現在

職業大別	震災地に於ける職業別		職業別		未就職		職業別		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
商業	1,608	1,131	868	910	317	110	1,185	1,020	1,803	1,131
工業	769	828	455	494	124	104	1,129	1,192	1,608	828
運輸	119	303	77	101	10	15	119	303	119	303
通信	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53
郵便	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53
内務	1,669	2,187	1,131	1,545	266	101	1,397	1,646	2,187	2,187
合計	4,552	4,168	3,005	3,173	701	271	3,706	3,444	4,552	4,168
前職業ニ對スル百分比	—	—	67.8	75.8	15.4	6.5	81.2	82.3	81.2	82.3
無職及學生	1,486	5,163	1,131	3,484	1,299	3,111	2,430	4,595	3,661	7,685
總計	6,038	10,331	4,136	8,657	1,902	3,476	6,038	10,331	6,038	10,331

自大正十二年九月震災罹災者に就き調査
至同年十二月

一、居所

居所別	男	女	計	百分比
神戸市内	441	49	490	65.33
兵庫縣内	17	5	22	2.94
他府縣	230	8	238	31.73
計	688	62	750	100.00

二、來神後就職に至る期間

來神後日	男	女	計
二三日	456	78	534
四日	37	9	46
五日	10	3	13
六日	1	1	2
七日	1	1	2
八日	1	1	2
九日	1	1	2
十日	1	1	2
計	518	106	624

關東大震災に於ける職業紹介成績

三、體性と年齢別

年齢	男	女	計
一三	115	25	140
一四	195	24	219
一五	244	15	259
一六	415	7	422
一七	540	1	541
一八	750	0	750
一九	110	0	110
二〇	20	0	20
二一	110	0	110
二二	110	0	110
二三	110	0	110
二四	110	0	110
二五	110	0	110
二六	110	0	110
二七	110	0	110
二八	110	0	110
二九	110	0	110
三〇	110	0	110
計	4,136	62	4,198

四、罹災地に於ける職業と就職後の職業

罹災地に於ける職業	罹災地に於ける職業別	就職後に於ける職業別	
男	女	男	女
製	1	1	1
織	1	1	1
縫	1	1	1
計	3	3	3

一八七

雇傭さるゝ向への求職者少き爲に紹介甚だ困難を感じたりき

(ロ) 罹災者に對する求人状況並求人開拓の状況

日々信書電話等にて申込まるゝ求人主なるものは女中小店員徒弟等にして其の數餘りに多き爲一々理由を述べて謝絶したりき、其他稍々見込ある求人口の申込としては殆んどなく甚だ困難なり、されど求人開拓としては僅に二名の職員なれば外出して開拓を爲す能はず、古き求人カードを整理し時間ある限り一々電話にて求人の有無を問合せたるに此の方法は比較的有効なりき、其他印刷物を數千枚市内樞要箇所に掲示したる事も亦有力なりき

(ハ) 他の救援機關との連絡状況

主として中央紹介所と聯絡し且又湊川、兵庫各紹介所との間に有無相通ずる様常に連絡せしに止る

(ニ) 設備擴張、増員、出張所設置其他應急施設の状況

職員二名なれば特別の施設としては特記すべきことな

かりしかども日々三時間餘り勤務時間を延長し其日の仕事の整理をなせり

(ホ) 罹災求職者取扱數

別表の通り

(ヘ) 震災が職業紹介所の一般取扱に與へたる影響

震災後求人數には消長あるも大體に於て職業紹介所の利用者は次第に増加したり

(ト) 其他參考となるべき事項

市内寺院宗教團體有志家、篤志者公益團體等にして目覺しき活動を見たるも側面より窺ふに亂施亂與の嫌なきにしも非ずやと思惟せらる

罹災者取扱成績

取扱別	求職者數		紹介件數		就職者數	
	男	女	男	女	男	女
九月	七二	二七	四	二	三	一
十月	八一	二八	六	二	四	一
十一月	一六	一六	一	一	一	一
十二月	二	一	二	一	二	一

計	一七	一五	一七	一六	一三	一三	一五	一三	一八	九	六	一	九	七
十三年	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

神戸市兵庫職業紹介所

一、活動状況

(イ) 罹災求職者の状況

求職者の多數が染色職工、時計職工及機械小物職工がラス職工、印刷職工なるに反し當所附近の大部分の工場が鐵工(大物)マツチ護謨工場なるを以て到底此等罹災職工を採用するに途なく假令採用するも熟練工に非ずして工場雑役としての同情的雇入なれば、賃銀其他の勞働條件其他の點に於て満足を與へ得ざりしは遺憾なりき、且つ彼等に於ても永續勤勞の意志なく従つて就職期間の短きは止むを得ざる情態なりき

(ロ) 罹災者に對する求人状況及求人開拓の状況

罹災者に對する求人は女中、小店員が其の大部分を占む製材工場精米所亞鉛板製造工場より比較的多數の求

人申込を受けたるは苦境にありし紹介所の唯一の血路の如き感ありき

罹災者に對する求人開拓は中央職業紹介所より報告あるを以て略す、只兵庫紹介所は當時所員一名なれば外交によりて、求人開拓を爲すを得ず電話を以て求人開拓に努めたるのみ

(ハ) 他の救援機關との連絡状況

中央紹介所と連絡したるのみなりき

(ニ) 設備擴張、増員、出張所設置其他の状況

九月下旬まで當所々員一名を中央職業紹介所へ應援のため差向けたり

(ホ) 罹災求職者取扱數

左表の通り

罹災者取扱成績

取扱別	求職者數		紹介件數		就職者數	
	男	女	男	女	男	女
九月	一	一	一	一	一	一
十月	一	一	一	一	一	一

十一月	11	11	11	11
十二月	11	11	11	11
計	111	111	111	111
十三年	1	1	1	1

神戸市東部労働紹介所

一、活動状況

(イ) 罹災求職者の状況

一時的求職者 收容所又は知人の許に避難し當地に於て適當なる職を求め得ず已むなく歸郷の旅費を得んが爲め一時的労働に従事せる者約百五十名
 復歸者 震災地に於ける荷物運搬仲仕及土木建築手傳の臨時募集に應じ復歸せる者約三十名
 單獨復歸者 戒嚴令解除後單獨にて復歸せる者約五十名
 殘留者 現在は罹災者としての色彩なく普通求職者と異なることなく市營協同宿泊所及び木賃宿に居住して當所の紹介により労働に従事する者約三十名
 求職者の多數は罹災地に於ける日稼労働者にして職業

定まらず財産、妻子なき獨身者なるが故に震災の災禍にも損害を蒙ること極めて僅少なりし爲め概して悲痛困苦の模様なく、却て勇氣に充ち快活なる者多く殊に慰問品の給與汽車汽船の無貨なるを喜び罹災證明書を所持するを誇りとする者も少なからず、樂天家の多きは日稼労働紹介獨特の現象と思考さる

(ロ) 罹災者に對する求人の状況並求人開拓の状況

罹災者指名雇の求人なし、求人開拓もなせず

(ハ) 他の救援機關との連絡状況

各收容所に連絡をとり所員之を歴訪し日備労働可能者に就業勧誘をなせしが効果なかりし爲中止す

(ニ) 設備擴張、増員、出張所設置其他應急施設の状況

市社會課施設和田岬收容所及び中央職業紹介所第四突提出張所に各一名を派遣す

(ホ) 罹災求職者取扱数(別表の通)

震災が職業紹介所の一般取扱に與へたる影響

九月四日より震災地輸送の荷物激増の爲陸沖仲仕及荷

造人夫等の求人増加し救護事業供給入夫賃金立換金一千五百餘圓、震災地復興材料輸入及輸入税撤廢により急激に輸送品多く従つて前年に比し求人者三倍に増加し従て求職者数及紹介数も激増を見たり

罹災者取扱成績

取扱別	求職者数		紹介件数		就職者数	
	男	女	男	女	男	女
九月	四三	四三	四七	四七	四七	四七
十月	六七	六七	六七	六七	六七	六七
十一月	七四	七四	五八	五八	五八	五八
十二月	六七	六七	五二	五二	五二	五二
計	二、六〇	二、六〇	一、九六	一、九六	一、九六	一、九六
十三年	五五	五五	四六	四六	四六	四六

神戸市西部労働紹介所

一、活動状況

(イ) 罹災求職者の状況

關東大震災に於ける職業紹介成績

(ハ) 他の救援機關との連絡状況

震災當時は専ら各收容所と連絡をとり所員一同非常動

員を行ひ日曜祭日の區別なく活動し軒別に各收容所を
 歴訪し、日傭従業可能者に就職勧誘を行へり
 (二) 設備擴張増員出張所設置其他應急施設の状況
 特別の施設なし

(ホ) 罹災求職者の取扱數
 別表の通り

(ヘ) 震災が職業紹介所取扱に與へたる影響

日稼労働界は勞力需要者の大部分が公設労働紹介所の
 利用方法を悉知せるを以て逐日増加するは其求人數の
 上に於ても察知せらる、又横濱港の壊滅後各種貿易品
 の神戸港を経由する數激増し沖波止場人夫の需要頗る
 増加せり、尙又智識階級の失業者にして就職難の揚句
 敢然労働界に身を投ずる者漸く目立ち來れり

二、附帶事業の状況

當所は附帶事業として賃銀の立替制度あるのみ即ち該
 制度は當所開所以來取扱ひ居れ共震災に應じ縣市社會事

業方面に臨時人夫を供給して其の賃銀約四百五十圓餘を
 立替せり、其後も紹介件數増加に伴ひ立替件數も増加し
 つゝあり

三、營利紹介業者の消長

營利紹介業者(労働下宿)は其の根據永年の地盤を有せ
 る爲め依然として固く震災當時は甚だ活氣を呈せしかど
 直に舊に復し目下は只消極的紹介を行ひつゝある外特筆
 すべき事項なし

罹災者取扱成績

取扱別	求職者數		紹介件數	
	男	女	男	女
九月	四七三	一	四七三	一
十月	四九五	一	四九六	一
十一月	三二六	一	三二七	一
十二月	四四九	一	四五〇	一
計	一、七三三	一、七三三	一、七三三	一、七三三
十三年	一、七三三	一、七三三	一、七三三	一、七三三

神戸市湊川職業紹介所

一、活動状況

震災突發直後即ち九月初旬頃は罹災求職者の來所する
 者日に僅々二三人に出でざりしも次第に其の數を増加し
 十五六日頃に到りて俄かに激増し、十八日頃には最高潮
 に達し一日七十名の多きを算するに到りたるも以來漸く
 減じて一日平均三十名前後に下り十月に入りては頓に減
 少し殆ど半數となり十一月以降は更に遞下せり、而して
 最も先だちて避難來神したる求職者の多くは年末だ若き
 者獨身者にして一時先を争ひて來り爲めに大部分何等職
 を選ぶ事なく飲食店雇人、商店員等に就職したるも震災
 地救護應急措置の整備した後は家族を有する比較的思慮
 ある智識階級の求職者を見るに到り、従つて事務的方面
 に就職を希望する者多かりき、之れより養職業紹介所の
 宣傳に努めたる結果未知の求職求人者に其の存在を認め

られ求人求職共に従前に倍加したり然るに紹介の結果は
 就職者の就職期間甚だ短かゝりし爲め求人者に對し餘り
 好感を與へざりき

罹災者取扱數別表の通り

二、其他参考となるべき事項

臨時雇一名を増員したる外私立關西學院社會科學生二
 名の應援を得て活動に就て力ありき

罹災者取扱成績

取扱別	求職者數		紹介件數		就職者數	
	男	女	男	女	男	女
九月	五七三	三	四四三	三	二七〇	三
十月	三三三	三	二八七	二	一〇九	一
十一月	一五五	二	一五七	二	一〇九	一
十二月	六六	二	四七	二	一六	一
計	一、一三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三
十三年	一、一三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三

神戸無料職業紹介所

一、活動状況

神戸驛前に臨時出張所を設け新聞に求人依頼の旨を宣傳せしめ所員は戸別訪問により求人開拓を爲す一方各罹災避難者收容所を巡回して求職者の希望を聴取し夫々紹介に努めたり、其他貸家貸間又は着衣等に付ても出来得る限り斡旋せり

罹災求職者取扱数別表の通り

二、附帯事業の状況

従來經營せる寄宿舎に收容し夫々適當の處置を講ぜり

三、營利職業紹介業者の消長

大差なし

四、震災後に於ける求人、求職、就職者に顯

はれたる著しき傾向

求人に於ては市民の同情甚大なるものあり一時申込殺倒せり、求職者は大部分店員戸内使用人、飲食店雜役料理人車夫其他無職者にして概して一定の技能を有する者少なく彼等は多く震災前の生活職業、地位等を誇張して以て同情を得んことに努めたるが如し
就職者は成績多く不良にして其結果遂に求人者をして求人申込を差控ふるに至らしめたり

罹災者取扱成績

取扱期	求職者数		紹介件数		就職者数	
	男	女	男	女	男	女
九月	三三	二六	三三	二六	三三	二六
十月	三七	二七	三七	二七	三七	二七
十一月	二七	二二	二七	二二	二七	二二
十二月	九	九	九	九	九	九
計	六九	七四	六九	七四	六九	七四
十三年	一	一	一	一	一	一

尼ヶ崎市職業紹介所

一、活動状況

(イ) 罹災求職者の状況

當所が罹災民として取扱ひし第一日は九月六日にして爾後二月十日迄に取扱ひし数は左表(別表)の通りなるが之等求職者は最初は就職率良好なりしも漸次其の率不良となり折角の市民の同情を無視するの傾向となり甚だ遺憾なりき

(ロ) 罹災者に對する求人の状況並求人開拓の状況

大震災の報一度到るや全力を求人開拓に努め罹災求職者の殺到に充てたり、即ち求人開拓の範圍を従來より擴張し、東は大阪府下西成郡より、北は同豊能郡、西は神戸市に到る大規模の方法をとりたるが、一般罹災民に對する社會の同情により豫想外の好成绩を收め得たり、又當所求人開拓の方法は吏員の出張と市内外樞要

(ハ) 他の救援機關との連絡状況

の場所に大看板十五ヶ所の建設並に印刷物を市内並に接續村落各戸漏なく配布すること二回に及べり
罹災民の大部分は東大阪西神戸兩市を経て來るものにして兩市に救護を受けたる後來尼するものと想像せらるゝも萬一急救の要ある場合市立診療所に於て之れを取扱ふ様連絡をとれり

(ニ) 設備擴張、増員、出張所設置其他應急施設の状況

増員をなさざるも社會課に於て課員の活動をなし市内方面委員と連絡をとりたり

(ホ) 社會の同情は罹災民に厚く夫れに比例し普通求職者の就職は困難となりしは勢ひ不止得次第なりしも別表

の如く來尼罹災者比較的僅少なりしたため其の影響も亦著るしきものなかりき

罹災者取扱成績

取扱別 月別	求職者数		紹介件数		就職者数	
	男	女	男	女	男	女
九月	三	一	三	一	三	一
十月	三	一	三	一	三	一
十一月	三	一	三	一	三	一
十二月	八	二	一〇	二	八	二
計	九	四	一〇	五	一	三
十三年 月	九	一	九	一	一	一

津市職業紹介所

一、活動状況

市内各町總代に書面を發し求人調査を依頼すると共に各會社商店官公署に求職票寫を送付し採用方を依頼せり
 罹災求職者は九月中旬より逐日増加したるが十一月上旬より減少せり、取扱總人員六十二名にして内紹介就職せる者二十九名本人直接就職せる者十名餘あり、就職者は主として三重縣内に本籍を有するものにして他府縣人は多く求職を取消し歸郷せり

二、營利職業紹介業者の消長

變化を認めず

罹災者取扱成績

取扱別 月別	求職者数		紹介件数		就職者数	
	男	女	男	女	男	女
九月	三	一	三	一	三	一
十月	三	一	三	一	三	一
十一月	三	一	三	一	三	一
十二月	三	一	三	一	三	一
計	三	一	三	一	三	一
十三年 月	一	一	一	一	一	一

四日市市職業紹介所

一、活動状況

罹災失業者雇備宣傳をなし一時相當の求人申込を得たりしも罹災者中數名の不徳行為の爲求人者の信用を害し

たり、よつて此感情を除かん事に極力努力したるも今尙ほ完全に之を除くこと得ざるは遺憾なり

罹災求職者取扱数左の如し

罹災者取扱成績

取扱別 月別	求職者数		紹介件数		就職者数	
	男	女	男	女	男	女
九月	四	二	六	三	二	一
十月	一	三	七	二	二	一
十一月	六	一	七	一	二	一
十二月	一〇	一	一〇	七	一	一
計	二〇	七	二〇	一三	六	四
十三年 月	四	一	二	一	一	一

宇治山田市職業紹介所

一、活動状況

山田驛前に市役所在郷軍人愛國神都婦人會員等に依つて罹災避難民救護所設置せられたるを以て職員は此所に出張して紹介に従事し一方市内銀行、會社、旅館、商店

關東大震災に於ける職業紹介成績

等に對し求人依頼をなすところありしが幸に大部分市内又は部部の知己を頼りて避難せる者なるが爲紹介上格別の困難を感ぜざりき

罹災求職者取扱数左の如し

罹災者取扱成績

取扱別 月別	求職者数		紹介件数		就職者数	
	男	女	男	女	男	女
九月	二	四	八	三	二	一
十月	二	二	四	二	二	一
十一月	一	五	六	一	一	一
十二月	一	四	五	一	一	一
計	六	一五	二二	七	六	四
十三年 月	二	二	二	一	一	一

明照淨濟會職業紹介所

一、活動状況

市役所、警察署、在郷軍人、青年會、近郷佛敎團等と極力連絡を取り職員は會社、工場、商店等を訪問して開

拓に努めたるが相當の効果を收めたり

罹災求職者取扱数(別表)

計	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	計
一十三年	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

二〇〇

二、附帶事業の狀況

宿泊救護所を整理して準備せしが收容人員は比較的少數にして其取扱數左の如し

取扱別	宿泊救護人員		同延數		給食回数
	男	女	男	女	
九月	一	一	三	一	四
十月	七	一	四二	一	四二
十一月	四	一	四	一	四二
十二月	一	一	三六	一	一〇六
計	一三	一	一二二	一	二〇九

罹災者取扱成績

取扱別	求職者數		紹介件數		就職者數	
	男	女	男	女	男	女
九月	三	一	二	一	二	一
十月	三	二	二	二	二	一
十一月	三	一	六	一	二	一
十二月	一	一	一	一	一	一
計	一〇	五	一五	五	七	四

名古屋市職業紹介所

一、活動狀況

(イ) 罹災者の狀況

罹災求職者の現はれたるは九月五日以降にして急激に増加し一日に百數十名に及ぶことあり、九月中の取扱數一千六百二十一人に及びたるも日と共に減少し來れり、されど尙其跡を絶たざる狀況なり、而して昨年九月より本年一月迄の取扱數は求職者數三千五百九十八人、就職者數千八百三十八人にして罹災求職者の素質は多種多様にして一言に盡し難きは勿論なるも、熟練工を除く外は前職を得る事困難にして、多くは求人數の多き工業戸内使用人等の方面に轉職する傾向を免れず、紹介上特に困難を感じたるは智識階級的勞働及び

飲食店雇人等にして就職の狀況は求職者に對して五一%

程度に非ざるも事實は左の如き事理に由り一時的の就職者多く全體上より見て必ずしも良好と稱し難し

一、雇主は永續勤務を希望するに對して求職者は避難的一時的勤務を希望する立場上の相違

一、當地と震災地と労働條件の相違

一、生活狀態社會狀態の相違

一、殆ど考慮の餘地なく無理に餘義なく移動した事の結果

イ、不斷に動搖し心の落付きなき爲め

ロ、歸還の念旺盛なる爲め

(ロ) 罹災者に對する求人狀況並に求人開拓の狀況

新聞情報等に依り悲惨なる窮狀に同情を以て自發的に求人申込は平日に數倍する盛況を見るに至れり、今其の大體の傾向を察するに

一、震災地の需要を見込み急に事業を擴張し臨時的に

雇入れんと企てたるもの

一、會社工場及同業者の同情的求人

一、斯の機會に平日不足し居る雇人を充さんとするものに二種あり

イ、年少労働者

ロ、女中

尙ほ求人開拓に關しては地方交換に因るもの、外は差迫る困難なきと係員に餘裕なき爲め特別の措置を取る事得ざりき

(ハ) 他の救援機關との連絡狀況

之を分ちて衣服、食事、住居及運輸とす

A 衣服は縣市救護部及佛教婦人會其他救護團體の了解援助を得て就職上必要なる労働服及日常服其他履物手拭日用品等を必要に應じて給與したり(當初より十二月末日まで)

B 食事は市救護部及各宿泊所に依頼したる外紹介所自からも食券を發行し宿泊者及其他必要と認むるも

のに配給し又他方求人者側に對しても此際なるべく便宜を與へらるゝ様勸誘し貸銀日拂前貸等を獎勵したり

C 就職前宿泊所なきもの特に列車の都合にて紹介上不適當なる時刻に到着したるものゝ爲めに本所は勿論愛知無料宿泊所覺王山東西兩別院高田別院其他の特志宿泊所に依頼し宿泊せしめその長さは一週間に及びたるあり

D 省線鐵道 無貨運送中は市營電車の無貨運送を利用し青年團軍人會等の應援を得て求職者を紹介先に送りとゞける方法をとれり

省線鐵道無貨及五割引運送中は市内外の各鐵道電氣軌道等も省線同様の便宜を與へられたり

(=) 設備擴張増員出張所設置其他應急施設の狀況

罹災求職者にして適當の宿所なく、宿泊を希望するもの多數にて從來本所の有する設備にては不足を感じたるを以て、更に市立保育園内に臨時宿泊所を設け就職

後も之れを必要と認める者は收容せり

名古屋驛構内に本所出張所を設置し、電話を布設し、吏員四名を派出して一般職業紹介に動むる外、人事相談宿泊の斡旋等に當れり

(ホ) 移動交換に關する事務

移動交換に關して熟練工其他の罹災求職者移動に關する社會局長官の通牒に基き愛知縣當局の主催せる縣内有力なる事業家同業組合代表者等百餘名の罹災求職者救済懇談會開催の結果縣當局と協力し縣内一般の會社工場其他を訪問して求人申込を總括し縣内一名と本所書記を中央職業紹介事務局地方移動交換部に十四日間出張せしめ其結果五十三名の求職者を名古屋の地に移動就職せしめ其後引續き隨時移動就職せしめつゝあり
案内者出張

名古屋驛内の臨時出張所撤廢後は求職者の便宜を計りて約一ヶ月間吏員一名を名古屋驛に派出して案内に應じたり

罹災求職者取扱數別表の通り

(へ) 震災が職業紹介所一般取扱に與へたる影響

九月中旬、下旬の頃に於ては善良なる素質の罹災者多數就職したるを以て一時一般求職者を壓迫するかの如き傾向を顯はさんとしたるも時日を逐ふに従つて不良なる罹災者及罹災者と稱する者の不良なる成績を顯はすに至り、又歸還者頻出の爲め著しき何等の特異なる事象を見ざる間に自然に淘汰され推移し忘るゝともなく経過して平穩のうちに過ぎたりと思考さる
尤も震災後その紹介事業に與へたる影響は實に多大なるものあり、將來に對する施設經營上甚大の教訓をもたらしたるは顯著なる事實とす

二、附帶事業の狀況

一、本所附帶の宿泊事業を罹災者に對して特に宿泊料金を免除したる事

一、罹災避難者調査の結果十一月下旬に於て本市内に約

關東大震災に於ける職業紹介成績

二千人の罹災失業者滞在する事を知り之が對策として町惣代に宛て本所の利用方を通知したる事

三、營利職業紹介業者の消長

愛知縣警察部の報告に基き震災前後を比較對象せば狀態左の如し

(イ) 營業者の數 (基礎人口入業) 大正十二年 中

震災前八ヶ月間の一ヶ月平均數 二五七人

震災後四ヶ月間の一ヶ月平均數 二六六人

(ロ) 取扱數

震災前八ヶ月間ノ一ヶ月平均數 求人 求職 就職 求人 求職 就職

二、一六六 一、三四六 八八五 三、〇一九 一、七〇九 一、〇一一

罹災者取扱成績

取扱別	求職者數		紹介件數		就職者數	
	男	女	男	女	男	女
九月	一、五八六	一、〇三九	一、二二〇	一、一三九	七五五	八二二
十月	一、四三三	一、二六	九七〇	九六三	六八三	六六六
十一月	一、三三三	一、〇三三	一、〇三三	一、〇三三	二、〇三三	二、〇三三

關東大震災に於ける職業紹介成績

十二月	一九	六	一八五	二二	三	二二九	八二	三	八六
計	三、三三三	一一一	三、四四四	三、六六六	一〇五	二、八〇一	一、六六六	二、一七六	一、七七八
十三年	一〇一	二	一〇三	七〇	二	七二	三三	三〇	三〇

愛知職業紹介所

一、活動状況

(イ) 罹災求職者の状況 震災直後避難求職者多数當市に流入し來りたるも労働に経験なきもの及技工者多き爲めに就職せしむるに困難を極め、時には公吏たりしもの會社員たりしものなどあり、是等の就職は難中の難事なりき

(ロ) 罹災者に對する求人状況並求人開拓の状況 求人者の求むるところは女中、丁稚、子守、貰兒等九割を占め労働者其他特種職業に對しては皆無の情態にて甚だ困難なりき

(ハ) 他の救援機關との連絡状況 名古屋市立職業紹介所及慈友會職業紹介所とは常に連絡を執れり

二〇四

(ニ) 設備擴張、増員出張所設置其他應急施設の状況 九月五日より同月三十日迄名古屋驛前に臨時出張所を設け爾來一人の事務員を雇ひ入れたり
愛知無料宿泊所の實況左表の如し

種別	種月			
	九月	十月	十一月	十二月
延	四二八	五〇一	五〇九	五七九
人	一八	一七	一六	五
員	四四六	五一八	五二五	五八四
計	四四六	五一八	五二五	五八四
頭	三六七	四一四	二五三	一六九
數				二六〇

二、附帶事業の状況

紹介所より紹介を受くるも就職する能はず、且つ所持金も缺乏せしたため木賃宿にも宿泊する事出來得ざる悲惨の狀態を呈するものありたれば、之等に對しては當宿泊所に於て空腹者には食を與へ、或は旅費として若干の金錢を與へたり

罹災者取扱成績

取扱到月別	求職者數		紹介件數		就職者數	
	男	女	男	女	男	女
五月	二二	三	二二	二	二二	二
十月	一〇九	二	一〇九	二	一〇九	二
十一月	九二	二	九二	二	九二	二
十二月	七〇	一	七〇	一	七〇	一
計	三三三	七	三三三	七	三三三	七
十三年	八一	一	八一	一	八一	一

慈友會職業紹介所

一、活動状況

イ、罹災求職者の状況 九月十八日頃より末日迄は五六十名の求職者來れり、最初求職者の大部分は飲食店雇人、配達人、商店雜役等の不熟練労働者にして次第に熟練労働者の多さを加へたり、殊に印刷職工の求職者多かりき、年齢に於ては二十歳以上三十歳前後がその大部分にして年少者極めて僅少なりし

ロ、罹災者に對する求人状況並に求人開拓の状況 大

關東大震災に於ける職業紹介成績

震災の報一度來るや當所に於ては宣傳ビラ數萬枚を市中に撒布し、求人開拓に努めたり、其外、ポスターを各所に掲出し又は新聞紙へ状況宣傳をなし又諸工場、商店に檄を發し凡有方法を講じて求人開拓に努めたる結果常時より見れば五、六倍の求人申込を得求職者の大部分を紹介する事を得たり

ハ、他の救援機關との連絡状況 青年會及各種救護班と連絡を執れり

ニ、設備擴張、増員、出張所設置其他應急施設の状況 當所に於ては常任理事三名なりしが直ちに理事六名に増員し能率の増進を計れり、當所は幸ひ名古屋驛附近に位置し居るを以て出張所を設置せず、其の代りに當所の所在地を明示したる大看板を驛前に立て、尙青年會と連絡して求職者の便を計れり、又求職者にして其日に就職不能者の爲めに一寺院を解放して宿舍にあて之に收容せり

ホ、罹災求職者取扱數 別表の通り

罹災者取扱成績

取扱別 月別	求職者数		紹介件数		就職者数	
	男	女	男	女	男	女
九月	三六	三五	三三	三五	三三	二二
十月	八六	五二	三六	三七	三三	一七
十一月	一〇	九	一〇	九	一〇	七
十二月	三七	二	三〇	二	三三	一
計	一三二	九六	一〇九	七三	一〇七	四七
十三年	六	一	六	一	五	一

豊橋市職業紹介所

一、活動状況

震災直後に於ける求職者は其數極めて少かりしが逐日増加するを以て驛前救護所に職員を派して救護所事務員と協力し青年團、在郷軍人、佛教會、婦人會等の應援を籍りて紹介に努力し一方求人開拓係員を設けて重なる會社工場商店等に求人依頼狀を發し求人開拓に努力し罹災者に對して優先的に紹介を爲せり、之が爲め紹介所の努

力は一般社會に好感と同情を以て迎へられ相當の効果を收めたるも就職後事故を惹起したる者ありたる爲め取扱上困難を來たし之が恢復に困難せり

罹災者取扱成績

取扱別 月別	求職者数		紹介件数		就職者数	
	男	女	男	女	男	女
九月	四	二	三	二	二	二
十月	三	三	三	三	三	三
十一月	三	三	三	三	三	三
十二月	三	三	三	三	三	三
計	一三	一三	一三	一三	一三	一三
十三年	一	一	一	一	一	一

大津市職業紹介所

一、活動状況

大津驛前に職業紹介出張所を設け市役所救護班及愛國婦人會出張所と連絡を取り市青年團員の案内にて來所せる罹災求職者を曩に樞要なる工場其他湯屋理髮店に依頼

し掲出せる求人開拓の宣傳に依り申込をなしたる多數求人者に對し紹介せり
罹災求職者取扱數別表の通り

- 二、求人開拓其他一頁宣傳ビラを掲出せり
- 三、其他參考となるべき施設状況

當市は京都に接近し居るを以て京都市に下車したる避難民は京都の職業紹介所及本願寺前出張所に至りて比較的多數就職せり、然れども自己の求職希望を達せざる時は無料にて京津電車の便に依り來りたるもの多く爲めに其紹介に努め又は特志家の慈善に依り更に目的地に出發せしめたり

罹災者取扱成績

取扱別 月別	求職者数		紹介件数		就職者数	
	男	女	男	女	男	女
九月	五九	六六	四七	六二	三三	三三
十月	三	一	三	一	一	一
十一月	三〇	一	二九	一	二	一

十二月	〇	一〇	五	一	一	一
計	二二	二八	一八	一六	一三	一三
十三年	二	一	一	一	一	一

岐阜市職業紹介所

一、活動状況

市當局並に本縣奉仕委員宗教家救護團體等と協力聯絡を保ち極力求人開拓に努め又臨時開拓係二を雇入れ市内各商店等に就き銀行會社各工場等に對しては所長社員に於て求人開拓を爲したり
罹災求職者取扱數別表の通り

二、附帶事業

(イ) 當所附設無料宿泊所に避難者を收容し一時の急を救ふの途を講じたるも目下の位置不便にして其機能を充分に發揮し得ざりき

罹災宿泊者府縣別調

府縣別	男女別	府縣別	男女別	府縣別	男女別
岐阜	男 二 女 一	大阪	男 二 女 一	埼玉	男 四 女 一
北海道	男 一 女 一	神奈川	男 八 女 二	福井	男 一 女 一
東京	男 一 女 一	新潟	男 一 女 一	計	男 三 女 二
山形	男 一 女 一	岡山	男 一 女 一		

(ロ) 少資本貸與

本縣に於ては震災罹災者救援職業相談方法を定め縣内に歸縣又は避難し來りたる求職者中紹介所に於て就職せしむること罷はざる者に對し三十圓以下の少資を融通し獨立の營業を爲さしむるの途を講ぜられ當所に於て取扱ひたる者十一名なりき

三、營利職業紹介業者の消長

當市内に於ける營利職業紹介業者は其數漸減の傾きにあり

四、震災後に於ける求人、求職、就職者に顯はれたる著しき傾向

(イ) 求人方面に於ては一時罹災求職者に同情したる者多く相當申込を受けたるも市内各商店に於ては何れも二十歳以上の店員を雇傭することを好まざりき、これは畢竟中途入店者の店風に慣れず或は従來の店員との折合に稽へたる結果ならん、又官廳會社、工場等に於て各關係方面よりの失職者の救済の申込を受け當所に求人申込を爲すもの減少したる傾きありき

(ロ) 求職者方面に於ては罹災求職者の雇傭に關して一時は同向をなす者多かりしも求職者にして就職後誠意なく或は永勤の精神なく一時糊口を凌ぐ爲め就職したるものありし等の關係より求職者の就職大に困難を呈せり要するに永住的決心を爲す者は極めて少なかりき、罹災求職者に優先權を與へたる爲め又一般求職者は其紹介頗る困難となれり

(ハ) 就職者は一般に永續的精神に乏しく多くは數日或は一二月にして退去或は解雇せられ求職者二百二十九名中就職者六十四名の内目下引續き就職せる者僅に十

一、活動狀況

應急施設として當市本願寺別院を臨時避難者の無料宿泊所に充て市の大工場よりは特に求人の申込あり、其他印刷工場の如きよりは罹災者中の希望者全部雇入の申込を受けたるが爲に紹介上格別の困難は感ぜざりき

二、罹災求職者取扱成績

市内又は郡部の知己を頼りて避難せる者は身元確實にして紹介も有效なりき之に反して縁故なき者は獨身者家族あるものを問はず比較的浮浪性のも多く一二月月に家主の物を費ひ込み得意荒し持逃げ等紹介所の面目を失したるもの數件あり一般求人者に悪影響を與へたり

罹災者取扱成績

取扱別	求職者數	紹介件數	就職者數
月別	男 女 計	男 女 計	男 女 計
九月	男 八 女 九 計 一七	男 六 女 六 計 一三	男 四 女 三 計 七
十月	男 九 女 六 計 一五	男 五 女 五 計 一〇	男 四 女 四 計 八
十一月	男 一三 女 四 計 一七	男 三 女 三 計 六	男 二 女 二 計 四
十二月	男 一三 女 一 計 一四	男 八 女 一 計 九	男 二 女 一 計 三
計	男 三九 女 三三 計 七二	男 二二 女 二二 計 四四	男 一六 女 一三 計 二九
十三年	男 一 女 一 計 二	男 一 女 一 計 二	男 一 女 一 計 二

大垣市職業紹介所

關東大震災に於ける職業紹介成績

罹災者取扱成績

取扱別	求職者數	紹介件數	就職者數
月別	男 女 計	男 女 計	男 女 計
九月	男 三 女 五 計 八	男 四 女 三 計 七	男 二 女 二 計 四
十月	男 三 女 五 計 八	男 一 女 一 計 二	男 一 女 一 計 二

二、避難者に對する求職申込者の比較狀況

避難者の實数は略吾人の豫想に近く十一月十五日現在の調査に依るも縣下全體にて男四、〇五〇人女二、七八五人計六、八三五人にして當市に於ける避難者男四八三人、女四七四人計九五七人なりき而して郡部町村自ら就職せしめたる數は判明せざるも當紹介所にて取扱ひたる數は郡市を通じて三百に満たざるが如き甚だ奇異の現象なりと云はざる可からず、しかも十一月十五日現在にて求職希望者縣下に於て八百名に達すと云ふに於て特に然りとす、如斯今日迄に於ける求職者數甚だ尠なしと雖も都會生活に馴れたる避難者の區農は困難なる事實にして將來再び東京及び他の都市に出づるは必定なるが故に職業紹介の業務は益々繁多なるを覺悟せざるべからず

三、人事相談の狀況

當所に於ては辯護士三名を囑託し法律相談を行ふ傍ら

四、附帶事業の狀況

平常より人事の相談に應じ居るを以て特に新設せず

イ、宿泊 當所は附帶事業として共同宿泊所を經營せるが故に避難者の到着増加するや九月五日より九月二十三日に互る間之を開放し縣市及各團體の特設せし停車場救護所と協力し列車毎に下車する避難者を一時休息せしめ又は傷病者の看護給養等其の保護に努めたるのみならず毎夜無料宿泊をなさしめ其の宿泊員數九十九人に達す後に至りては特別のものを除き有料とし就職に至る迄宿泊せしめ或は就職後も依然宿泊を保護し居れり
 授産 旅費貸與二三件ありしも特に記すべき活動なさを

五、營利職業紹介業者の消長

當市に在りては營利職業紹介業者二十四戸を有するも

主として藝娼妓の紹介 従事し僅かに女中の紹介を爲すものあるも一般職業紹介には何等の交渉なきを以て當所の活動發展は彼等に影響するものなし

六、震災後に於ける求人、求職、就職者に顯

はれたる著しき傾向

震災の爲め失業者の激増は一般民心に大なる衝動を與へ職業紹介所は其の存在の意義と權威を認めらるゝに至り求人求職兩者より多大の信頼を受け執務上大に利得する所あり

罹災求職者は勿論一般求職者も希望條件に於て從來に比し自發的に底下し來りたるは顯著の現象なりとす、就職者の移動狀態は稍良好なりと雖も適確なる判斷を下すの時期に達せず

七、参考となるべき事項

A 本縣に於ては震災後郡町村に人事相談所を設置して

關東大震災に於ける職業紹介成績

罹災者の就職に努めたるのみならず永久的に一般失業者救済に任ずることとせり

B 震災直後社會局其他より地方長官に對し失職者救済並に職業紹介所利用に關する數度の通牒ありしは非常の效果を奏したるものと認む又地方事務局より職業紹介所の活動等を促されたるは機宜の處置たりと信ずる經營主體たる都市の長に紹介所の擴張或は活動方法等を指示せられざりしを遺憾とす

C 小都市の職業紹介所には宿泊所を附設し建設費を國庫補助となすを要す

當所は幸に宿泊所を有せしが爲非常の利便を得たるのみならず無錢而も知己親族を有せざる罹災求職者の紹介は小都市の如く他に保護機關なき所に於ては此の方法に依るの外道なからん

D 失職者を中央より地方への移動は特種技能者又は純勞働者(女工又は土工等)を除き不可能なりと信ず其の理由は地方小都市の需要者は大都市の生活に馴れたる

ものを嫌ひ特に當地方の如きは身元判明せざる他國人
を使用せざる風習あるを以てなり

附表第一 罹災求職者職務別取扱成績

職 業	求 職 者 数		就 職 者 数	
	男	女	男	女
工	五七	二	五九	四二
戸外労働	九	一	九	六
店 員	四五	三	四八	三一
通信運搬	一七	一	一七	五
戸内使用人	七	九	一六	三
事務員	五二	一七	六九	一四
其 他	四八	六	五四	三六
計	二三五	三七	二七二	一三七
紹介件数	男 1100	女 333	計 1433	

附表第二 震災罹災求職者月別取扱数

取扱月別	求 職 者 数		紹 介 件 数		就 職 者 数	
	男	女	男	女	男	女
九 月	八	六	二	二	三	二
十 月	二	二	二	二	三	二
十 一 月	二	三	二	三	三	二
十 二 月	三	四	二	三	三	二

十三年 七月 七 七月 七 七月 七 七月 七 七月 七
計 三三三 三三三 三三三 三三三 三三三 三三三 三三三 三三三

社丙第一六八號 大正十二年九月十三日福井縣内務部長

福井縣警察部長

各郡市長各警察署長殿

東京地方災害罹災歸郷者職業紹介ニ關スル件

依命通牒

這次ノ東京地方ノ震災ハ稀有ノ災害ニシテ之等罹災者
救助ニ關シテハ既ニ各位ノ御配慮ヲ煩ハシ居候處右罹
災者中地方ニ避難スル者又ハ歸郷スル者多數ニシテ差
當リ其ノ親族知己等ニ頼ルト雖モ殆ント一時的ノモノ
ニシテ爾後ノ自治ニ就テハ職業ヲ求ムル者多數有之之
等ニ對シテ福井職業紹介所ニ於テ極力斡旋ニ努力致居
リ候モ一時ニ多數ノ求職者ヲ出シタル爲メ之レカ就職
ノ緩和ヲ圖ルコトハ誠ニ困難ノ状態ニ有之候ニ付キ右
罹災者救助ニ關シテハ既ニ國民共存共榮ノ大義ニ則リ
國ヲ舉ケテ之レカ救済ニ努力致居ル秋ニ有之候條此際

地方ニ避難シタル者又ハ歸郷シタル者等ノ就職ニ關シ
テハ都市町村警察當局共ニ聯絡提携シ官公署ヲ始メ會
社工場商店等ト良ク懇談ヲ遂ケ同胞互助ノ精神ニ基キ
就職ノ斡旋ヲ圖リ罹災者ノ生活安定ヲ圖ルコトニ一段
ノ御盡力相成度尙ホ農村ニ歸郷シタル者ニ在リテハ此
際農村ニ居住セシメ農業ニ従事セシメラル様特ニ御
配慮相成度追テ一時歸郷者ニシテ關西地方其他へ出稼
セントスル者ニ對シテハ旅費ノ調達等相當便宜ヲ與ヘ
ラレ度尙歸郷者ニシテ親族知己等貧困の爲メ一時的ノ
救助出來サルモノニ對シテハ此際應急ノ救助ニ努メラ
ルト共ニ其ノ狀況御報告相成度

金澤市立職業紹介所

一、活動狀況

イ、罹災求職者ノ狀況

罹災求職者中石川縣在籍者は百三十六人次ハ東京市在
籍者五十五人富山縣在籍者三十人神奈川縣在籍者十五

關東大震災に於ける職業紹介成績

を欲するも住込を要し住込を欲するも通勤を要するものあり、故に通勤を欲する者に通勤口を與へんとし住込を欲する者に住込口を與へんとすれば是亦體質年齢性別給金出生地等の關係にて其人及其職を得る能はざる事情あり又或は勞少くして一定の給料を以て生活の安定を保ち得て就職口を求める關係上求人口の稀なる官公署銀行會社商店の内勤事務員、門番等を希望するもの多く或は一家族の避難者は互に別居分離するを嫌ひ可成朝夕起居を共にせんことを欲するより勢ひ就職難を來す場合あり尙我金澤市の如きは大阪、神戸名古屋等と異り關東地方の災厄に原因しては疊建具の外一つも好影響なく寧ろ金、銀箔、羽二重、蒔繪、九谷焼の如き贅澤品向は大打撃を蒙り一大頓挫を來し然らずとも大正九年以來經濟界の不振續きにて疲弊困憊し店員職工を整理淘汰し高給者を排して低給者と交換し職工大店員を退け見習徒弟小店員と交換する傾向ありて震災避難求職者の紹介には求人口の開拓に容易ならざ

る苦心努力を要したり

ロ、罹災者に對する求人状況並に求人開拓の状況
求人口は概して震災前と略同一にして即ち女中、女給仲居、子守、炊事婦、見習看護婦ならざれば男兒十四歳乃至十六歳の小商店見習徒弟又は中年男子の工場商店の雜役飲食店雇人のみにして避難者に同情を表しつつも打續く不景氣に經濟界不振なると、親戚故舊等の關係を辿りて避難し來りし人にて食客的に抱へ込み店員代用を爲さしめ居る箇所少なからざると、及び矢張り一時的金品の喜捨的寄附の行爲なれば稍意に介せざる意向なるも所要以外の人員を徒らに慈善的に雇入ることは、到底自己經濟の打算に急にして求職者の抱備を厭ふ事情あり而して中年以上の年齢者は生命火災徴兵の各保險會社勸業債券月賦社債等外交員には歡迎せらるゝも如何せん此方面は又求職に於て其外交たる者心勞多きと且此種職業は概して歩合制給料にして所謂一定確實の収入を得難からんと豫想し生活の安定を

疑懼して就職を喜ばざる等需要に伴ふ供給至難の事情あり、故に市の内外大小商店諸工場銀行會社等に交渉し又は市罹災者救濟部（青年團在郷軍人會、歸省大學生團、愛國婦人會基督教會等）社會改良委員等と聯絡を取り、尙所員の不足を補ふ爲め救濟部員の應援を需むる外或は電話を利用し或は自轉車を乗り廻して求人開拓に努め一面地方諸新聞を利用して避難者の義侠的雇傭方を一般に宣傳せしめたり

ハ、他の救援機關との連絡状況

罹災者中衣類なき者は市罹災者救濟部より之を給與し無宿者に對しては市内東西兩本願寺別院に委嘱し無料宿泊の便を與へ又疾病者あれば市内開業醫中當番救濟部附屬出張醫をして應急治療をなせしめ又市よりは一入當り金五圓宛又縣よりは其窮迫状態の程度に應じ一人當り三種に區別し甲は三十圓乙は二十圓丙は十圓とし夫々惠與したるが爲に一家族として最高七十圓を受領したるものあり

ニ、設備擴張・増員、出張所設置其他應急施設の状況
金澤驛構内臨時施設の市救濟部と聯絡を保ち同部員の應援を受けたる爲め當所員の増員出張を爲さずして事足れり
但し大正十二年十月より事務員二名（外交事務員一外交兼内務一）の應援を受けたり
罹災者取扱数左の如し

罹災者取扱成績

取扱別 月別	求職者数		紹介件数	
	男	女	男	女
九月	一六九	一〇	一七九	一四六
十月	一〇四	七一	八一	六
十一月	一	一	一	一
十二月	一	一	一	一
計	二七三	一七	二九〇	二三四
十三年一月	一	一	一	一二
			二四六	

小松町職業紹介所

一、活動状況